

規則様式第1（第3条関係）

※受理年月日	年 月 日
※受理番号	
※備考	

大規模小売店舗届出書

令和7年9月30日

熊本県知事 様

株式会社コスモス薬品
代表取締役 横山英昭
福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号

大規模小売店舗立地法第5条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

ドラッグコスモス大矢野登立店
上天草市大矢野町登立字筒之浦新田2903番3 外

2 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

小 売 業 者		住 所
氏 名（名 称）	代表者（法人の場合）	
株式会社コスモス薬品	代表取締役 横山英昭	福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号

3 大規模小売店舗の新設をする日

令和8年5月31日

4 大規模小売店舗内の店舗面積の合計

1,338㎡



5 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

(1) 駐車場の位置及び収容台数

駐車場No.	収容台数	位 置
駐車場	58台	建物敷地内 (資料-3 平面図兼配置図上に記載)

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

位 置	収容台数
建物西側 (資料-3 平面図兼配置図上・駐輪場)	16台

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

位 置	面 積
建物西側 (資料-3 平面図兼配置図上・荷さばき施設)	58.5㎡

(4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

位 置	容 積
建物内北側 (資料-3 平面図兼配置図上・廃棄物等保管施設)	13.5㎡

6 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

開店時刻：午前9時 閉店時刻：午後10時

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯

午前8時30分～午後10時30分

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

駐車場No.	出入口の数	位 置
駐車場	2箇所	建物敷地北側 (資料-3 平面図兼配置図上・入口No.1、出口No.2)

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

24時間

〔設置者、建物等の概要〕

1 出店の趣旨

地域の皆様におかれましては、益々のご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は、他のドラッグストアと違い、ヘルス&ビューティの専門店ではなく、食品（生鮮3品は除く）をはじめ普段の日常生活に欠かせない消耗品はほとんど取りそろえ、他のドラッグストアより広い駐車場を備えた大型店とし、住宅近くのすぐ近くに出店していくことで、とても便利な存在としてご利用いただける店づくりをめざしております。

この度、「ドラッグコスモス大矢野登立店」の出店を計画するに当たり、本件の趣旨をご理解の上、ご配慮賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2 大規模小売店舗設置者の連絡先等

(1) 設置者の連絡先及び電話番号・FAX番号

株式会社コスモス薬品 店舗開発部 福田 滉大
福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号 第一福岡ビルS館4階
TEL 092-433-0672 FAX 092-433-0674

(2) ①周辺の生活環境保持の対応策の小売業者等への周知措置

従業員に届出書及び添付資料の内容を説明することで、施設の運営方法の明確化を図るとともに、定期的な店内会議により周知徹底を図る。

②周辺の生活環境保持のための監督・管理責任者

ドラッグコスモス大矢野登立店 店長

3 法人にあっては登記事項証明書、個人にあってはその住民票の写し〔規則第41条①〕

別添のとおり

4. 小売業者一覧

	小売業者名	店舗面積	業種・業態	主として販売する物品
核となる小売業者	株式会社コスモス薬品	1,338㎡	ドラッグストア	住・生活関連用品、医薬化粧品、食料品等
その他の小売業者	該当なし			

5 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面〔規則第41条③〕

(1) 建物位置図

別添「資料－1 建物位置図（広域図）」参照

(2) 周辺見取図

別添「資料－2 周辺見取図」参照

(3) 建物配置図

別添「資料－3 平面図兼配置図」参照

(4) 各階平面図

別添「資料－3 平面図兼配置図」参照

6 店舗施設計画の概要

(1) 計画地の概要

①敷地面積及び土地の所有形態

建物敷地	5,160㎡	賃貸借契約
駐車場用地	0㎡	—
合 計	5,160㎡	

②法令上の用途等

無指定地域

③現在の利用状況

更地

(2) 計画地周辺の概要

①立地環境

建物敷地北側：市道船江白涛線を挟み店舗が立地する。

建物敷地東側：空地。

建物敷地南側：市道芋の迫広崎線を挟み戸建住宅が立地する。

建物敷地西側：戸建住宅が立地する。

②隣接地の用途現況

別添「資料－2 周辺見取図」参照

③基盤整備に関する事業の有無とその内容

該当事業なし

④街並みづくり計画の有無とその内容

該当計画なし

⑤都市計画及び中心市街地活性化基本計画との関連性

特になし

(3) 建築着工予定年月日及び完成予定年月日

①建設着工予定年月日：令和8年1月 下旬

②完成予定年月日：令和8年7月 中旬

(4) 建物の構造及び規模

①建物構造

鉄骨造 平屋建て

②店舗面積の内訳

イ 建築面積：1,659㎡

ロ 延べ面積：1,659㎡

ハ 各階ごとの店舗面積及び延べ面積等

(単位：㎡)

	店舗面積	その他の施設	延べ面積
1 F	1,338	321	1,659

(5) その他の施設計画と各施設面積

利用者層が同一の併設施設		
施設名	営業面積	営業時間
該当施設なし	0㎡	—

利用者層が異なる併設施設			
施設名	事業主体	営業面積	営業時間
該当施設なし	—	0㎡	—

(6) 開店若しくは施設変更等の届出時に対応策の前提として調査・予測した結果と大きく乖離があり、対応が著しく不十分である場合の追加的対応方針

事前予測結果と開店後の状況に大きな乖離が生じた場合には、再度調査・予測を実施した上で、必要な追加的対応策を講じていく。

7 その他（特記事項）

特になし

〔 駐 車 需 要 の 充 足 等 〕

1 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及び算出根拠〔規則第41条第4項〕

(1) 指針による必要駐車台数計算式

(端数処理：四捨五入)

事 項 等	各事項算出のための計算式等
地 区 の 区 分	商業地区・ その他地区 (理由：無指定地域)
S：店舗面積	1,338千㎡
A：店舗面積当たり日来店客数原単位	1,059.86人/千㎡ 人口40万人未満・ $1,100 - 30S$ ($S < 5$)
B：ピーク率	14.4% 経済産業省指針数値
L：駅からの距離	— m ← (駅名：—)
C：自動車分担率	80% 人口10万人未満
D：平均乗車人員	2.0人/台 店舗面積10千㎡未満
E：平均駐車時間係数	0.6227 店舗面積10千㎡未満・ $(30 + 5.5S) / 60$
必要駐車台数	51台 $A \times S \times B \times C \div D \times E$
日来店台数	567台 $A \times S \times C \div D$
ピーク1時間当たりの来店台数	82台 $A \times S \times B \times C \div D$

(2) 特別な事情による駐車台数の算出

該当なし

(3) 駐車場の分散確保の有無

駐 車 場 の 分 散 確 保 の 有 無	理 由 等
有・ 無	計画している駐車場形式及び駐車場出入口の数・位置について、周辺道路において入庫待ち車両による渋滞の発生など、周辺道路の交通に与える影響が少ないと考えられるため。
借上駐車場の場合	該当なし
駐車場名	
設置者・管理者	
契約・利用形態 (専用、優先、提携等)	
来店客が駐車可能な台数 (算出根拠)	

(4) その他の駐車場の状況

〔従業員等（業務用を含む）駐車場〕

事 項	有無の別	当該小売店舗駐車場と 共用・別途の別	収容台数	備 考 (従業員の雇用状況や利用状況など駐車台数 算定の根拠等)
従業員用駐車場	有 ・無	共用 ・別途	35台	自動車通勤予定従業員数より

〔併設施設の駐車場〕

ア オフィス・マンション等、小売店舗とは利用者が独立して考えられる併設施設
該当なし

イ 飲食店、銀行ATM、クリーニング、映画館、ボーリング場、ゲームセンター、温浴施設等、小売店舗
の集客に影響を与える蓋然性を有する併設施設
該当なし

ウ 小売店舗がその施設の一部となるような小売店舗以上の集客力を有する併設施設（小売店舗が大規模な
アミューズメント施設や博覧会施設の一部であるような場合）
該当なし

2 駐車場の構造、収容台数、面積及び敷地の状況（小売店舗、併設施設等を含む全体の収容台数）

No.	駐車場の構造	収容台数		面 積	駐車区画の大きさ	
		一般用	身障者用		一般用	身障者用
駐車場	建物外平面駐車場 (自走式)	92台	1台	1,166.25㎡	5.0m×2.5m×91台 4.5m×2.5m×1台	5.0m×3.5m

駐車料金の 徴収の有無	駐車場条例による届出 駐車場とする予定の有無	入口ゲートの 入庫処理時間	契約形態
無	無	無	自社所有

3 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項 [規則 § 4 I ⑤]

(1) 駐車場の自動車の出入口の形式

① 駐車場の入庫処理能力

自走式平面駐車場で発券ブースの設置がないため、該当なし。

② 敷地内駐車待ちスペース

出入口の場所	駐車待ち スペースの有無	実際に用意する 駐車待ちスペース	発券ブース の有無	必要駐車待ちスペース		駐車待ちスペース 無 の場合 その理由・対策
				長さm	算出根拠	
入口No.1	無	0m	無	0m	—	駐車場出入口にはゲートや発券ブースの設置予定がなく、入庫処理時間がわからないため。

(2) 敷地周辺の道路の状況

項 目	道路No.1 市道船江白涛線	道路No.2 市道芋の迫広崎線
道路幅員 (車線数)	8.4m (1～2車線)	4.6m (1車線)
歩道の有無・幅員	無	無
交通規制	制限速度40km/h・駐車禁止	規制なし
信号交差点数 (うち右折帯設置の交差点数)	1交差点 (1交差点)	0交差点 (0交差点)
横断歩道等の状況	有	無
通学路の有無 利用者数※2	有 2名※1	無
バス路線の有無	有	無

別添「資料－4. 1 周辺道路状況図 (1) / 資料－4. 2 周辺道路状況図 (2)」参照

※1 登立小学校及び大矢野中学校への聞き取り調査による

(3) 来客の自動車の方向別台数の予測の結果等

①現状の平日、休日（日曜）それぞれの交通量調査の結果

調査年月日	令和7年6月23日（月）8:00～20:00 令和7年6月22日（日）8:00～20:00								
調査場所	【交差点No.1（登立I.C交差点）】国道266号×市道船江白涛線 別添「資料-5 案内経路図」参照								
調査の委託先	株式会社エス・ティ・イー総合企画								
調査方法	①路線状況調査 - 調査交差点に接する道路を主体に計画地を中心とした半径1kmの範囲で来店者が利用すると考えられる道路のレーン構成・道路幅員等の構造上の基礎調査。 ②交差点形状調査 - 調査交差点の交差点形状調査。 ③交差点交通流量調査 - 調査交差点において自動車、自転車及び歩行者等の交通量を計測。 - 自動車交通量（調査交差点において自動車交通量を方向別、時間帯別及び車種別にマニュアルカウンターを用いて計測し、1時間ごとに記録）。 - 自動車分類は、大型車・普通乗用車・二輪車の3分類とし、以下の区分とした。 【車種区分表（3区分）】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>内 容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型車</td><td>1, 2, 8, 9, 0ナンバー</td></tr> <tr> <td>普通車</td><td>3, 4, 5, 6, 7, 8ナンバー</td></tr> <tr> <td>二輪車</td><td>原動機付き自転車を含む</td></tr> </tbody> </table> - 自転車及び歩行者交通量（調査交差点において道路を横断する自転車及び歩行者交通量を時間帯別にマニュアルカウンターを用いて計測し、1時間ごとに記録）。	種別	内 容	大型車	1, 2, 8, 9, 0ナンバー	普通車	3, 4, 5, 6, 7, 8ナンバー	二輪車	原動機付き自転車を含む
種別	内 容								
大型車	1, 2, 8, 9, 0ナンバー								
普通車	3, 4, 5, 6, 7, 8ナンバー								
二輪車	原動機付き自転車を含む								
調査結果	別添資料「ドラッグコスモス大矢野登立店 交通処理計画報告書」参照								

②開店後の周辺道路の交通量の予測

予測方法	・大規模小売店舗立地法の指針及び交通対策に関するケーススタディ（平成12年12月：通商産業省）に従い、上記交通量調査結果を基に予測を実施。
予測の根拠	・商圈範囲と主要道路網から来店方面別区域を設定し、その区域内世帯数構成比から来店方面比率を算出した。 また、開店後交通量は、当該店舗に関連する来店帰宅需要交通量を現況交通量に加えたものとする。
予測結果	別添資料「ドラッグコスモス大矢野登立店 交通処理計画報告書」参照

(4) 集客力の高い併設施設の利用者の交通量の予測

該当なし

4 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法〔規則§4I⑥〕

(1) 周辺見取図に来客の自動車の案内経路を表示した図面

別添「資料―5 案内経路図/資料―6.1 動線計画図(1)/資料―6.2 動線計画図(2)」参照

(2) 経路等を来店者に知らせる方法

項 目	具 体 的 な 内 容
案内表示の設置 (看板等)	配置場所：別添「資料―6.1 動線計画図(1)」参照 内 容 等：建物敷地北西側には広告塔(案内表示看板)を設置する。
ちらし等の配付	・オープン時など多くの来店車両が見込まれる際には、新聞折り込みチラシに案内経路図を掲載することで、事前に情報提供を行う。
交通整理員の配置	配置場所：駐車場の出入口付近に配置する。 別添「資料―6.1 動線計画図(1)」参照 配置人数：2名程度(状況に応じて適宜増員する) 配置日時：午前8時30分～午後8時00分(オープン時のみ)
そ の 他	・オープン時対策として、地元警察署と事前に協議を行い、来店車両の誘導方法等の検討を行い、周辺道路の円滑な交通流の確保及び交通事故の発生防止に努める。 ・オープンに伴って来店車両により周辺道路の交通流に変化が生じ、周辺地域の生活道路に渋滞等の影響が生じた場合には、関係機関と協議を行い、必要な対策を講じていく。

(3) 交通への支障を回避するための方策等

交通への支障回避の方策	具 体 的 な 内 容
交通整理員の配置	配置場所：駐車場の出入口付近に配置する。 別添「資料―6.1 動線計画図(1)」参照 配置人数：2名程度(状況に応じて適宜増員する) 配置日・時間：午前8時30分～午後8時00分(オープン時のみ)
左折入庫の原則等	主経路となる市道船江白涛線に面する出入口では、右折による入出庫を伴うものであり、右折による「遅れの程度」をもって評価した結果、右折入庫流動を含む幹線東進流動は平日及び休日ともに「滞留はなく、遅れなし」となる。 また、出庫流動の遅れの程度は平日及び休日ともに「滞留はなく、遅れなし」と評価され、来店車両の入出庫流動が周辺道路に与える影響は比較的小さいものである。 別添資料「ドラッグコスモス大矢野登立店 交通処理計画報告書」参照

(4) 経路の設定

①経路の設定にあたり考慮した点

- ・特になし

②設置者が行う交通対策等の予定

- ・オープン時など多くの来店車両が見込まれる際には、新聞折り込みチラシに案内経路図を掲載して事前に情報提供を行うとともに、出入口付近には交通整理員を配置して周辺地域に混雑が生じないよう誘導を行う。
- ・駐車場出口には、停止線の路面表示を行うことで、帰宅車両の一旦停止を促し、横断歩行者の安全を確保する。
- ・車椅子用駐車枠を店舗入口の近い位置に設置する。

③パークアンドライド事業等公共交通計画等との連携の有無

公共交通計画等との連帯の有無	(有の場合) その具体的内容
(有 ・ 無)	—

④バス、タクシー等の駐車場の設置の有無

- 特になし

5 駐輪場の計画（原動機付き自転車を含む）

(1) 駐輪台数の算出根拠

ア 指針参考による駐輪台数の算出

店舗面積 (1,338㎡) ÷ 35㎡ = (38台)

イ その他の方法による駐輪台数の算出

駐輪場附置 条例の有無	有（ 条例名 ） ・ 無					
必要駐輪台数 の予測結果及 び算出根拠	事 項		備 考			
	ア) ピーク時自動車来店台数	82台	大店立地法指針の算定式より			
	イ) 来店自動車台数に対する 自転車の割合	16.8%	「令和3年度全国都市交通特性調査集計結果」から上天草市が該当する地方都市圏における私用目的（買物）分担率より、平日の値を用いると、			
				自動車(a)	自転車(b)	(a)に対する (b)の割合
			平日	66.1%	11.1%	16.8%
			休日	80.0%	6.1%	7.6%
	ウ) 平均駐車時間係数	0.6227	大店立地法指針の算定式より			
	必要駐輪台数	9台	ア×イ×ウ（端数処理：四捨五入）			
必要駐輪台数	9台					

(2) 駐輪場の構造、収容台数及び面積

駐輪場No.	駐輪場構造	収容台数	面 積	駐輪区画の大きさ	
				一般用	三輪車・バイク用
駐輪場	平面式	16台	19.2㎡	0.6m×2.0m	—

(3) 駐輪場の管理体制

項 目	内 容
整理員等の配置	・店舗従業員の適宜見回りにて対応する。
営業時間外の管理等	・閉店後には、駐車場出入口をバリカー等で閉鎖することで、駐輪場を使用できなくする。

(4) 駐輪場案内の表示方法

駐輪場である旨の路面表示

別添「資料－6.1 動線計画図（1）」参照

6 自動二輪車駐車場の計画

(1) 自動二輪車駐車場台数の算出根拠

駐車場附置 条例の有無		有（条例名		） ・ 無	
必要台数の予測 結果及び算出根拠		「令和3年度全国都市交通特性調査集計結果」から上天草市が該当する地方都市圏における私用目的（買物）分担率より、平日の値を用いると、			
			自動車(a)	二輪車(b)	(a)に対する (b)の割合
		平日	66.1%	1.7%	2.6%
		休日	80.0%	0.8%	1.0%
		ア) ピーク時自動車台数：82台（指針による必要駐車台数計算式より） イ) 自動二輪車分担率：2.6％（分担率の割合が高い平日の値を採用） ウ) 平均駐車時間係数：0.6227（指針による必要駐車台数計算式より）			
		自動二輪車の必要台数＝ア×イ×ウ＝1台			
必要台数		1台			

(2) 自動二輪車駐車場の構造、収容台数及び面積
来客用駐車場の内数とする。

(3) 自動二輪車駐車場の管理体制
来客用駐車場と共用とするため、特になし。

(4) 自動二輪車駐車場案内の表示方法
来客用駐車場と共用とするため、表示なし。

7 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯〔規則 § 4 I ⑦〕

(1) 荷さばき施設の概要

荷さばき施設No.	同時作業の可能な台数		待機スペースの有無・広さ
	想定する車両の大きさ	台数	
荷さばき施設	4 t～10 t車	1台	(無)・有

(2) 荷さばきを行う時間帯

時 間 帯	車両の大きさ	車両台数	平均的な処理時間(分)	荷さばき待ちの台数
6:00～ 7:00	10 t車	1台	20分	0台
7:00～ 8:00		0台	0分	0台
8:00～ 9:00	4 t車	1台	20分	0台
9:00～10:00		0台	0分	0台
10:00～11:00		0台	0分	0台
11:00～12:00		0台	0分	0台
12:00～13:00		0台	0分	0台
13:00～14:00		0台	0分	0台
14:00～15:00		0台	0分	0台
15:00～16:00		0台	0分	0台
16:00～17:00		0台	0分	0台
17:00～18:00		0台	0分	0台
18:00～19:00		0台	0分	0台
19:00～20:00		0台	0分	0台
20:00～21:00		0台	0分	0台
21:00～22:00		0台	0分	0台
22:00～23:00		0台	0分	0台
23:00～ 0:00		0台	0分	0台
0:00～ 1:00		0台	0分	0台
1:00～ 2:00		0台	0分	0台
2:00～ 3:00		0台	0分	0台
3:00～ 4:00		0台	0分	0台
4:00～ 5:00	4 t車	1台	20分	0台
5:00～ 6:00		0台	0分	0台
合 計		3台	—	—

※来店車両との交錯が発生しないよう営業時間を避けた搬出入計画を立てる。

(3) 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の出入口の数	対 応 等
無	2箇所 (入口No.1、出口No.2を共有)	・搬出入業者には、来店者と出入口が共用である旨を周知し、入出庫時の安全運転を徹底させる。

(4) 小売業者が複数の場合の荷さばき施設の運営計画

- ・該当なし

(5) 搬出入事業者への混雑が少なくなるような経路選択の働きかけ

- ・商品等の搬出入は、朝・夕の交通量の多い時間帯や、来店車両の多い時間帯を極力避けた搬出入計画を立て、待機車両が発生しないよう配慮する。

(6) 搬出入の経路上に学校が位置する場合の運行時間帯、交通整理員の配置等の配慮

- ・搬入経路上が通学路に指定されているため、通学時間帯を極力避けた運行計画を立てる。

8 その他の施設の配置及び運営方法に関する計画

(1) 歩行者の通行の利便の確保等のための計画

	具 体 的 な 内 容 等
歩行者通路確保のための対策	・ 出口付近には、視認性を阻害する構造物等の設置は行わない。
里道の付け替え、工事、用途廃止等の有無	(無) ・ 有 (→公共施設の管理者の同意等)
夜間照明等の設置の有無	無 ・ (有) (→具体的な内容) 未定

9 その他（特記事項）

搬出入業者には入出庫時の安全運転を徹底させるとともに、荷さばき車両を入出庫させる際には、従業員にて安全に誘導を行い、事故の発生防止に努めてまいります。

10 交通量予測の変化等

別添資料「ドラッグコスモス大矢野登立店 交通処理計画報告書」参照

〔騒音の発生に係る事項〕

1 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面〔規則§4I⑧〕

(1) 遮音壁の設置

遮音壁の有無	遮音壁の高さ	遮音壁の厚さ	遮音壁の材質・構造	遮音壁の位置
(無)・有	—	—	—	—
遮音壁の設置による悪影響に対する検討及び近隣住民との調整に関する具体的配慮				

(2) その他、施設と低層の住居が隣接している場合等における配慮（緑地帯の確保等）

特になし

2 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面〔規則§4I⑨〕

項 目	設置の有無	稼働時間帯	位 置
冷却塔	(無)・有	—	—
室外機	無・(有)	8:30～22:00	別添「資料-7 騒音発生源位置図」参照
送風機	(無)・有	—	—
排気口	無・(有)	8:30～22:00	別添「資料-7 騒音発生源位置図」参照
その他（冷凍冷蔵庫屋外機）		終日	別添「資料-7 騒音発生源位置図」参照
その他（キュービクル）		終日	別添「資料-7 騒音発生源位置図」参照

※特別な事情による騒音の総合的な予測

該当なし

騒音の総合的な予測方法

該当なし

騒音規制法の特定施設の設置届出の有無

有：熊本県生活環境の保全等に関する条例に基づく「騒音に係る特定施設」の届出

該当する施設：圧縮機

（空気圧縮機にあっては原動機の定格出力が2.25キロワット以上7.5キロワット未満のもの、空気圧縮機以外の圧縮機にあっては原動機の定格出力が2.25キロワット以上のものに限る。）

3 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

(1) 予測地点の選定及び環境基準等

別添「資料―8 騒音予測地点位置図」参照

予測地点	環境基準		選定理由
	昼 間	夜 間	
A地点	60dB	50dB	建物屋上に設置される設備機器の稼働音の影響を最も受けると思われる住居敷地内とした。
B地点	60dB	50dB	駐車場内を走行する来客車両走行音の影響を最も受けると思われる空地とした。
C地点	60dB	50dB	駐車場内を走行する来客車両走行音の影響を最も受けると思われる住居敷地内とした。

※ 建物敷地北側及び南側には店舗等が立地しており、騒音の影響を受ける住居等の立地がないことから予測地点を選定していない。

予測地点	規制基準			選定理由
	昼 間	朝 夕	夜 間	
a 地点	65dB	60dB	50dB	建物屋上に設置され、夜間発生する設備機器の稼働音の影響を最も受けると思われる敷地境界線上とした。
b 地点	65dB	60dB	50dB	駐車場内を走行する帰宅車両走行音の影響を最も受けると思われる敷地境界線上とした。
c 地点	65dB	60dB	50dB	駐車場内を走行する帰宅車両走行音の影響を最も受けると思われる敷地境界線上とした。

※ 建物敷地北側及び南側には店舗等が立地しており、騒音の影響を受ける住居等の立地がないことから予測地点を選定していない。

(2) 昼間の等価騒音レベルの予測〔規則 § 4 I ⑩〕

騒音発生源			基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)			各予測地点における等価騒音レベル(dB)		
			騒音レベル(dB)	※根拠		A地点	B地点	C地点	A地点	B地点	C地点
定 常 騒 音	1	室外機1	59.9	*1	8:30~22:00	54.1	28.3	68.0	24.5	30.2	22.5
	2	室外機2	59.9	*1	8:30~22:00	54.9	27.2	67.9	24.4	30.5	22.6
	3	室外機3	63.1	*1	8:30~22:00	56.2	25.4	67.8	27.4	34.3	25.8
	4	室外機4	63.1	*1	8:30~22:00	57.0	24.3	67.8	27.3	34.7	25.8
	5	室外機5	63.1	*1	8:30~22:00	53.0	29.0	69.5	27.9	33.2	25.6
	6	室外機6	58.0	*1	8:30~22:00	53.8	27.8	69.4	22.7	28.4	20.5
	7	室外機7	63.1	*1	8:30~22:00	55.1	26.2	69.3	27.6	34.0	25.6
	8	室外機8	58.0	*1	8:30~22:00	55.9	25.0	69.3	22.4	29.3	20.5
	9	冷凍冷蔵庫屋外機1	49.9	*1	終 日	50.1	35.4	69.0	15.9	18.9	13.1
	10	冷凍冷蔵庫屋外機2	49.9	*1	終 日	48.8	35.9	70.4	16.1	18.8	12.9
	11	冷凍冷蔵庫屋外機3	57.5	*1	終 日	51.1	33.5	68.6	23.3	27.0	20.8
	12	冷凍冷蔵庫屋外機4	57.5	*1	終 日	49.8	34.1	70.1	23.6	26.8	20.6
	13	排気口1	45.0	*1	8:30~22:00	29.3	53.0	88.2	15.0	9.8	5.4
	14	排気口2	45.0	*1	8:30~22:00	30.2	51.4	87.7	14.7	10.1	5.4
	15	排気口3	45.0	*1	8:30~22:00	31.3	49.7	87.2	14.4	10.4	5.5
	16	排気口4	45.0	*1	8:30~22:00	32.4	48.2	86.8	14.1	10.6	5.5
	17	キュービクル	51.1	*2	終 日	46.5	41.5	71.1	17.8	18.7	14.1
変 動 騒 音	18	搬出入車両後進警報ブザー音	90.0	*3	1台×16秒	71.1	40.0	46.1	17.4	22.4	21.1
	19	搬出入車両後進警報ブザー音	90.0	*3	1台×19秒	78.8	50.2	41.3	17.3	21.2	22.9
	20	廃棄物収集車両後進警報ブザー音	90.0	*3	3台×16秒	71.1	40.0	46.1	22.2	27.2	25.9
	21	廃棄物収集作業音(圧縮)	90.0	*3	3台×300秒	69.2	48.2	50.1	35.1	38.2	37.9
	22	廃棄物収集作業音(非圧縮)	85.0	*3	3台×90秒	69.2	48.2	50.1	24.9	28.0	27.7
	23	搬出入車両アイドリング音	78.6	*3	1台×1200秒	69.2	48.2	50.1	25.0	28.1	27.8
	※	来客車両走行音	74.0	*4	567台×1~2回	-	-	-	32.6	42.5	42.4
衝 撃 騒 音	※	搬出入車両走行音	83.5	*4	2台×1~2回	-	-	-	15.2	21.0	21.9
	※	廃棄物収集車両走行音	83.5	*4	3台×1~2回	-	-	-	17.8	24.2	24.0
	24	台車走行音	71.0	*3	2台×6秒×6回	61.0	50.2	58.6	6.3	8.0	6.6
	25	荷下ろし音	73.2	*5	2台×10回	61.0	50.2	58.6	2.9	4.6	3.2
	26	搬出入車両荷台扉開音	74.9	*5	2台×1回	60.9	50.2	58.6	-	-	-
	27	搬出入車両荷台扉閉音	77.2	*5	2台×1回	60.9	50.2	58.6	-	-	-
	28	搬出入車両座席扉開音	77.8	*5	1台×2回	69.1	48.2	50.1	-	-	-
	29	搬出入車両座席扉閉音	77.8	*5	1台×2回	71.9	45.9	46.5	-	0.0	-
	30	搬出入車両エンジン始動音	79.4	*5	1台×1回	69.2	48.2	50.1	-	-	-
	31	搬出入車両エンジン始動音	79.4	*5	1台×1回	71.9	45.9	46.5	-	-	-

昼間(午前6時~午後10時)の等価騒音レベル

地点名	用途地域	地域の類型	予測結果	基準値
A地点	無指定地域	C 類 型	40.0 dB	60 dB
B地点	無指定地域	C 類 型	46.2 dB	60 dB
C地点	無指定地域	C 類 型	44.5 dB	60 dB

*1 メーカー提供データより

*2 既存類似店舗調査結果より(等価騒音レベル)

*3 騒音予測の手引きより

*4 ASJ Model 2003より

*5 既存類似店舗調査結果より(単発騒音暴露レベル)

*6 騒音予測地点A~Cは、資料-9に示す。

A地点:建物敷地東側住居敷地内(高さ4.5m)

B地点:建物敷地東側空地(高さ1.5m)

C地点:建物敷地西側住居敷地内(高さ1.5m)

*7 各予測地点における等価騒音レベル(dB)欄に示す記号「-」は、デシベルの計算上マイナスの値を示す。

<評価>

予測の結果、昼間の等価騒音レベルは基準値を満足するものであり、出店計画に伴い店舗から発生する騒音が周辺地域へ与える影響は少ないものと推察された。

(3) 夜間の等価騒音レベルの予測

(3) 夜間の等価騒音レベルの予測					各予測地点における等価騒音レベル(dB)						
騒音発生源		基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)			各予測地点における等価騒音レベル(dB)			
		騒音レベル(dB)	※根拠		A地点	B地点	C地点	A地点	B地点	C地点	
定常騒音	9	冷凍冷蔵庫屋外機1	49.9	*1	終 日	50.1	35.4	69.0	15.9	18.9	13.1
	10	冷凍冷蔵庫屋外機2	49.9	*1	終 日	48.8	35.9	70.4	16.1	18.8	12.9
	11	冷凍冷蔵庫屋外機3	57.5	*1	終 日	51.1	33.5	68.6	23.3	27.0	20.8
	12	冷凍冷蔵庫屋外機4	57.5	*1	終 日	49.8	34.1	70.1	23.6	26.8	20.6
	17	キュービクル	51.1	*2	終 日	46.5	41.5	71.1	17.8	18.7	14.1
変動	※	来客車両走行音	74.0	*3	82台×1回	-	-	-	24.1	34.1	34.1
	※	搬出入車両走行音	83.5	*3	1台×1～2回	-	-	-	16.0	22.4	22.2
衝撃騒音	24	台車走行音	71.0	*4	1台×6秒×6回	61.0	50.2	58.6	6.3	8.0	6.6
	25	荷下ろし音	73.2	*5	1台×10回	61.0	50.2	58.6	2.9	4.6	3.2
	26	搬出入車両荷台扉開音	74.9	*5	1台×1回	60.9	50.2	58.6	-	-	-
	27	搬出入車両荷台扉閉音	77.2	*5	1台×1回	60.9	50.2	58.6	-	-	-
	28	搬出入車両座席扉開閉音	77.8	*5	1台×2回	69.1	48.2	50.1	-	2.5	2.2
	30	搬出入車両エンジン始動音	79.4	*5	1台×1回	69.2	48.2	50.1	-	1.1	0.8

夜間(午後10時～午前6時)の等価騒音レベル

地点名	用途地域	地域の類型	予測結果	基準値
A地点	無指定地域	C 類 型	29.5 dB	50 dB
B地点	無指定地域	C 類 型	36.0 dB	50 dB
C地点	無指定地域	C 類 型	34.8 dB	50 dB

変動：変動騒音を示す。

*1 メーカー提供データより

*2 既存類似店舗調査結果より (等価騒音レベル)

*3 騒音予測の手引きより

*4 ASJ Model 2003より

*5 既存類似店舗調査結果より (単発騒音暴露レベル)

*6 騒音予測地点A～Cは、資料-9に示す。

A地点：建物敷地東側住居敷地内 (高さ 4.5m)

B地点：建物敷地東側空地 (高さ 1.5m)

C地点：建物敷地西側住居敷地内 (高さ 1.5m)

*7 各予測地点における等価騒音レベル (dB)欄に示す記号「-」は、デシベルの計算上マイナスの値を示す。

<評価>

予測の結果、夜間の等価騒音レベルは基準値を満足するものであり、出店計画に伴い店舗から発生する騒音が周辺地域へ与える影響は少ないものと推察された。

4 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠〔規則 § 4 I ⑩〕

＜夜間（午後10時～午前6時）において発生することが見込まれる騒音＞

騒音発生源				基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)			各予測地点における騒音レベル(dB)		
				騒音レベル(dB)	※根拠		a 地点	b 地点	c 地点	a 地点	b 地点	c 地点
定常騒音	9	冷凍冷蔵庫屋外機1	49.9	*1	終 日	23.9	35.4	63.3	22.3	18.9	13.9	
	10	冷凍冷蔵庫屋外機2	49.9	*1	終 日	22.7	35.9	64.8	22.8	18.8	13.7	
	11	冷凍冷蔵庫屋外機3	57.5	*1	終 日	25.1	33.5	62.9	29.5	27.0	21.5	
	12	冷凍冷蔵庫屋外機4	57.5	*1	終 日	24.0	34.1	64.4	29.9	26.8	21.3	
	17	キュービクル	51.1	*2	終 日	20.0	41.5	65.6	25.1	18.7	14.8	
変動	※	来客車両走行音	74.0	*3	82台×1回	73.5	10.3	8.3	22.6	53.7	55.6	
	※	搬出入車両走行音	83.5	*3	1台×1～2回	69.8	19.7	24.1	31.9	57.6	55.9	
衝撃騒音	24	台車走行音	77.0	*4	1台×6秒×6回	36.7	50.2	53.7	20.7	43.0	42.4	
	25	荷下ろし音	77.4	*5	1台×10回	36.6	50.2	53.6	21.1	43.4	42.8	
	26	搬出入車両荷台扉開音	77.8	*5	1台×1回	36.5	50.2	53.6	22.0	43.8	43.2	
	27	搬出入車両荷台扉閉音	79.9	*5	1台×1回	36.5	50.2	53.6	23.7	45.9	45.3	
	28	搬出入車両座席扉開閉音	80.4	*5	1台×2回	44.2	48.2	45.2	29.0	46.7	47.3	
	30	搬出入車両エンジン始動音	80.7	*5	1台×1回	44.3	48.2	45.2	25.5	47.0	47.6	

夜間(午後10時～午前6時)の騒音レベルの最大値

地点名	用途地域	区域の区分	予測結果	基準値
a 地点	無指定地域	第 3 種 区 域	36.3 dB	50 dB
b 地点	無指定地域	第 3 種 区 域	59.1 dB	50 dB
c 地点	無指定地域	第 3 種 区 域	58.8 dB	50 dB

変動：変動騒音を示す。

*1 メーカー提供データより

*2 既存類似店舗調査結果より（等価騒音レベル）

*3 ASJ Model 2003より

*4 騒音予測の手引きより

*5 既存類似店舗調査結果より（単発騒音暴露レベル）

*6 騒音予測地点 a～d は、資料－9 に示す。

a 地点：建物敷地東側境界上（高さ 6.2m）

b 地点：建物敷地東側境界上（高さ 1.5m）

c 地点：建物敷地西側境界上（高さ 1.5m）

＜評価＞

予測の結果、b 及び c 地点において自動車走行音騒音の影響により基準値を上回ることが予測された。

※特別な事情による発生する騒音ごとの予測
該当なし

発生する騒音ごとの予測方法
該当なし

[基準値を超える場合の対策（または対策不要の理由）]

基準値を超過する車両走行音は、特定工場等において発生する騒音の規制に関する基準に基づき「騒音計の指示値が不規則かつ大幅に変動する場合」に該当することから、騒音規制法における騒音評価量90%レンジ上端値で見ると、夜間の時間帯（480分）に対して、b地点では約2分間（発生時間率0.5%）、c地点では約6分間（発生時間率1.3%）が基準値を上回ることになるが、規制基準は満足するため、周辺住居等に与える騒音の影響は比較的小さいものと推察される。

開店後、店舗から発生する騒音によって、苦情等が発生した際には、発生源対策を含め誠意を持って対応いたします。

b地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)
番号	機器名称	高さ						
定常騒音	9 冷凍冷蔵庫屋外機1	7.6		49.9	35.4	31.0	-	18.9
	10 冷凍冷蔵庫屋外機2	7.6		49.9	35.9	31.1	-	18.8
	11 冷凍冷蔵庫屋外機3	7.6		57.5	33.5	30.5	-	27.0
	12 冷凍冷蔵庫屋外機4	7.6		57.5	34.1	30.7	-	26.8
	17 キュービクル	7.5		51.1	41.5	32.4	-	18.7
変動	※ 来客車両走行音（線分番号5-3）	0.6		74.0	10.3	20.3	-	53.7
	※ 搬出入車両走行音（線分番号4-3）	0.6		83.5	19.7	25.9	-	57.6
衝撃騒音	24 台車走行音	0.0		77.0	50.2	34.0	-	43.0
	25 荷下ろし音	0.6		77.4	50.2	34.0	-	43.4
	26 搬出入車両荷台扉閉音	1.5		77.8	50.2	34.0	-	43.8
	27 搬出入車両荷台扉閉音	1.5		79.9	50.2	34.0	-	45.9
	28 搬出入車両座席扉閉音	1.5		80.4	48.2	33.7	-	46.7
	30 搬出入車両エンジン始動音	0.6		80.7	48.2	33.7	-	47.0
	騒音レベル最大値							59.1
	基準値							50

変動：変動騒音を示す。

※ 夜間に発生する騒音レベル最大値を評価する上で、荷さばき作業に伴い発生する騒音は同時に発生することがないため、予測地点において、最も騒音レベルが高い値を用いて評価を行う。

自動車走行音が基準値を上回る時間の算出は、線分の Δt と発生回数より求める。

来客車両走行音（線分番号5-2、5-3）

$$\begin{aligned}
 \text{超過時間} &= \Delta t \times \text{騒音発生回数} \\
 &= (0.74 \times 2) \times 82 \\
 &= 121.36 \text{秒}
 \end{aligned}$$

搬出入車両走行音（線分番号3-1、3-2、3-3、4-1、4-2、4-3）

$$\begin{aligned}
 \text{超過時間} &= \Delta t \times \text{騒音発生回数} \\
 &= (2.08 \times 3 + 2.08 \times 3) \times 1 \\
 &= 12.48 \text{秒}
 \end{aligned}$$

超過時間＝来客車両走行音＋搬出入車両走行音

$$\begin{aligned}
 &= 121.36 \text{秒} + 12.48 \text{秒} \\
 &= 133.84 \text{秒} \approx 2 \text{分間（発生時間率0.5%）}
 \end{aligned}$$

c地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)
	番号	機器名称	高さ					
定常騒音	9	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.6	49.9	63.3	36.0	-	13.9
	10	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.6	49.9	64.8	36.2	-	13.7
	11	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.6	57.5	62.9	36.0	-	21.5
	12	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.6	57.5	64.4	36.2	-	21.3
	17	キュービクル	7.5	51.1	65.6	36.3	-	14.8
変動	※	来客車両走行音（線分番号10-1）	0.6	74.0	8.3	18.4	-	55.6
	※	搬出入車両走行音（線分番号7-1）	0.4	83.5	24.1	27.6	-	55.9
衝撃騒音	24	台車走行音	0.0	77.0	53.7	34.6	-	42.4
	25	荷下ろし音	0.6	77.4	53.6	34.6	-	42.8
	26	搬出入車両荷台扉開音	1.5	77.8	53.6	34.6	-	43.2
	27	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	79.9	53.6	34.6	-	45.3
	28	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	80.4	45.2	33.1	-	47.3
	30	搬出入車両エンジン始動音	0.6	80.7	45.2	33.1	-	47.6
		騒音レベル最大値						58.8
		基準値						50

変動：変動騒音を示す。

※ 夜間に発生する騒音レベル最大値を評価する上で、荷さばき作業に伴い発生する騒音は同時に発生することがないため、予測地点において、最も騒音レベルが高い値を用いて評価を行う。

自動車走行音が基準値を上回る時間の算出は、線分の Δt と発生回数より求める。

来客車両走行音（線分番号9-2、9-3、10-1、10-2）

$$\begin{aligned}
 \text{超過時間} &= \Delta t \times \text{騒音発生回数} \\
 &= (0.68 \times 2 + 1.42 \times 2) \times 82 \\
 &= 344.4 \text{秒}
 \end{aligned}$$

搬出入車両走行音（線分番号1-1、1-2、1-3、2-1、2-2、2-3、3-1、3-2、3-3、4-1、4-2、4-3、
6-1、6-2、6-3、7-1、7-2、7-3）

$$\begin{aligned}
 \text{超過時間} &= \Delta t \times \text{騒音発生回数} \\
 &= (0.90 \times 3) \times 1 + (1.16 \times 3) \times 2 + (2.08 \times 3 + 2.08 \times 3 + 2.34 \times 3 + 0.91 \times 3) \times 1 \\
 &= 31.89 \text{秒}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{超過時間} &= \text{来客車両走行音} + \text{搬出入車両走行音} \\
 &= 344.4 \text{秒} + 31.89 \text{秒} \\
 &= 376.29 \text{秒} \approx 6 \text{分間} \quad (\text{発生時間率} 1.3\%)
 \end{aligned}$$

5 騒音の予測と騒音対策

(1) 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策の概要

項 目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の配置等	別添「資料-3 平面図兼配置図」に記載
荷さばき施設の騒音対策	・荷さばき施設は、十分な作業スペースを確保し、計画的な搬出入を行うことで、作業時間の短縮に努める。
荷さばき作業の騒音対策	・荷さばき車両のアイドリングを禁止するなど、作業員に対して騒音防止の意識を徹底する（但し、エンジンを停止することができない保冷車のアイドリングは除く）。

(2) BGM等の営業宣伝活動の予定

BGM等の使用
(無・有)

使用時間帯	拡声器の数	拡声器の容量	拡声器の配置	具体的な騒音対策の内容
—	—	—	—	—

(3) 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機等の規模・能力・騒音レベル等

No.	項 目		設置の有 無	規模・能力	騒音レベル	騒音対策等
	種 類	形 式				
1	室外機1	ROA-RP2243HS	有	圧縮機出力4.74kW	59.9	・低騒音化型の機器を導入する。 ・定期的に保守点検を実施し、故障等による異音の発生を防止する。
2	室外機2	ROA-RP2243HS	有	圧縮機出力4.74kW	59.9	
3	室外機3	ROA-RP2803HS	有	圧縮機出力7.16kW	63.1	
4	室外機4	ROA-RP2803HS	有	圧縮機出力7.16kW	63.1	
5	室外機5	ROA-RP2803HS	有	圧縮機出力7.16kW	63.1	
6	室外機6	ROA-RP1601H	有	圧縮機出力4.06kW	58.0	
7	室外機7	ROA-RP2803HS	有	圧縮機出力7.16kW	63.1	
8	室外機8	ROA-RP1121H	有	圧縮機出力2.26kW	58.0	
9	冷凍冷蔵車屋外機1	KX-R6AV1	有	圧縮機出力4.5kW	49.9	
10	冷凍冷蔵車屋外機2	KX-R6AV1	有	圧縮機出力4.5kW	49.9	
11	冷凍冷蔵車屋外機3	KX-RM20AM	有	圧縮機出力(7.4×2)kW	57.5	
12	冷凍冷蔵車屋外機4	KX-RM20AM	有	圧縮機出力(7.4×2)kW	57.5	
13	排気口1	DVF-25FVD10	有	出力0.1kW	45.0	・大きな騒音がでない形状を選択する。
14	排気口2	DVF-25FVD10	有	出力0.1kW	45.0	
15	排気口3	DVF-25FVD10	有	出力0.1kW	45.0	
16	排気口4	DVF-25FVD10	有	出力0.1kW	45.0	
17	キュービクル	キュービクルa	有	—	51.1	無

(4) 駐車場の施設構造と騒音対策の概要

駐車場No.	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
駐車場	・特になし	・オープン時など混雑が見込まれる際には、交通整理員を配置して場内走行の円滑化を図り、渋滞による騒音の発生を抑制する。 ・駐車場利用時間外には出入口をバリカー等で閉鎖し、外部からの侵入者が騒音を発生することがないように配慮する。

(5) 廃棄物収集作業にかかる騒音対策の概要

廃棄物収集場所の構造	回収時間帯	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
廃棄物等保管施設 (建物内)	6:00~18:00	・特になし	・早朝、夜間には回収を行わない。 ・ゴミの排出量を減らし、収集時間を短縮できるよう努める。 ・業者には騒音抑制の意識を徹底させるとともに、エンジンの空ぶかしは行わないよう協力を要請する。

6 その他（特記事項）

特になし

〔廃棄物に係る事項等〕

1 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

〔規則 § 4 I ⑫〕

(1) 廃棄物等の排出量等の予測

(端数処理：四捨五入)

廃棄物種別	店舗面積：S		指 針 原単位	A 一日当たり 廃棄物排出量 (原単位×S)	B 平均 保管 日数	C 見かけ 比 重 (t/m³)	排出予測量 A×B÷C
紙製廃棄物等	6,000m²以下の部分	1.338千m²	0.208	0.278304 t	1日	0.10	2.78m³
金属製廃棄物等	6,000m²以下の部分	1.338千m²	0.007	0.009366 t	1日	0.10	0.09m³
ガラス製廃棄物等	6,000m²以下の部分	1.338千m²	0.006	0.008028 t	1日	0.10	0.08m³
プラスチック製 廃棄物等	6,000m²以下の部分	1.338千m²	0.020	0.026760 t	1日	0.01	2.68m³
生ごみ等	6,000m²以下の部分	1.338千m²	0.169	0.226122 t	1日	0.55	0.41m³
その他の可燃性 廃棄物等		1.338千m²	0.054	0.072252 t	1日	0.38	0.19m³
合 計							6.23m³

〔見かけ比重について指針の数値によらない場合〕

該当なし

(2) 特別な事情による廃棄物等の排出量予測【特別な事情がある場合のみ記載】

該当なし

(3) 小売店舗以外の施設からの廃棄物等の排出状況【小売店舗以外の施設が有る場合のみ記載】

該当なし

(4) リサイクル品（再利用対象物）の排出量等の予測【小売業者が廃棄物等の回収を行う場合のみ記載】

該当なし

(5) その他の廃棄物等（廃家電・粗大ゴミ等）の排出量等の予測

【（1）以外の廃棄物等の排出が見込まれる場合に記載】

該当なし

2 保管場所の位置・構造等

廃棄物 種別	分別する 種類	施設 面積	施設 容量	管理上の対策			図面 No.
				悪臭発散 防止対策	汚水流出 防止対策	その他	
紙製廃棄物等	ダンボール	6.0㎡	9.0㎡ ³	・密閉性が確保 された構造と している。	・特になし	・特になし	資料-3 参照
金属製廃棄物等	スチール缶 アルミ缶						
ガラス製廃棄物	ビン類						
プラスチック製 廃棄物	ペットボトル						
生ごみ等	生ごみ等	3.0㎡	4.5㎡ ³	・ポリ袋に入れ、 密閉して保管す る。			
その他の可燃性 廃棄物	紙くず等						
その他	—	—	—				
計		9.0㎡	13.5㎡ ³				

3 廃棄物減量化及びリサイクルについての計画

廃棄物減量化及びリサイク ル計画の予定及び概要	【廃棄物減量化】 ・過剰包装・梱包の抑制による廃棄物の低減化を図る。 【リサイクル計画】 商品梱包用段ボールや空き缶を分別保管し、業者に依頼して再資源化を図る。
----------------------------	---

周辺住民への周知方法	・住民説明会で周知を図る。
------------	---------------

4 廃棄物等の運搬・処理計画

(1) 廃棄物等の運搬方法

項 目	紙製廃棄物等	金属製廃棄物等	ガラス製廃棄物等
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
収集車の種類	4 tパッカー車	4 tパッカー車	4 tパッカー車
予定業者等	上天草市許可業者	熊本県許可業者	熊本県許可業者
運搬の頻度	1回/日	1回/日	1回/日

項 目	プラスチック製廃棄物	生ごみ等	その他可燃性廃棄物
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
収集車の種類	4 tパッカー車	4 tパッカー車	4 tパッカー車
予定業者等	熊本県許可業者	上天草市許可業者	上天草市許可業者
運搬の頻度	1回/日	1回/日	1回/日

(2) 廃棄物等の処理方法

項 目	紙製廃棄物等	金属製廃棄物等	ガラス製廃棄物等
処理の方法	リサイクル	リサイクル	リサイクル
処理予定業者等	上天草市許可業者から選定	熊本県許可業者から選定	熊本県許可業者から選定
敷地内処理の場合	該当なし	該当なし	該当なし

項 目	プラスチック製廃棄物	生ごみ等	その他可燃性廃棄物
処理の方法	リサイクル	敷地外処理	敷地外処理
処理予定業者等	熊本県許可業者から選定	松島地区清掃センター	松島地区清掃センター
敷地内処理の場合	該当なし	該当なし	該当なし

(3) 小売業者における廃棄物等運搬・処理の方法
該当なし

(4) 食品加工場等計画
該当なし

5 その他（特記事項）

特になし

〔街並みづくり等への配慮等〕

1 街並みづくり等への配慮に関する事項

- (1) 景観法に基づく景観計画若しくは景観地区、地区計画若しくは風致地区が定められている地区又は建築協定若しくは景観協定が締結されている地区

該当の有無	天草景観形成地域
(有) ・ 無	

(2) 景観への配慮

・周辺地域の景観に配慮して、建物の色彩やデザインの調和を図る。

(3) 商店街のアーケードの整備等の街並みづくり等への配慮事項

・特になし

(4) まちづくりへの対応方針

- ①従業員の採用にあたっては、地域から優先的に雇用する。
- ②定期的に店舗周辺の清掃活動に取り組む。
- ③地域の祭りや各種行事について地域自治会から申し出があれば、協力を検討する。
- ④万一閉鎖を余儀なくされた場合においては、「早期の情報提供」、「従業員雇用の確保」、「取引先企業に対する対応」、「店舗閉鎖に伴う環境悪化の防止」など適切に対応する。

(5) 敷地内の緑化計画

・計画なし

(6) 屋外照明・広告塔照明等の計画と光害対策

	屋外照明	広告塔照明
照明灯の配置	未 定	未 定
照明灯の方向	駐車場方向下向きに照射	広告塔方向下向きに照射
照 明 の 強 さ	—	—
点 灯 時 間	日没～閉店後30分まで	
光 害 対 策	・周辺近隣に対して光害を発生させないよう照明の配置、方向、光源の種類には十分に配慮する。	

(7) 防災計画への協力

防災協定等		締結協定の内容
締結依頼	(無)・有	・地方公共団体から格段の要請はないが、災害時の避難場所として駐車場等敷地の一部の使用、若しくは、店舗で扱っている物資の緊急時における提供について、要請があれば協議検討のうえ協力する。
締結済	(無)・有	

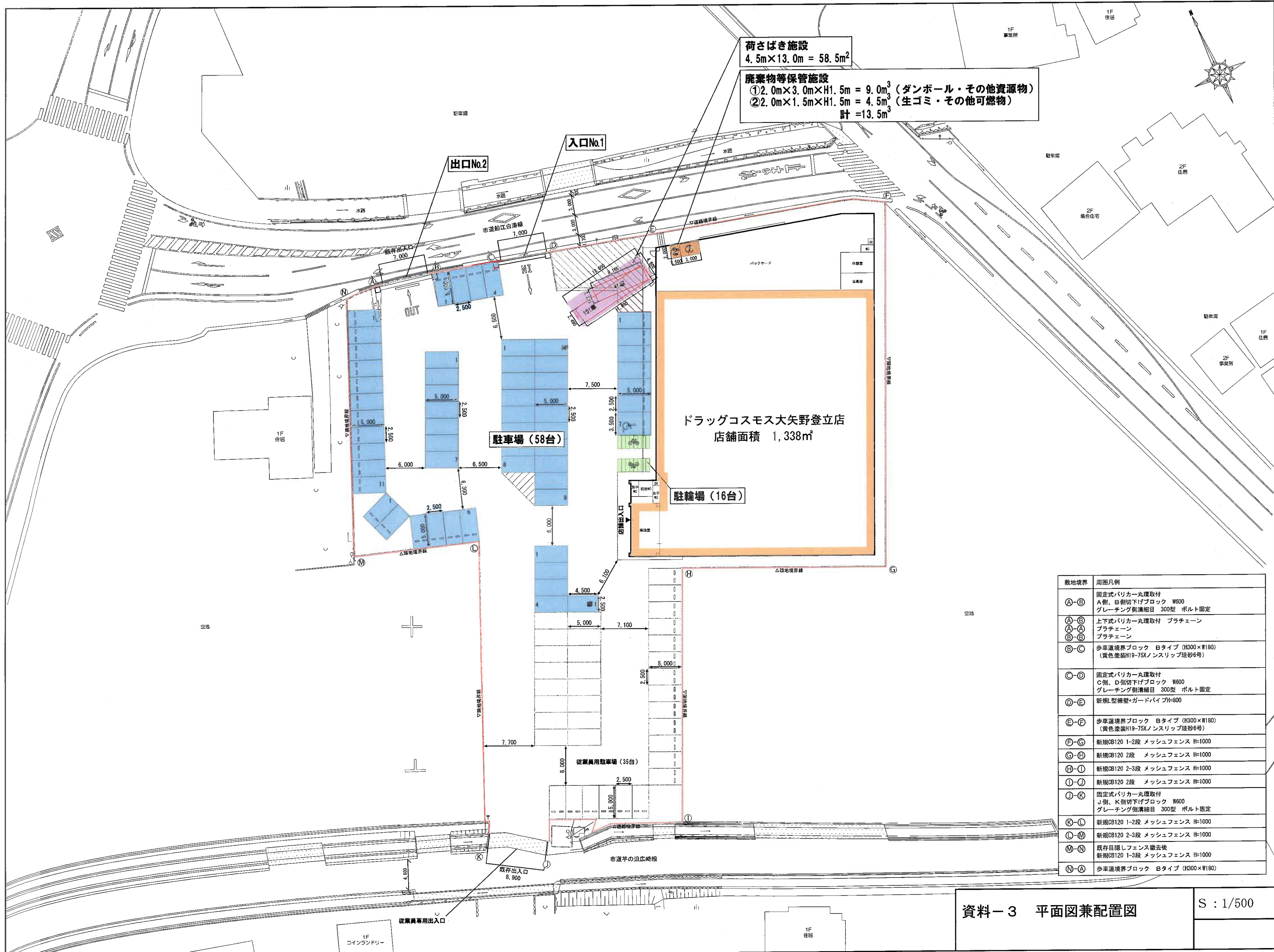
(8) 防犯対策への協力

駐車場内の照明の設置	・駐車場内には、適切に照明設備を配置することで死角を排除し、青少年のたまり場とならないよう配慮する。
警備員の巡回等	・従業員による定期的な店内巡回や声かけを行うことで、防犯に努める。
閉店後及び休業日における店舗施設内の措置等	・閉店後には、店舗周辺部や駐車場への蜻集を防止するため、駐車場出入口をバリカー等で閉鎖する。
周辺地域での防犯や青少年の非行防止のための対策	・従業員による店内及び駐車場内の巡回や声かけ等により、事前に犯罪を抑制するとともに、少年非行防止の観点から見通しを確保した商品陳列、防犯カメラの設置など万引き防止等の防犯対策を講じる。
その他防犯対策	・防犯責任者を設置するとともに、警察署との連携が図れるよう緊急時の防犯体制を整備する。

2 その他（特記事項）

特になし





荷さばき施設
4.5m×13.0m = 58.5m²

廃棄物等保管施設
①2.0m×3.0m×H1.5m = 9.0m³ (ダンボール・その他資源物)
②2.0m×1.5m×H1.5m = 4.5m³ (生ゴミ・その他可燃物)
計 = 13.5m³

ドラッグコスモス大矢野登立店
店舗面積 1,338m²

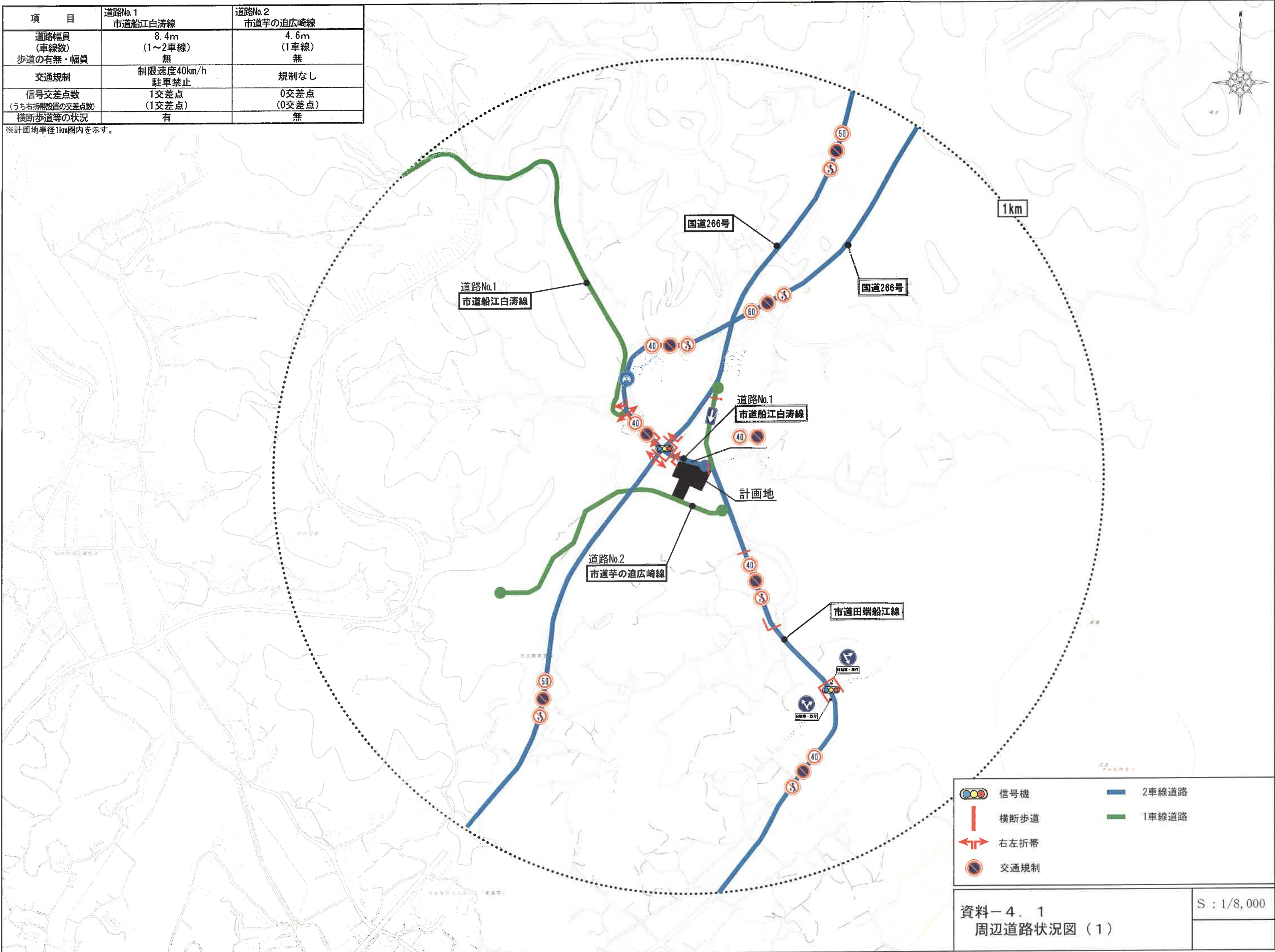
駐車場 (58台)

駐輪場 (16台)

敷地境界	周囲凡例
①-②	固定式バリアー丸環取付 A側、B側切下げブロック W600 グレーチング側溝細目 300型 ボルト固定
②-③	上下式バリアー丸環取付 プラチェーン グレーチング側溝細目 300型 ボルト固定
③-④	歩車道境界ブロック Bタイプ (H300×W180) (黄色塗装H19-75Xノンスリップ珪砂6号)
④-⑤	固定式バリアー丸環取付 C側、D側切下げブロック W600 グレーチング側溝細目 300型 ボルト固定
⑤-⑥	新規L型擁壁+ガードパイプH=800
⑥-⑦	歩車道境界ブロック Bタイプ (H300×W180) (黄色塗装H19-75Xノンスリップ珪砂6号)
⑦-⑧	新規OB120 1-2段 メッシュフェンス H=1000
⑧-⑨	新規OB120 2段 メッシュフェンス H=1000
⑨-⑩	新規OB120 2-3段 メッシュフェンス H=1000
⑩-⑪	新規OB120 2段 メッシュフェンス H=1000
⑪-⑫	固定式バリアー丸環取付 J側、K側切下げブロック W600 グレーチング側溝細目 300型 ボルト固定
⑫-⑬	新規OB120 1-2段 メッシュフェンス H=1000
⑬-⑭	新規OB120 2-3段 メッシュフェンス H=1000
⑭-⑮	既存目隠しフェンス撤去後 新規OB120 1-3段 メッシュフェンス H=1000
⑮-⑯	歩車道境界ブロック Bタイプ (H300×W180)

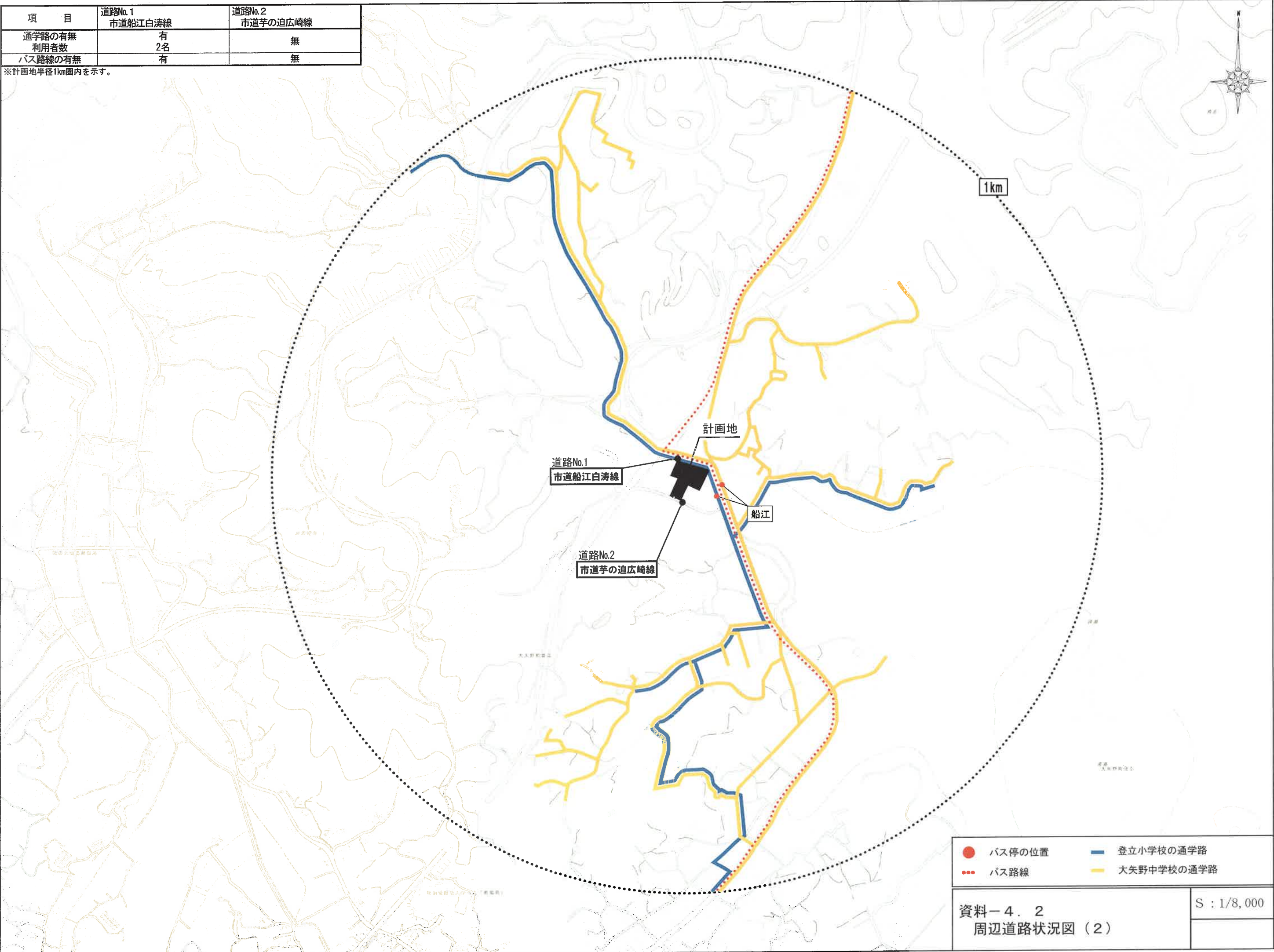
項 目	道路No.1 市道船江白湊線	道路No.2 市道芋の迫広崎線
道路幅員 (車線数) 歩道の有無・幅員	8.4m (1～2車線) 無	4.6m (1車線) 無
交通規制	制限速度40km/h 駐車禁止	規制なし
信号交差点数 (うち右折帯設置の交差点数)	1交差点 (1交差点)	0交差点 (0交差点)
横断歩道等の状況	有	無

※計画地半径1km圏内を示す。



項 目	道路No.1 市道船江白涛線	道路No.2 市道芋の迫広崎線
通学路の有無	有	無
利用者数	2名	無
バス路線の有無	有	無

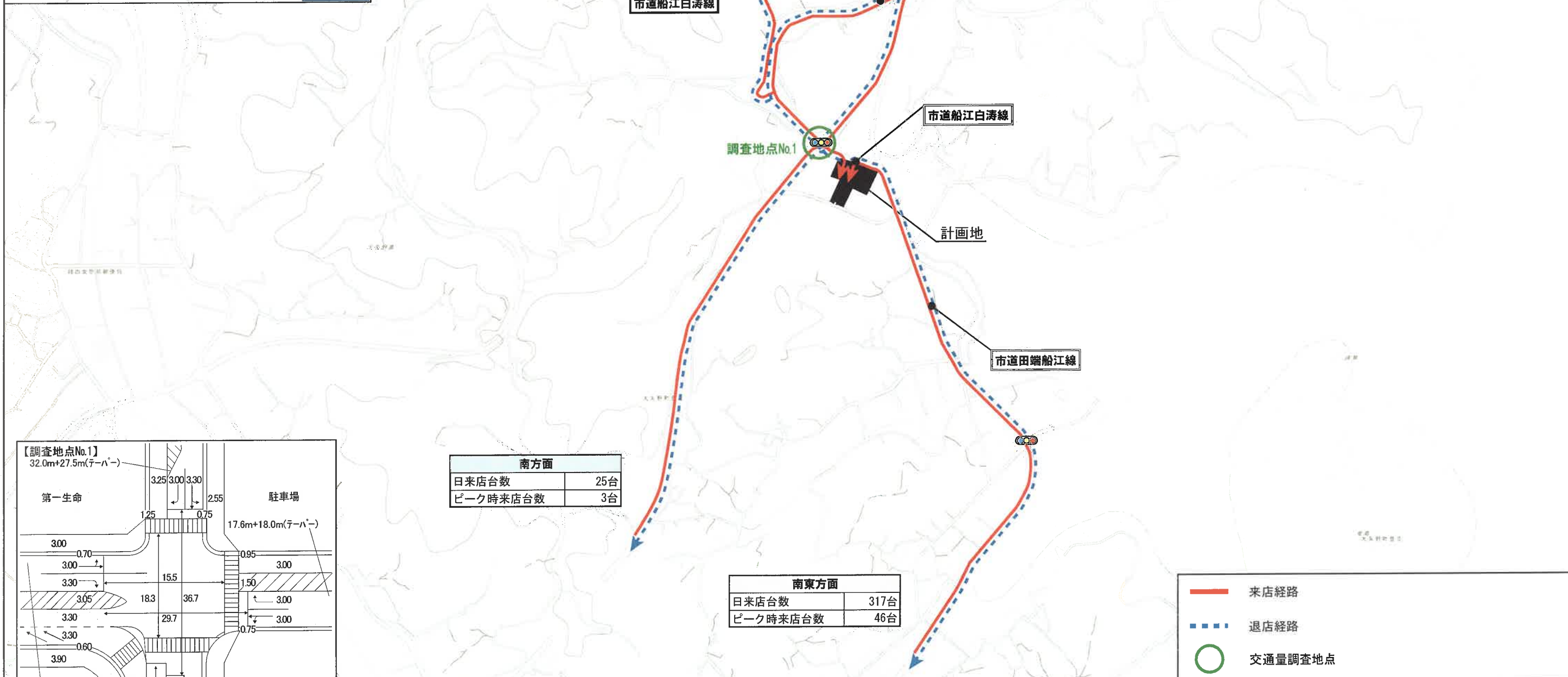
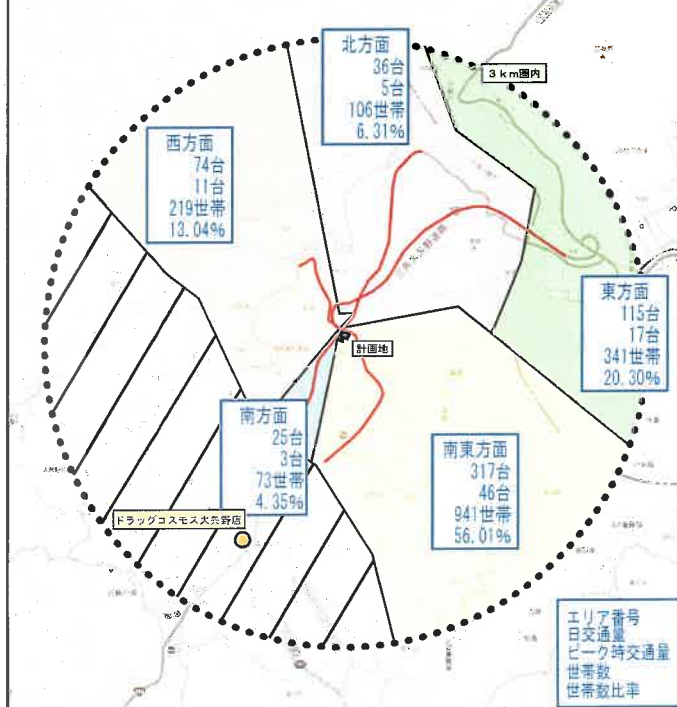
※計画地半径1km圏内を示す。



● バス停の位置	— 登立小学校の通学路
... バス路線	— 大矢野中学校の通学路

資料-4.2 周辺道路状況図(2)	S : 1/8,000
----------------------	-------------

商圏図



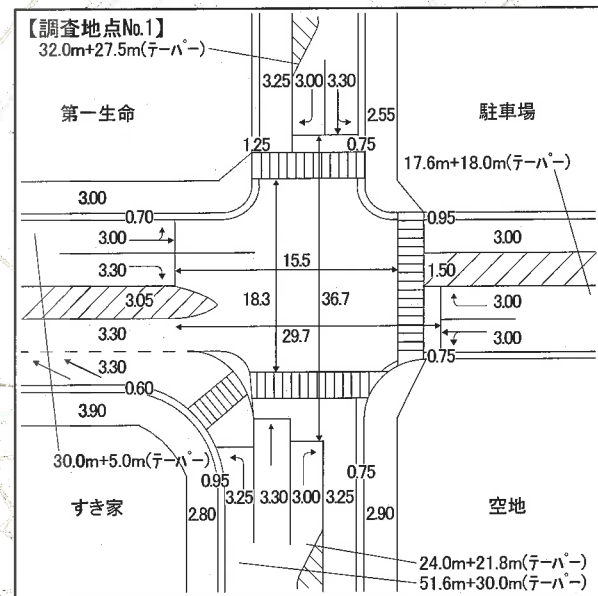
西方面	
日来店台数	74台
ピーク時来店台数	11台

北方面	
日来店台数	36台
ピーク時来店台数	5台

東方面	
日来店台数	115台
ピーク時来店台数	17台

南方面	
日来店台数	25台
ピーク時来店台数	3台

南東方面	
日来店台数	317台
ピーク時来店台数	46台



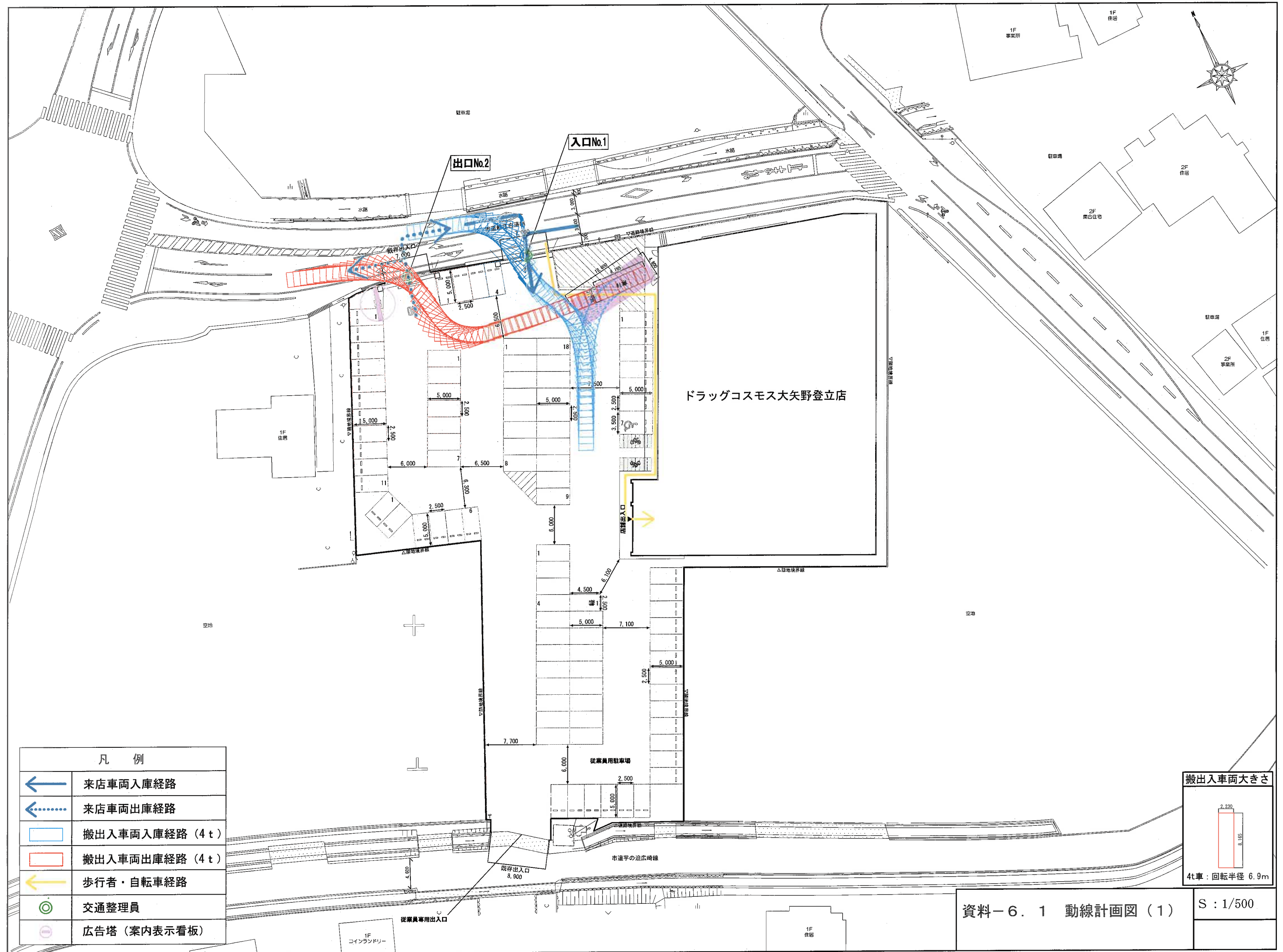
来店経路

退店経路

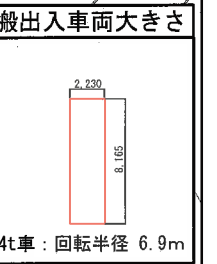
交通量調査地点

資料-5 案内経路図

S : 1/8,000

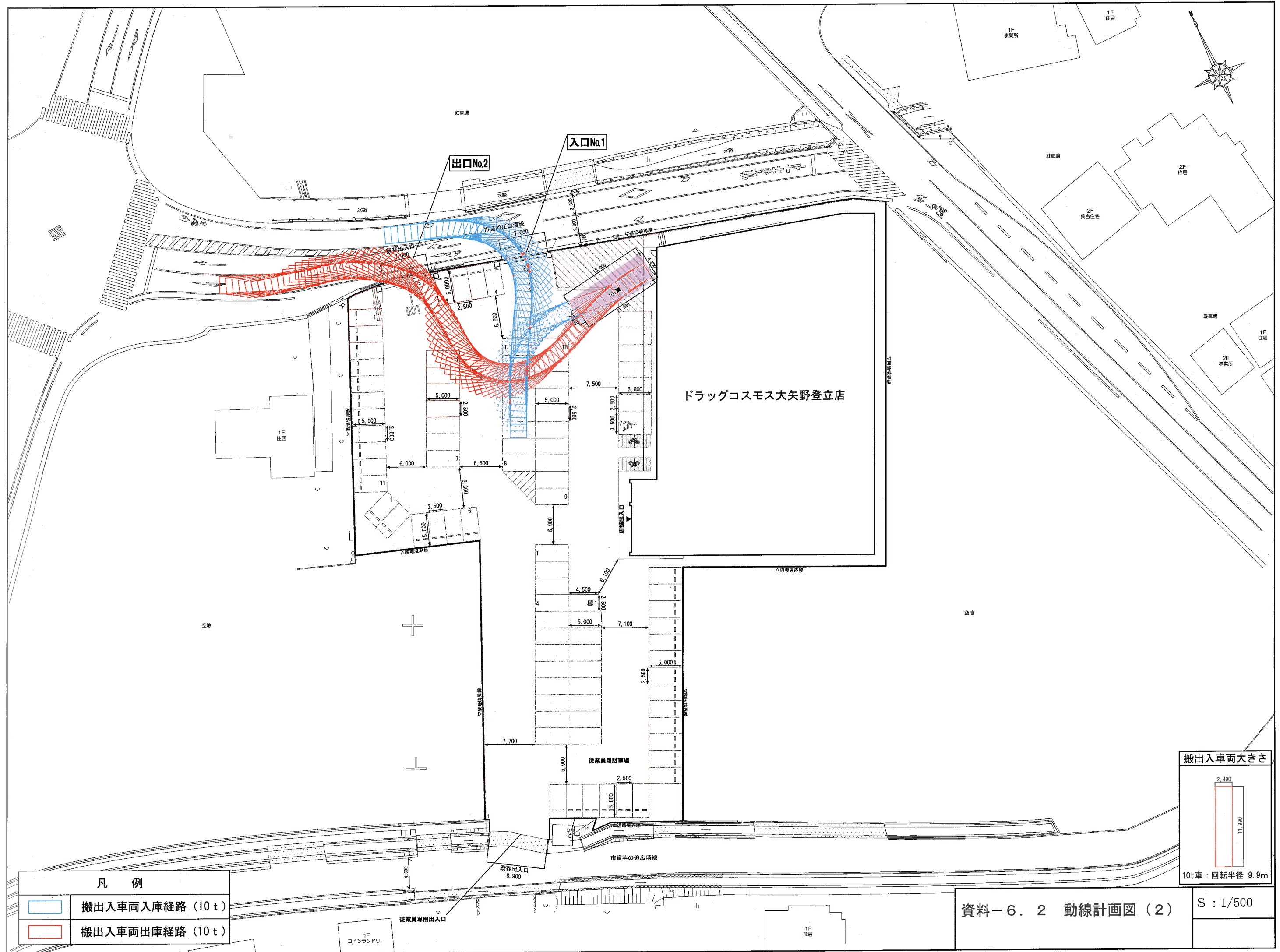


凡 例	
	来店車両入庫経路
	来店車両出庫経路
	搬出入車両入庫経路 (4 t)
	搬出入車両出庫経路 (4 t)
	歩行者・自転車経路
	交通整理員
	広告塔 (案内表示看板)



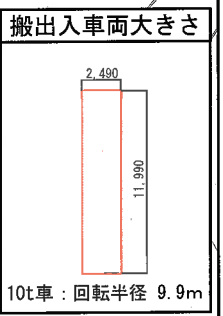
資料-6. 1 動線計画図 (1)

S : 1/500



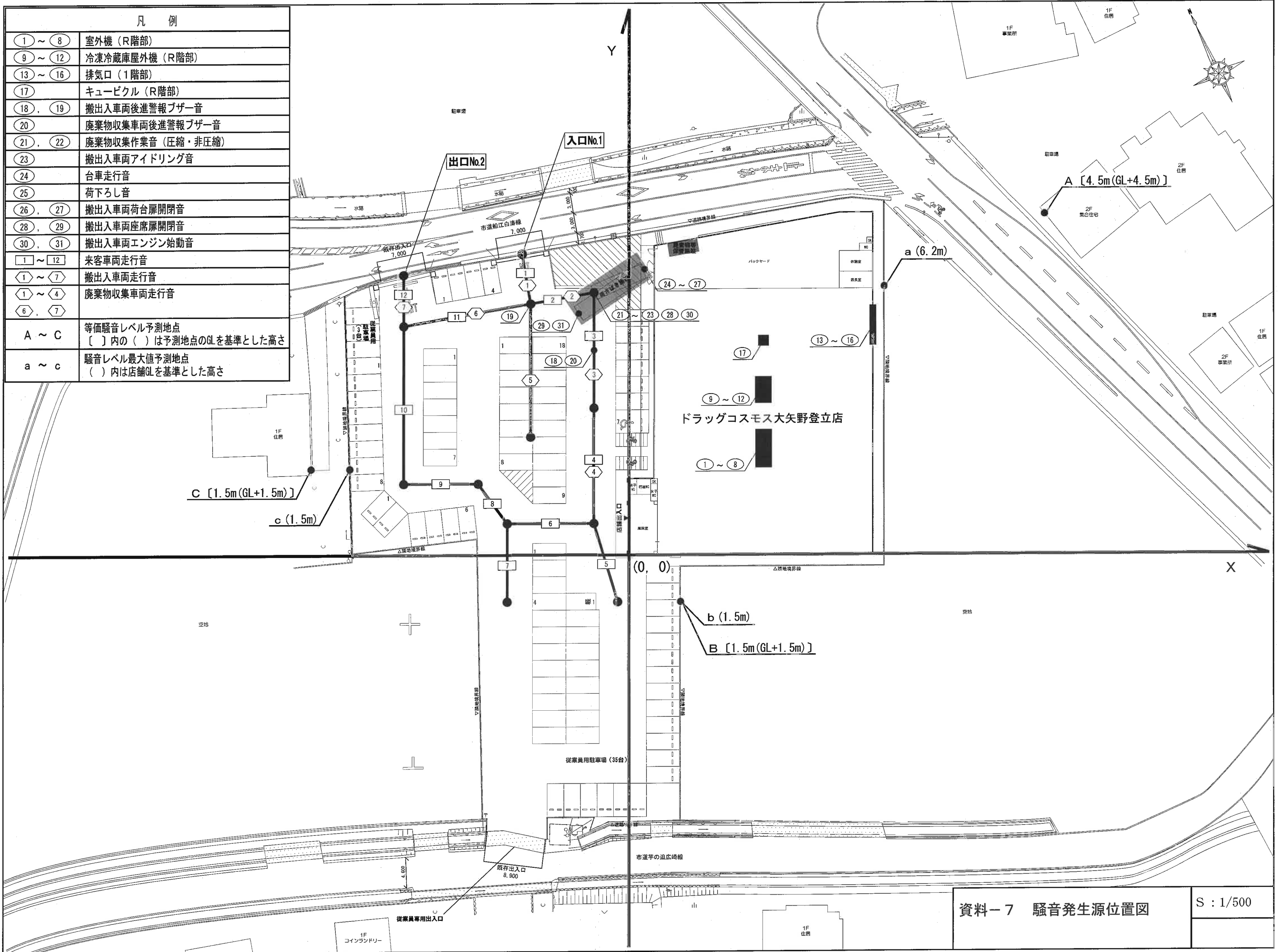
凡 例	
—	搬出入車両入庫経路 (10 t)
—	搬出入車両出庫経路 (10 t)

資料-6. 2 動線計画図 (2)



S : 1/500

凡 例	
① ～ ⑧	室外機 (R階部)
⑨ ～ ⑫	冷凍冷蔵庫屋外機 (R階部)
⑬ ～ ⑯	排気口 (1階部)
⑰	キュービクル (R階部)
⑱, ⑲	搬出入車両後進警報ブザー音
⑳	廃棄物収集車両後進警報ブザー音
㉑, ㉒	廃棄物収集作業音 (圧縮・非圧縮)
㉓	搬出入車両アイドリング音
㉔	台車走行音
㉕	荷下ろし音
㉖, ㉗	搬出入車両荷台扉開閉音
㉘, ㉙	搬出入車両座席扉開閉音
㉚, ㉛	搬出入車両エンジン始動音
① ～ ⑫	来客車両走行音
① ～ ⑦	搬出入車両走行音
① ～ ④	廃棄物収集車両走行音
⑥, ⑦	
A ～ C	等価騒音レベル予測地点 [] 内の () は予測地点のGLを基準とした高さ
a ～ c	騒音レベル最大値予測地点 () 内は店舗GLを基準とした高さ



現在事項全部証明書

福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号
株式会社コスモス薬品

会社法人等番号	2900-01-025414	
商号	株式会社コスモス薬品	
本店	福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号第一福岡ビルS館4階	
	福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号	令和5年9月1日変更
		令和5年9月5日登記
電子提供措置に関する規定	当会社は株主総会の招集に際し、株主総会参考書類等の内容である情報について、電子提供措置をとるものとする。	令和4年9月1日設定
		令和4年9月5日登記
公告をする方法	当会社の公告方法は、電子公告とする。 https://www.cosmospc.co.jp/koukouku.html 但し、電子公告を行うことが出来ない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告する。	令和5年9月1日変更
		令和5年9月5日登記
会社成立の年月日	昭和58年12月3日	
目的	1. 医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、農薬、毒物、劇物、検査用試薬の販売。 2. 医薬品配置販売業。 3. 化粧品、衛生用品、介護用品、医療用器具、健康食品、健康飲料の販売。 4. 衣料品、日用雑貨品、食料品、清涼飲料水の販売。 5. 米穀、酒、煙草、塩、その他一切の調味料の販売。 6. 園芸用品、ペットフード及びペット用品の販売。 7. 郵便切手、印紙等及び宝くじの売りさばき。 8. 古物営業法に基づく古物の販売。 9. 書籍、雑誌、文具、事務用品、時計、貴金属製品、皮革製品、家庭用電化製品、カメラ、メガネ、スポーツ用品、玩具の販売。 10. 映像・音声のソフトウェア（ビデオ、フィルム、コンパクトディスク等）の販売・賃貸。 11. 写真の撮影並びに現像、焼付。 12. 絵画、美術工芸品の販売。 13. 厨房設備機器、厨房用品、照明器具、家具、装身具、室内装飾品の販売。 14. 店舗用什器及び店舗用備品の販売。 15. 愛玩用、食用動物の販売。 16. 観賞魚及びアクアリウムの機器の販売。 17. 観賞用植物、緑化用樹木の生産、販売及びリース。 18. 情報処理・提供サービス業、広告業。 19. 労働者派遣事業法に基づく一般労働者派遣事業、特定労働者派遣事業。	

	20. 電気通信事業法に基づく第二種電気通信事業。 21. 電気通信事業法に基づく通信事業者の代理店業務。 22. 携帯電話機、簡易携帯電話機等移動体通信機器の販売。 23. 職業安定法に基づく有料職業紹介事業。 24. 薬局、診療所、ホテル、遊戯施設、公衆浴場、理髪店、美容院、スポーツ施設、学習塾、文化教室、プレイガイド及び駐車場の経営。 25. 展示会、即売会、披露宴、パーティー、会議、催事の設営に関する事業。 26. 清掃、警備、その他一般ビルメンテナンスに関する業務。 27. クリーニング及び配送業。 28. 不動産の売買、賃貸、仲介及び管理業。 29. 不動産の鑑定評価並びに土地・建物の高度有効活用に関するコンサルタント業務。 30. 土木・建築・造園工事業。 31. 室内外装飾・内装の工事業。 32. 経営コンサルタント業。 33. 旅行業法に基づく旅行業及び旅行業者代理業。 34. 印刷並びに出版業。 35. 貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業、港湾運送事業、倉庫業及び梱包業。 36. 地域開発、都市開発、環境整備に関する調査、研究、企画、設計、施工、監理業務の受託。 37. 金銭の貸付及び金銭の貸借の媒介・保証・集金の代行、有価証券の投資・運用・売買並びにクレジットカード業及び総合リース業。 38. 損害保険代理及び生命保険募集に関する業務。 39. 通信販売業 40. 前各号に附帯または関連する一切の事業。 平成25年 8月23日変更 平成25年 9月 5日登記	
単元株式数	100株	
発行可能株式総数	2億3840万株	令和 6年 9月 1日変更
		令和 6年 9月 3日登記
発行済株式の総数 並びに種類及び数	発行済株式の総数 8000万1600株	令和 6年 9月 1日変更
		令和 6年 9月 3日登記
資本金の額	金41億7856万6600円	平成17年11月24日変更
		平成17年11月29日登記
株主名簿管理人の 氏名又は名称及び 住所並びに営業所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部 令和 3年11月22日変更 令和 3年11月22日登記	

役員に関する事項	取締役 柴 田 太	令和 6年 8月20日重任
		令和 6年 9月 3日登記
	取締役 横 山 英 昭	令和 6年 8月20日重任
		令和 6年 9月 3日登記
	取締役 宇 野 之 崇	令和 6年 8月20日重任
		令和 6年 9月 3日登記
	取締役・監査等 小 坂 通 美 委員	令和 5年 8月22日重任
		令和 5年 9月 5日登記
	取締役・監査等 堤 知 代 子 委員 (社外取締役)	令和 5年 8月22日重任
		令和 5年 9月 5日登記
	福岡市博多区博多駅東二丁目8番35-204号	令和 6年 8月20日重任
	代表取締役 横 山 英 昭	令和 6年 9月 3日登記
	会計監査人 太陽有限責任監査法人	令和 6年 8月20日就任
		令和 6年 9月 3日登記
取締役等の会社に対する責任の免除に関する規定	当社は、会社法第426条第1項の規定により、取締役会の決議によって、同法第423条第1項に定める取締役（取締役であった者を含む）の責任を法令の限度において免除することができる。 平成27年 8月21日変更 平成27年 9月 2日登記	
非業務執行取締役等の会社に対する責任の制限に関する規定	当社は、会社法第427条第1項の規定により、取締役（業務執行取締役等である者を除く。）との間で同法第423条第1項に定める責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく賠償責任の限度額は法令が定める額とする。 平成27年 8月21日変更 平成27年 9月 2日登記	
取締役会設置会社に関する事項	取締役会設置会社	平成17年法律第87号第136条の規定により平成18年 5月 1日登記

福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号
株式会社コスモス薬品

監査等委員会設置 会社に関する事項	監査等委員会設置会社 平成27年 8月21日設定 平成27年 9月 2日登記
重要な業務執行の 決定の取締役への 委任に関する事項	重要な業務執行の決定の取締役への委任についての定款の定めがある 平成27年 8月21日設定 平成27年 9月 2日登記
会計監査人設置会 社に関する事項	会計監査人設置会社 平成18年 9月13日登記



これは登記簿に記録されている現に効力を有する事項の全部であることを証明
した書面である。
(福岡法務局管轄)

令和 7年 9月 1日
熊本地方法務局
登記官

上 村 謙 悟



別添資料ー1

ドラッグコスモス大矢野登立店 交通処理計画報告書

— 目 次 —

第1章 交通状況調査	1
1. 道路構造調査	1
2. 交通流量調査	1
第2章 発生交通量の推計	3
1. 指針に基づいた来店交通量の推計	3
2. 来店交通量の方向比	3
第3章 現状交通実態の解析	5
第4章 経路の設定	7
1. 概 要	7
2. 考 察	8
第5章 開店後の交通実態の解析	11
1. 概 要	11
2. 主要道路・主要交差点の検証	11
3. 右折入出庫の検証	13
第6章 現況及び開店後の交通容量解析結果	17
第7章 現況交通調査結果	22

第1章 交通状況調査

1 道路構造調査

ドラッグコスモス大矢野登立店（以下、計画店舗という。）出店予定地周辺における主要交差点の形状および主要道路の構造調査を行った。

2 交通流量調査

計画店舗の開店に伴い、多くの来店帰宅需要交通流量が集中すると考えられる主要交差点の交通流量調査を平日及び休日の両日で行った。

(i) 調査日時

主要交差点

平日	令和7年6月23日（月）	8:00～20:00	12時間計測
休日	令和7年6月22日（日）	8:00～20:00	12時間計測

(ii) 調査地点

調査地点を次頁の「図－1．調査交差点位置図」に示す。

- ・交差点No.1（登立IC交差点）

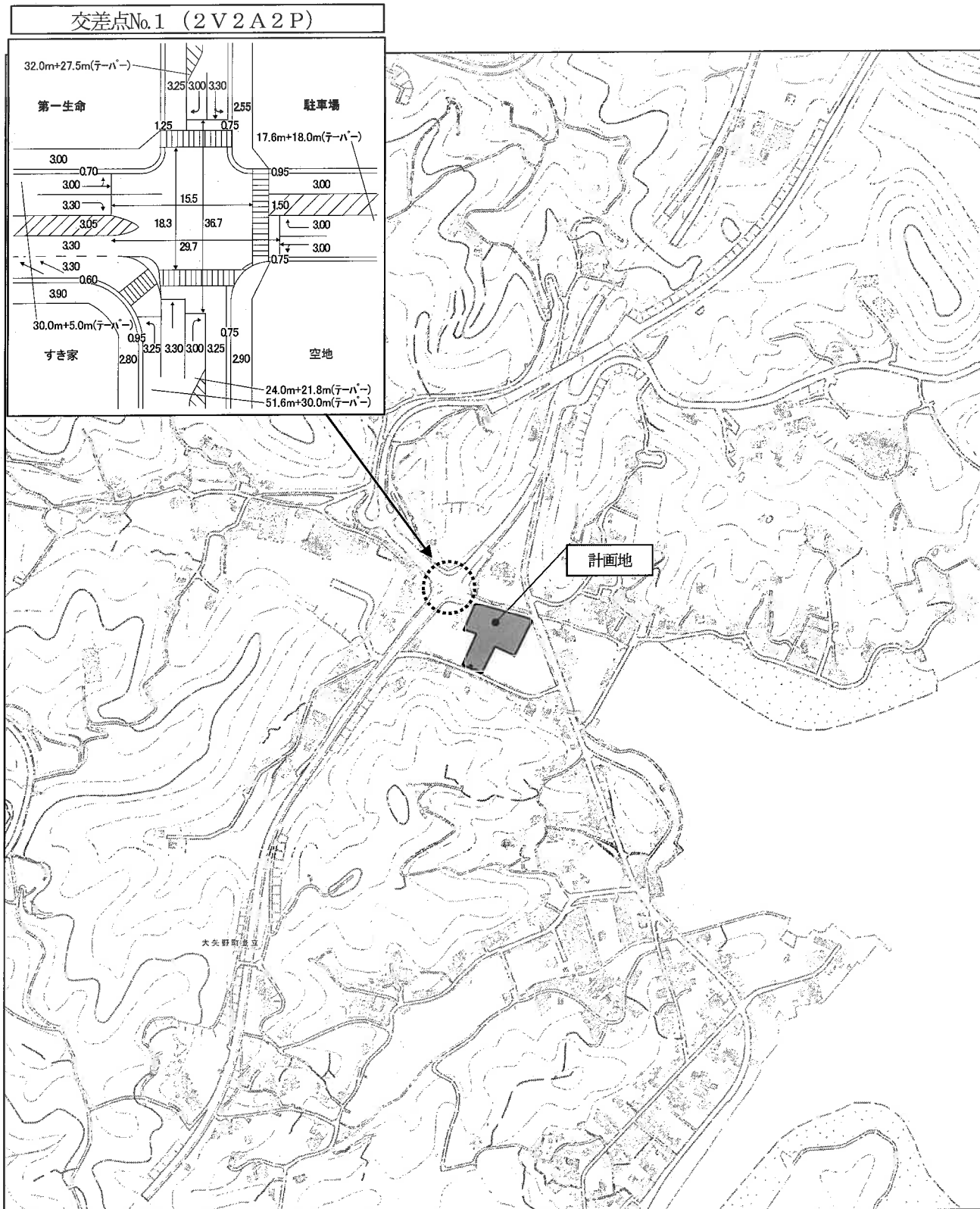
(iii) 調査方法

調査交差点の各流入路に対して、方向別及び車種別交通量を1時間単位に計測した。

方向別	→ 左折・直進・右折
車種別	→ 二輪車・普通車・大型車

同時に、調査交差点の流入路における各横断路に対して、横断歩行者及び自転車通行量を1時間単位に計測した。

また、1時間単位に信号制御パラメータ（サイクル長・スプリット値）を計測した。



図－1．調査交差点位置図

第2章 発生交通量の推計

1 指針に基づいた来店交通量の推計

計画店舗の一日当たりの来店自動車台数及びピーク時間帯における来店自動車台数は、「大規模小売店舗を設置するものが配慮すべき事項に関する指針（以下、指針として示す。）」に基づいて定めることとする。

		各項目算出のための計算式等
行政人口	23,262 人	上天草市人口、令和7年4月30日現在
地区の区分	その他地区	無指定地域
S：店舗面積	1.338 千㎡	—
A：店舗面積当たり日来店客数原単位	1,059.86 人／千㎡	人口 40 万人未満・ $1,100-30S$ ($S<5$)
B：ピーク率	14.4%	—
C：自動車分担率	80%	人口 10 万人未満
D：平均乗車人員	2.0 人／台	10,000 ㎡未満
E：平均駐車時間係数	0.6227	$10,000 \text{ ㎡未満} \cdot (30+5.5S) \div 60$
日来店台数	567 台／日	$A \times S \times C \div D$ (小数点四捨五入)
ピーク時来店台数	82 台／h	$A \times S \times B \times C \div D$ (小数点四捨五入)

2 来店交通量の方向比

来店交通量の方向比は、計画地を中心とする3.0km範囲内に居住する世帯数構成比により配分した。

但し、商圈南側には系列店舗（ドラッグコスモス大矢野店）が存在するため、商圈が重複する地域は案分して対象商圈の調整を行う。

	世帯数 (世帯)	方向比 (%)	日来店台数 (台／日)	ピーク来店台数 (台／h)
エリア1	106	6.31	36	5
エリア2	341	20.30	115	17
エリア3	941	56.01	317	46
エリア4	73	4.34	25	3
エリア5	219	13.04	74	11
合 計	1,680	100.00	567	82

次頁に、エリア別世帯数及び来店交通量を示す。

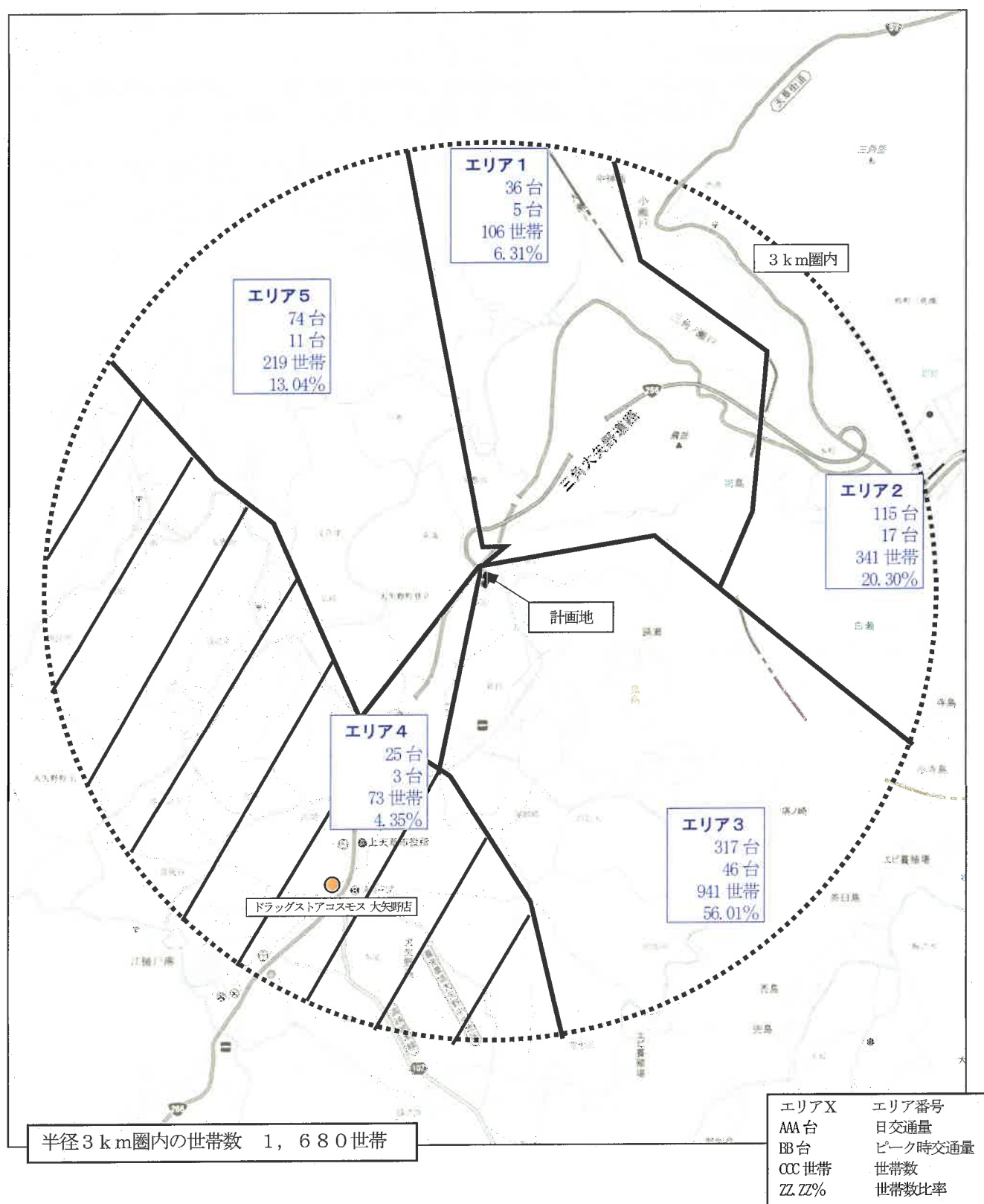


図-2. エリア別世帯数及び来店交通量

第3章 現状交通実態の解析

現状の主要交差点における交差点需要率について、日種別及び時間帯別の試算結果を以下に示す。

<交差点需要率>

交差点名	平 日			休 日		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小
交差点No.1	0.234	0.292 (10時台)	0.114 (19時台)	0.332	0.390 (15時台)	0.203 (19時台)

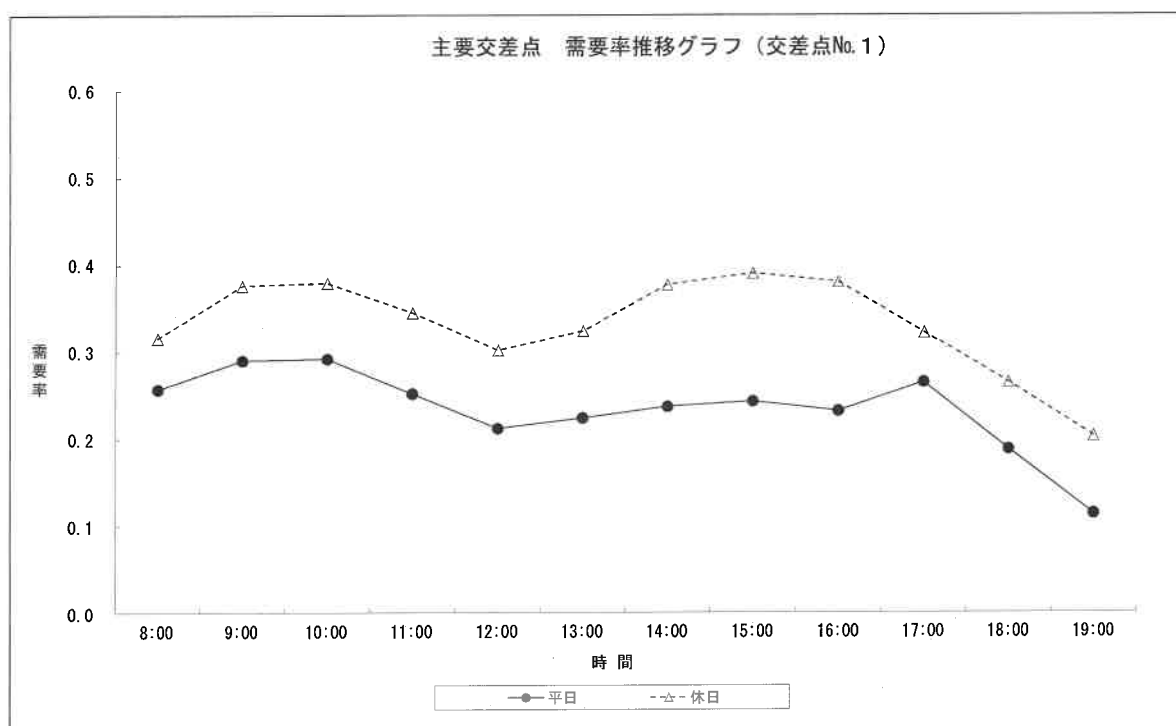
日種別で比較すると、平均値、最大値及び最小値はともに休日が平日を上回る傾向を示している。

また、調査時間帯において、最も交差点需要率が高い時間帯は平日では10時台、休日では15時台であり、最大交差点需要率は休日「0.390」である。

主要交差点の交差点需要率は、平日及び休日を通して「0.9未満」と交差点自体の処理能力は十分であり、現況においては大きな渋滞等の問題は発生していない。

下記に、主要交差点における交差点需要率の推移グラフを示す。

<交差点需要率>



ピーク時における主要交差点の交通流動及び制御状況を次頁の「現状のピーク時交通状況実態」に示す。

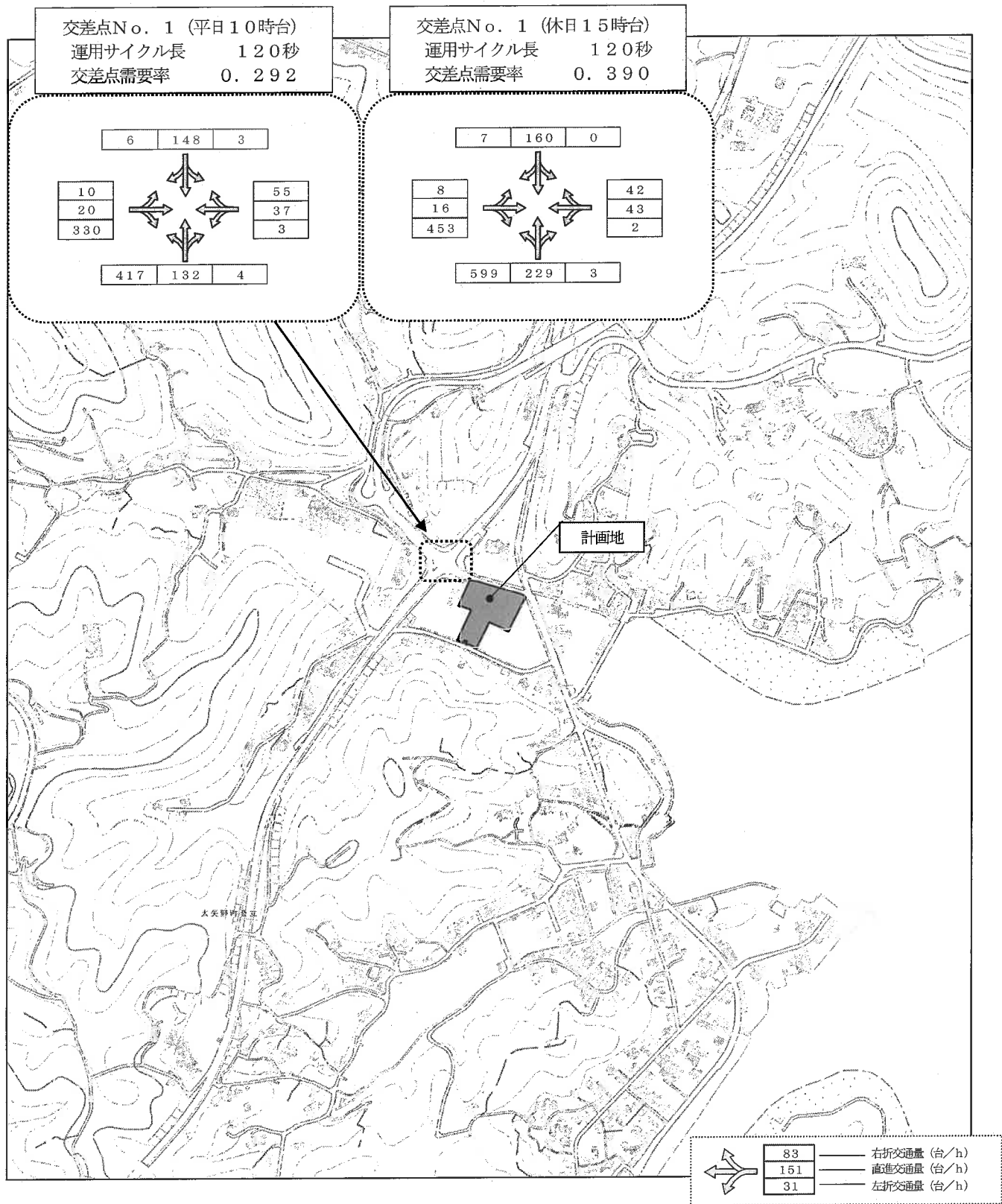


図-3. 現状のピーク時交通状況実態

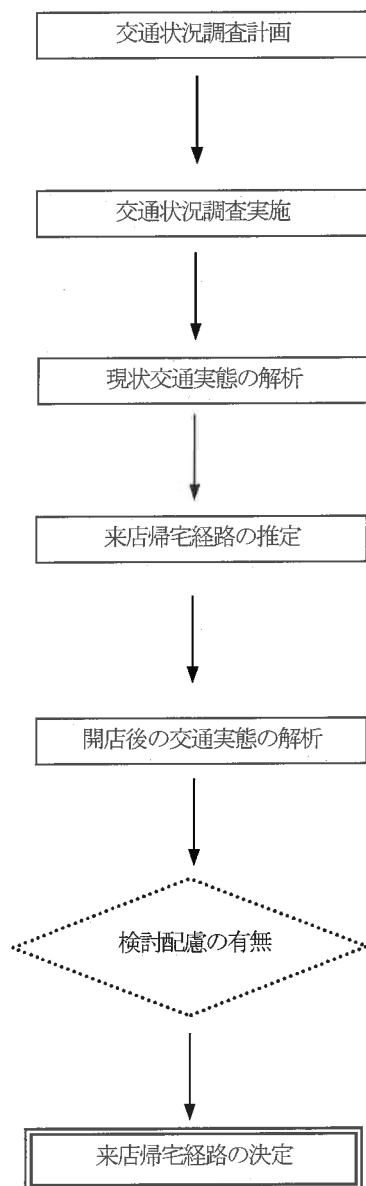
第4章 経路の設定

1 概要

各方面別来店帰宅客自動車経路の設定は、現状における交通容量の解析結果及び道路状況等から当該地域の特色を十分に考慮し、経路設定を行った。

経路の設定は、以下に示す作業フローに従って決定した。

<作業フロー>



<作業概略及び配慮事項>

計画地周辺の道路構造等の調査を実施し、主要路線を抽出するとともに、影響度が高いと考えられる主要交差点を抽出した。

抽出した主要交差点に対して、交差点形状・運用秒時・交通流動調査を実施し、現状の交通実態を把握するためのデータを収集した。

調査の結果、計画地周辺において、特に大きな問題は発生していない。現状における交差点需要率よりピーク時間帯は、平日では10時台、休日では15時台である。

(交差点需要率最大値 → 0.390)

計画店舗の駐車場への入出庫動線は、開店後の周辺交通状況を検証し、最適な経路を設定した。

主要交差点の交差点需要率は「0.9未満」であり、開店後の交通状況において大きな影響はない。

(交差点需要率最大値 → 0.408)

開店後における店舗周辺の交通状況は、渋滞等の大きな交通問題は発生しないと考えられる。

推定した来店帰宅経路とした。

2 考 察

来店帰宅経路は、調査範囲内における道路構造等の諸条件と来店交通量の方向比から設定した。

<条件>

2車線以上、車線幅員6m以上、両側または片側に歩道が整備されている路線を経路とすることを基本とする。

また、平日及び休日のピーク需要交通量は、計画店舗の形態から休日では指針に基づいて算出された82台/h、平日では下記の算出根拠より算出された54台/hとする。

【平日・休日のピーク需要交通量】

平日のピーク需要交通量	54台/h
休日のピーク需要交通量	82台/h

平日のピーク需要交通量の算出根拠を以下に示す。

【平日のピーク需要交通量の算出方法】

平日のピーク需要交通量は、「大規模開発地区関連 交通計画マニュアル」の商業施設（平日及び休日）の発生集中原単位より算出した。

地域区分：三大都市圏周辺部および地方都市

平日の発生集中原単位：10,600（人T.E/ha・日）

休日の発生集中原単位：16,100（人T.E/ha・日）

※T.Eは、トリップ・エンドの略で出発・到着（往復）人数を示す。

平日／休日 = 10,600 / 16,100 ≒ 0.658

平日のピーク需要交通量 = 82 × 0.658 ≒ 54

上記の内容を踏まえて、来店帰宅経路を設定した。

次頁に、来店需要経路及び帰宅需要経路を示す。

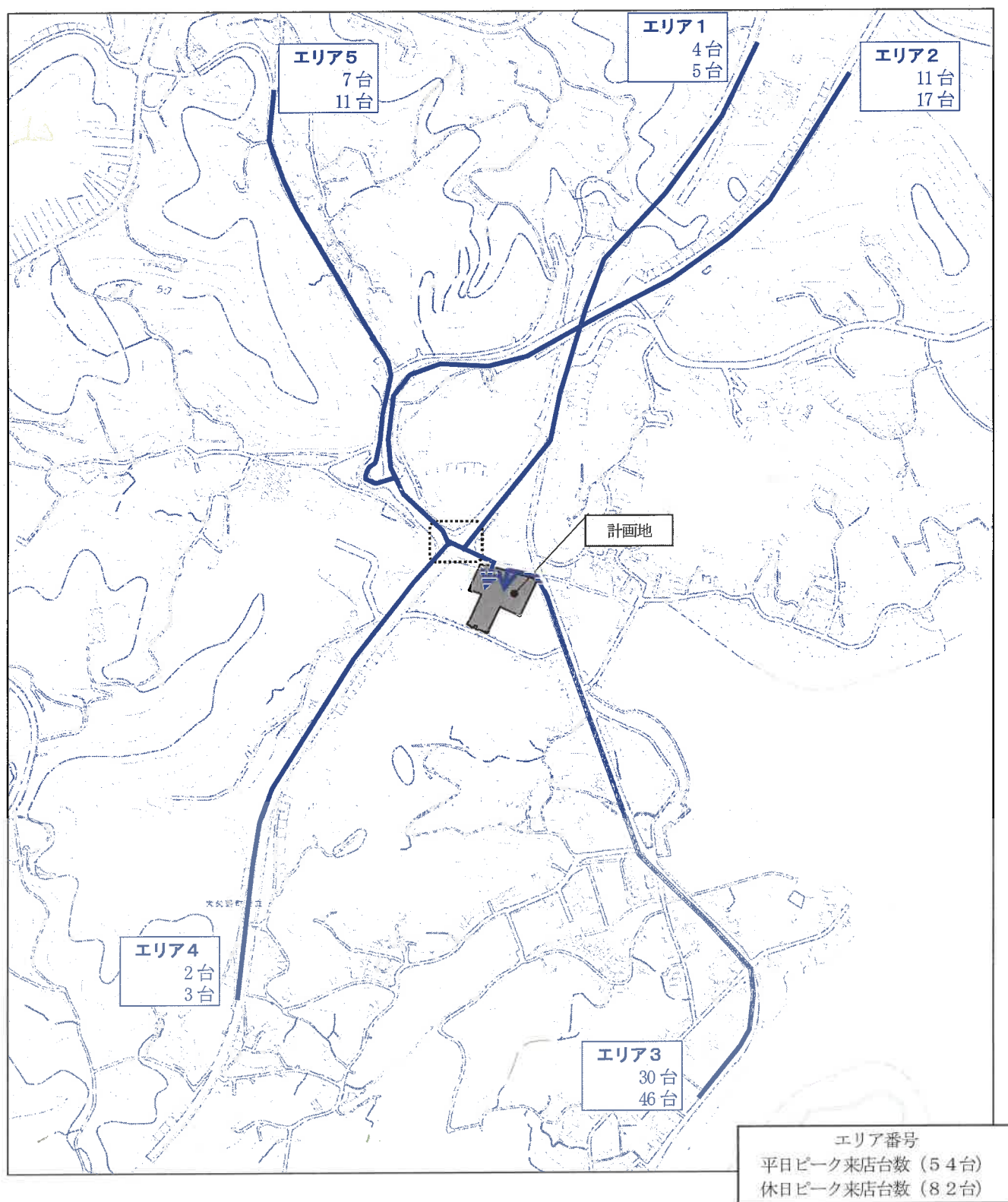
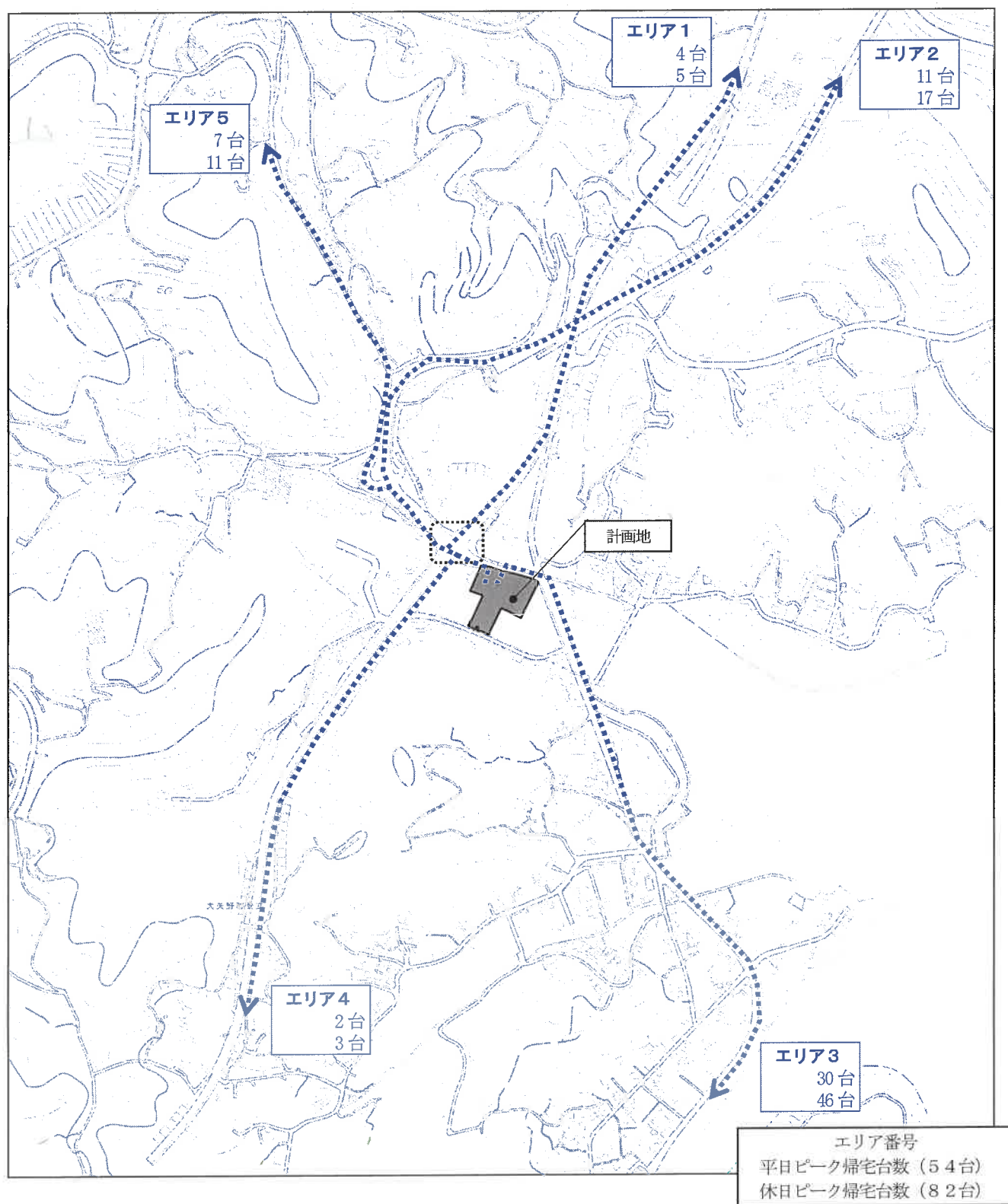


図-4. 来店需要経路



図－5．帰宅需要経路

第5章 開店後の交通実態の解析

1 概 要

開店後における交通実態は、当該計画店舗の来店帰宅需要交通が付加された需要交通流量で決定される。

計画地周辺における平日及び休日の交通実態状況のピーク時間帯にピーク増加需要交通流量を付加して交通シミュレーションを行い、開店後における交通実態状況の影響度を検証する。

【平日・休日のピーク需要交通量】

平日のピーク需要交通量	54 台/h
休日のピーク需要交通量	82 台/h

2 主要道路・主要交差点の検証

開店後に増加する来店帰宅需要交通流量が周辺の主要道路に与える影響を検証する。

各主要道路は、その路線上に位置する主要交差点の交差点需要率が影響度を表す指標となるため、開店後の交差点需要率を算出し、検証する。

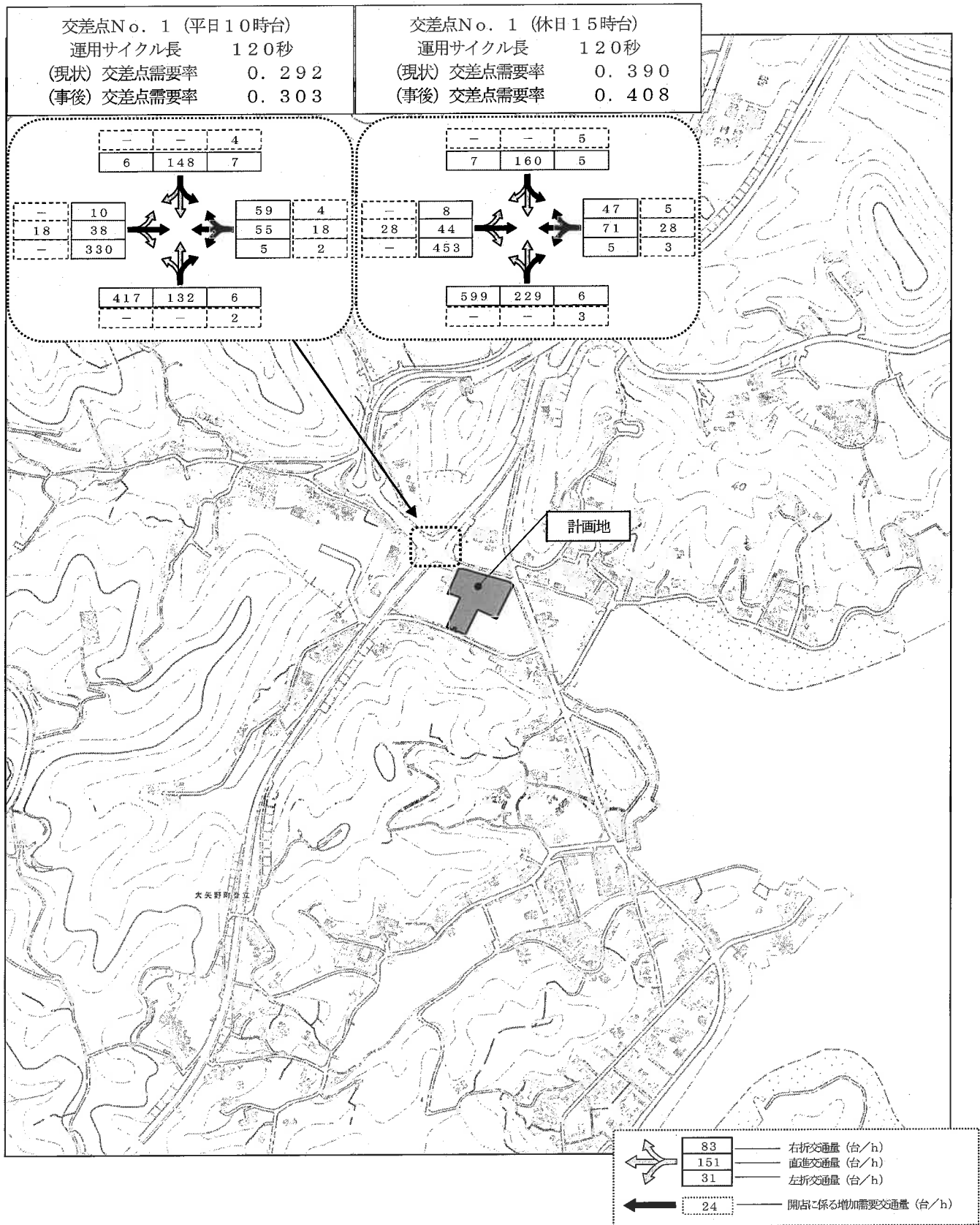
(交差点需要率)

交差点名	日種	現状の 交差点需要率	開店後の 交差点需要率	増加量
交差点No.1	平日	0.292	0.303	0.011
	休日	0.390	0.408	0.018

開店後における主要交差点の交差点需要率は、平日及び休日ともに「0.9未満」とピーク時の増加需要交通流量に対して、十分な処理能力を持っていることを示している。

よって、周辺地域に与える影響は比較的小さいものであると考えられる。

開店後のピーク時における主要交差点の交通流動及び制御状況を次頁の「開店後のピーク時交通状況実態」に示す。



図－6．開店後のピーク時交通状況実態

3 右折入出庫の検証

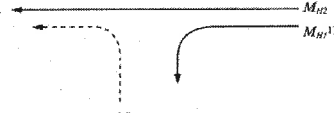
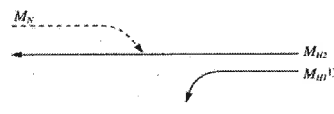
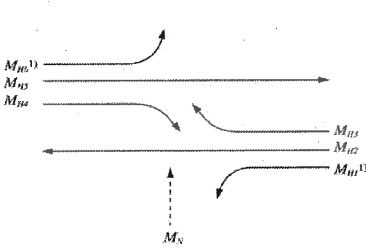
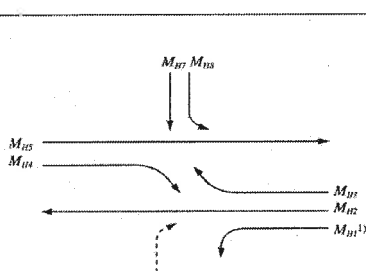
計画店舗の駐車場出入口において入出庫動線を含めた周辺交通流動の検証を行う。

検証方法は、「改訂 平面交差の計画と設計 基礎編（出典：社団法人 交通工学研究会）」に掲載されている「信号機のない交差点の交通容量の計算方法（西ドイツの計算法-OECD 報告書訳）」を用いて行う。

まず、「主道路交通の構成」に示された式より求めた主道路交通量（ M_H ）に示す条件に合わせ、乗用車に対する臨界間隔（ t_g ）を基に基本交通量（ $\max. M_N$ ）を求める（図「基本交通容量」参照）。

次に、この基本交通容量に従道路交通が妨げられない確率（ P 値）を乗じて主道路の滞留の影響補正を行い、交通容量（ $\max. M_N$ ）を求める。 P 値は、従道路交通の妨げとなる主道路からの右折及び対向の主道路の横断の実交通量（ M_N ）と交通容量（ $\max. M_N$ ）の商を基に次頁の「主道路の滞留に対する低減」から求める。

評価方法としては、上記で求めた交通容量（ $\max. M_N$ ）と実交通量（ M_N ）の差から「遅れの程度を示す指標」を用いて評価する。

主道路へ流入する左折に対する場合 $M_H = 0.5M_{H1}^{(1)} + M_{H2}$ 	式1
主道路から流入する右折の場合 $M_H = 0.5M_{H1}^{(1)} + M_{H2}$ 	式2
主道路の横断に対する場合 $M_H = 0.5M_{H1}^{(1)} + M_{H2} + M_{H3} + M_{H4} + M_{H5} + M_{H6}^{(1)}$ 	式3
主道路へ流入する右折の場合 $M_H = 0.5M_{H1}^{(1)} + M_{H2} + M_{H3} + M_{H4} + M_{H5} + M_{H7} + M_{H8}$ 	式4

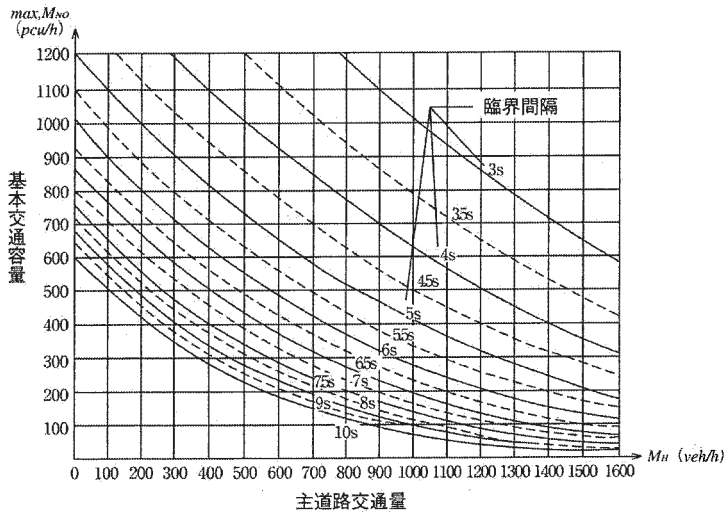
注) 1) 左折車線がある場合には M_{H1} , M_{H6} は省ける。

$\frac{l}{\max. M_N} = \frac{a}{\max. M_{Na}} + \frac{b}{\max. M_{Nb}} + \frac{c}{\max. M_{Nc}}$ ここで、 $\max. M_N$: 混用車線を利用するすべての交通流の交通容量 $\max. M_{Na}, \max. M_{Nb}, \max. M_{Nc}$: 各交通流の交通容量 a, b, c : 混用車線を利用する合計交通量に対する各交通流の交通量の割合	式5
---	----

乗用車に対する臨界間隔 t_g

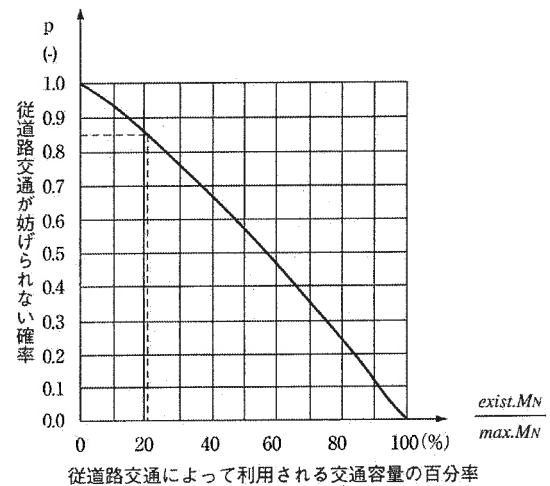
車両の挙動	速度制限		速度制限なし	
	50km/h		$V_k=90 \text{ km/h}$	
	主道路		主道路	
	2車線	4車線	2車線	4車線
主道路への左折				
一時停止	6.0	6.0	7.0	7.0
合流車線	(3.0)	3.0	(4.0)	4.0
ロータリーへの左折	4.5	4.5	4.5	4.5
主道路からの右折	5.0	5.5	5.5	6.0
主道路を横断				
一時停止	7.0	7.5	8.0	9.0
主道路へ右折				
一時停止	7.5	8.0	9.0	10.0

(出典：社団法人 交通工学研究会)



(出典：社団法人 交通工学研究会)

基本交通容量



(出典：社団法人 交通工学研究会)

主道路の滞留に対する低減

遅れの程度を示す指標

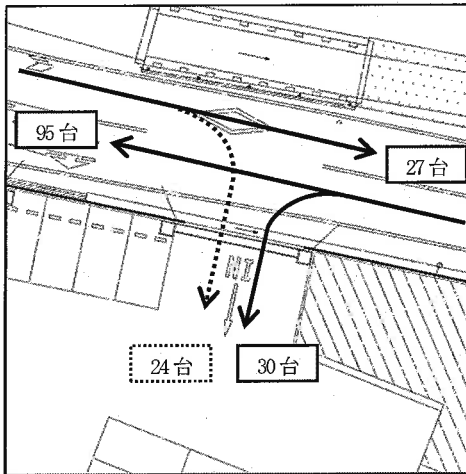
信号制御によらず、非優先交通が優先交通の合間をぬって、交差や合流することができる台数の最大値と実交通量との差（遅れの程度）をもって評価する。

	交通容量－実交通量	
	平均	範囲
滞 留	<0	～ 0
非常に大	50	0～ 75
大	100	76～125
平 均	150	126～175
小	200	176～250
非常に小	400	251～600
遅れなし	>600	601～

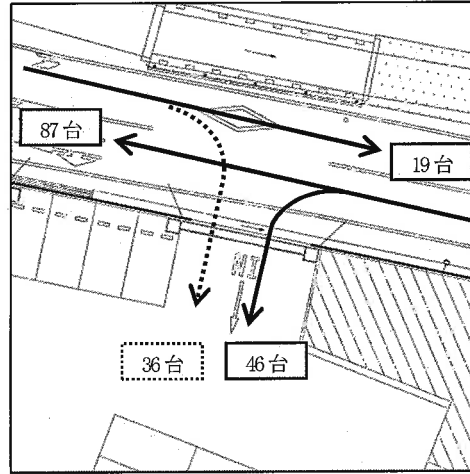
(出典：社団法人 交通工学研究会)

<入口No.1>

【平日ピーク時】



【休日ピーク時】



<凡例>



優先交通

非優先交通



優先交通台数

非優先交通台数

【平日】

幹線東進右折入庫流動				幹線東進直進流動		混用車線 交通容量	実交通量	差引
主道路交通	臨界間隔	交通容量	実交通量	交通容量	実交通量			
110.0	5.0	1,089	24	1,800.0	57	1,508	81	1,427

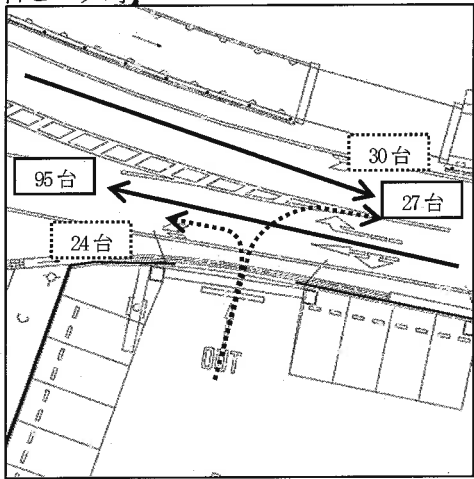
【休日】

幹線東進右折入庫流動				幹線東進直進流動		混用車線 交通容量	実交通量	差引
主道路交通	臨界間隔	交通容量	実交通量	交通容量	実交通量			
110.0	5.0	1,089	36	1,800.0	65	1,460	101	1,359

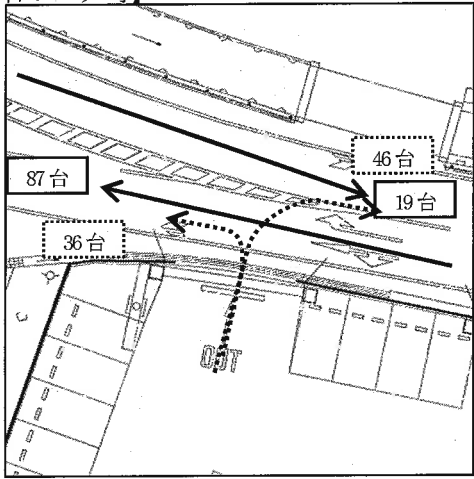
右折入庫流動を含む幹線東進流動の遅れの程度（差引）は平日及び休日ともに「600以上」であることから、「滞留はなく、遅れなし」となる。

<出口No.2>

【平日ピーク時】



【休日ピーク時】



<凡例>



優先交通

非優先交通



優先交通台数

非優先交通台数

【平日】

出口No.1 左折出庫流動				出口No.1 右折出庫流動				混用車線 交通容量	実交通量	差引
主道路交通	臨界間隔	交通容量	実交通量	主道路交通	臨界間隔	交通容量	実交通量			
95.0	6.0	906	24	146.0	7.5	667	30	756	54	702

【休日】

出口No.1 左折出庫流動				出口No.1 右折出庫流動				混用車線 交通容量	実交通量	差引
主道路交通	臨界間隔	交通容量	実交通量	主道路交通	臨界間隔	交通容量	実交通量			
87.0	6.0	914	36	142.0	7.5	671	46	760	82	678

出庫流動の遅れの程度（差引）は平日及び休日ともに「600 以上」であることから、「滞留はなく、遅れなし」となり、出入口における入出庫流動が一般交通流に与える影響は比較的小さいものと考えられる。

第6章 現況及び開店後の交通容量解析結果

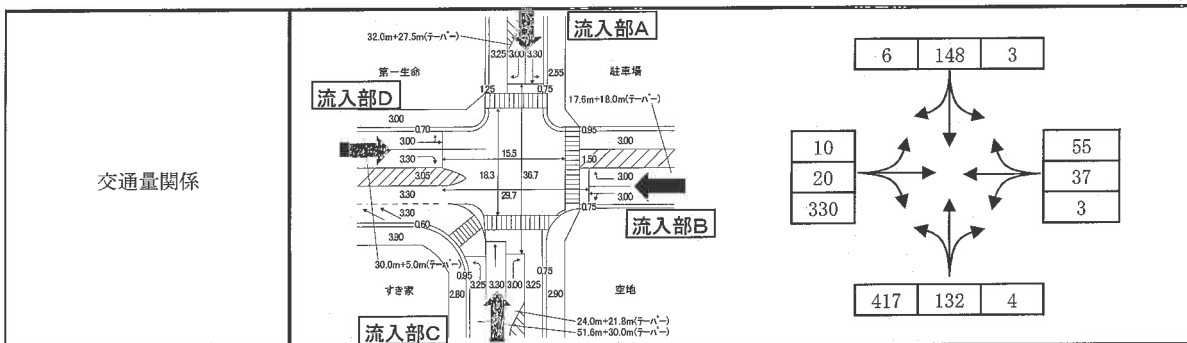
- (1) 現状の交通容量解析結果（平日・休日）
- (2) 開店後の交通容量解析結果（平日・休日）

(1) 現状の交通容量解析結果 (平日)

交差点No. 1 (10時台)

流入部	A			B			C			D		
車線	左直	右		左直	右		左	直	右	左直	右	
車線数	1	1		1	1		1	1	1	1	1	
飽和交通流率の基本値	2000	1800		2000	1800		1800	2000	1800	2000	1800	
車線幅員による補正率	1.00	1.00		1.00	1.00		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
車線幅員 (m)	3.30	3.00		3.00	3.00		3.25	3.30	3.00	3.30	3.00	
縦断勾配による補正率	0.990	0.990		0.900	0.900		1.000	1.000	1.000	0.990	0.990	
縦断勾配 (%)	-2.4	-2.4		3.0	3.0		-0.2	-0.2	-0.2	-2.2	-2.2	
大型車混入率による補正率	0.969	0.811		0.950	0.940		0.937	0.926	1.000	0.935	0.963	
大型車混入率 (%)	4.6	33.3		7.5	9.1		9.6	11.4	0.0	10.0	5.5	
左折車混入率による補正率	0.995			0.982			—			0.925		
左折車混入率 (%)	2.0			7.5						33.3		
歩行者による低減率	0.15			0.15			0.15			0.15		
有効青時間	45			31			71			31		
歩行者有効青時間	37			24			37			24		
横断歩行者による補正值	—			—			0.922			—		
右折車混入率による補正率		—			—				—		—	
右折車混入率 (%)		0.875			0.981				0.859		0.965	
右折車の通過確率		45			31				45		31	
有効青時間 (秒)		2			2				2		2	
現示変わり目の捌け台数												
飽和交通流率	1909	1445		1679	1523		1555	1852	1800	1712	1716	
交通量	151	6		40	55		417	132	4	30	330	
正規化交通量	0.079	0.000		0.024	0.000		0.268	0.071	0.000	0.018	0.157	
第1現示				0.024						0.018		
第2現示					0.000						0.157	
第3現示	0.079						0.268	0.071				
第4現示		0.000							0.000			
第5現示												
青時間比	37.5	5.0		25.8	16.7		59.2	37.5	5.0	25.8	16.7	
交通容量	716	551		433	689		921	695	649	442	747	
V/Cp	0.211	0.011		0.092	0.080		0.453	0.190	0.006	0.068	0.442	
滞留長 (m)	56.9	3.5		18.9	26.4		137.1	55.9	1.8	14.5	104.4	

現示別 需要率	交差点 需要率
0.024	0.292
0.157	
0.111	
0.000	



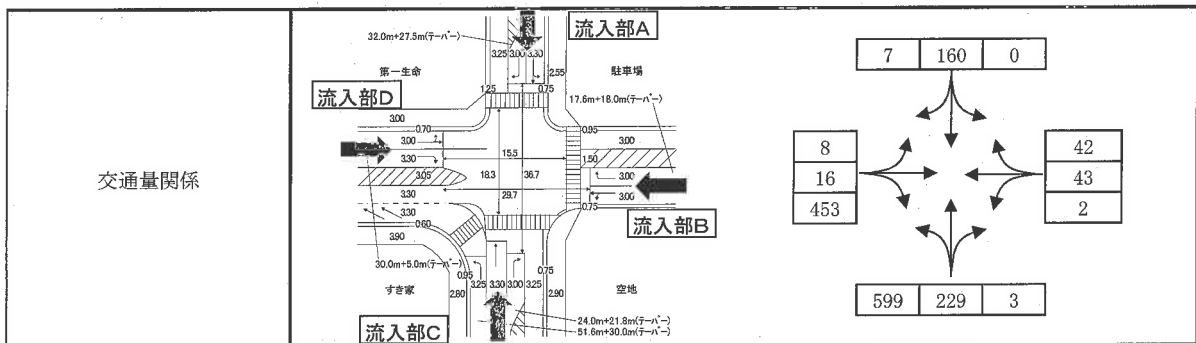
サイクル長	1φ	2φ	3φ	4φ	5φ
120秒					
	G 31秒 Y 3秒 AR	G 20秒 Y 3秒 AR 3秒	G 45秒 Y 3秒 AR	G 6秒 Y 3秒 AR 3秒	G Y AR

(1) 現状の交通容量解析結果 (休日)

交差点No. 1 (15時台)

流入部	A			B			C			D		
車線	左直	右		左直	右		左	直	右	左直	右	
車線数	1	1		1	1		1	1	1	1	1	
飽和交通流率の基本値	2000	1800		2000	1800		1800	2000	1800	2000	1800	
車線幅員による補正率	1.00	1.00		1.00	1.00		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
車線幅員 (m)	3.30	3.00		3.00	3.00		3.25	3.30	3.00	3.30	3.00	
縦断勾配による補正率	0.990	0.990		0.900	0.900		1.000	1.000	1.000	0.990	0.990	
縦断勾配 (%)	-2.4	-2.4		3.0	3.0		-0.2	-0.2	-0.2	-2.2	-2.2	
大型車混入率による補正率	0.983	1.000		1.000	0.967		0.990	0.970	1.000	0.971	0.992	
大型車混入率 (%)	2.5	0.0		0.0	4.8		1.5	4.4	0.0	4.2	1.1	
左折車混入率による補正率	1.000			0.989			—			0.925		
左折車混入率 (%)	0.0			4.4						33.3		
歩行者による低減率	0.15			0.15			0.15			0.15		
有効青時間	45			31			71			31		
歩行者有効青時間	37			24			37			24		
横断歩行者による補正值	—			—			0.922			—		
右折車混入率による補正率		—			—				—		—	
右折車混入率 (%)												
右折車の通過確率		0.787			0.985				0.848		0.959	
有効青時間 (秒)		45			31				45		31	
現示変わり目の捌け台数		2			2				2		2	
飽和交通流率	1946	1782		1780	1567		1643	1940	1800	1778	1768	
交通量	160	7		45	42		599	229	3	24	453	
正規化交通量	0.082	0.000		0.025	0.000		0.365	0.118	0.000	0.013	0.222	
第1現示				0.025						0.013		
第2現示					0.000						0.222	
第3現示	0.082						0.365					
第4現示		0.000							0.000			
第5現示												
青時間比	37.5	5.0		25.8	16.7		59.2	37.5	5.0	25.8	16.7	
交通容量	730	562		459	711		973	728	637	459	762	
V/Cp	0.219	0.012		0.098	0.059		0.616	0.315	0.005	0.052	0.594	
滞留長 (m)	59.0	3.1		19.8	19.4		182.4	76.5	1.3	11.0	137.4	

現示別 需要率	交差点 需要率
0.025	0.390
0.222	
0.143	
0.000	



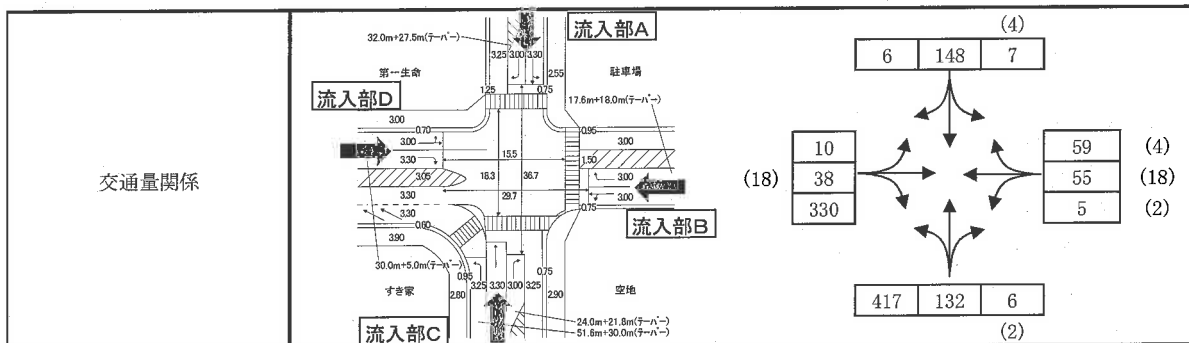
サイクル長	1φ	2φ	3φ	4φ	5φ
120秒					
	G 31秒 Y 3秒 AR	G 20秒 Y 3秒 AR 3秒	G 45秒 Y 3秒 AR	G 6秒 Y 3秒 AR 3秒	G Y AR

(2) 開店後の交通容量解析結果 (平日)

交差点No. 1 (10時台)

流入部	A			B			C			D		
車線	左直	右		左直	右		左	直	右	左直	右	
車線数	1	1		1	1		1	1	1	1	1	
飽和交通流率の基本値	2000	1800		2000	1800		1800	2000	1800	2000	1800	
車線幅員による補正率	1.00	1.00		1.00	1.00		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
車線幅員 (m)	3.30	3.00		3.00	3.00		3.25	3.30	3.00	3.30	3.00	
縦断勾配による補正率	0.990	0.990		0.900	0.900		1.000	1.000	1.000	0.990	0.990	
縦断勾配 (%)	-2.4	-2.4		3.0	3.0		-0.2	-0.2	-0.2	-2.2	-2.2	
大型車混入率による補正率	0.969	0.811		0.966	0.944		0.937	0.926	1.000	0.958	0.963	
大型車混入率 (%)	4.5	33.3		5.0	8.5		9.6	11.4	0.0	6.3	5.5	
左折車混入率による補正率	0.989			0.980			—			0.952		
左折車混入率 (%)	4.5			8.3						20.8		
歩行者による低減率	0.15			0.15			0.15			0.15		
有効青時間	45			31			71			31		
歩行者有効青時間	37			24			37			24		
横断歩行者による補正值	—			—			0.922			—		
右折車混入率による補正率		—			—				—		—	
右折車混入率 (%)												
右折車の通過確率		0.875			0.964				0.859		0.948	
有効青時間 (秒)		45			31				45		31	
現示変わり目の捌け台数		2			2				2		2	
飽和交通流率	1898	1445		1704	1529		1555	1852	1800	1806	1716	
交通量	155	6		60	59		417	132	6	48	330	
正規化交通量	0.082	0.000		0.035	0.000		0.268	0.071	0.000	0.027	0.157	
第1現示				0.035						0.027		
第2現示					0.000		0.268				0.157	
第3現示	0.082						0.268	0.071				
第4現示		0.000							0.000			
第5現示												
青時間比	37.5	5.0		25.8	16.7		59.2	37.5	5.0	25.8	16.7	
交通容量	712	551		440	675		921	695	648	466	727	
V/Cp	0.218	0.011		0.136	0.087		0.453	0.190	0.009	0.103	0.454	
滞留長 (m)	58.3	3.5		27.7	28.2		137.1	55.9	2.6	22.4	104.4	

現示別 需要率	交差点 需要率
0.035	0.303
0.157	
0.111	
0.000	

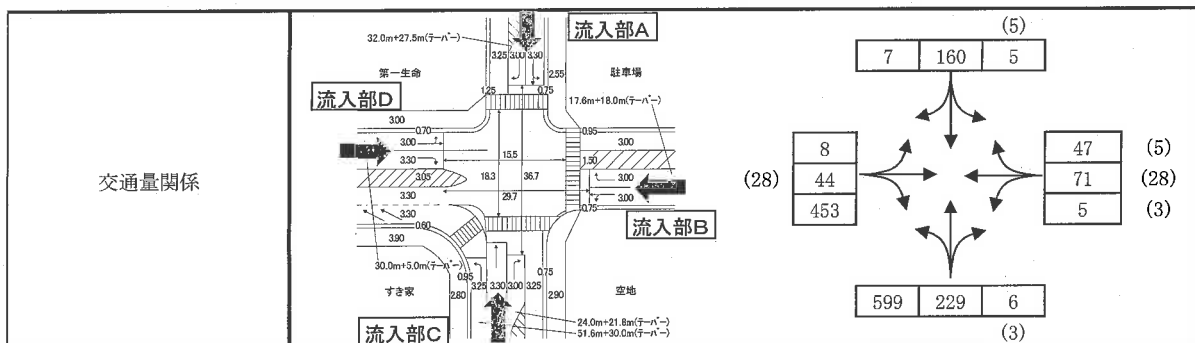


サイクル長	1φ	2φ	3φ	4φ	5φ
120秒					
	G 31秒 Y 3秒 AR	G 20秒 Y 3秒 AR 3秒	G 45秒 Y 3秒 AR	G 6秒 Y 3秒 AR 3秒	G Y AR

(2) 開店後の交通容量解析結果 (休日)

交差点No. 1 (15時台)

表 2-1-1 (1)															
流入部	A			B			C			D					
車線	左直	右		左直	右		左	直	右	左直	右				
車線数	1	1		1	1		1	1	1	1	1				
飽和交通流率の基本値	2000	1800		2000	1800		1800	2000	1800	2000	1800				
車線幅員による補正率	1.00	1.00		1.00	1.00		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00				
車線幅員 (m)	3.30	3.00		3.00	3.00		3.25	3.30	3.00	3.30	3.00				
縦断勾配による補正率	0.990	0.990		0.900	0.900		1.000	1.000	1.000	0.990	0.990				
縦断勾配 (%)	-2.4	-2.4		3.0	3.0		-0.2	-0.2	-0.2	-2.2	-2.2				
大型車混入率による補正率	0.983	1.000		1.000	0.971		0.990	0.970	1.000	0.987	0.992				
大型車混入率 (%)	2.4	0.0		0.0	4.3		1.5	4.4	0.0	1.9	1.1				
左折車混入率による補正率	0.992			0.984			—			0.964					
左折車混入率 (%)	3.0			6.6						15.4					
歩行者による低減率	0.15			0.15			0.15			0.15					
有効青時間	45			31			71			31					
歩行者有効青時間	37			24			37			24					
横断歩行者による補正值	—			—			0.922			—					
右折車混入率による補正率		—			—				—		—				
右折車混入率 (%)		0.787			0.958				0.848		0.933				
右折車の通過確率		45			31				45		31				
有効青時間 (秒)		2			2				2		2				
現示変わり目の捌け台数															
飽和交通流率	1931	1782		1771	1573		1643	1940	1800	1884	1768				
交通量	165	7		76	47		599	229	6	52	453		現示別 需要率	交差点 需要率	
正規化交通量	0.085	0.000		0.043	0.000		0.365	0.118	0.000	0.028	0.222				
第 1 現 示				0.043						0.028			0.043	0.408	
第 2 現 示					0.000		0.365				0.222		0.222		
第 3 現 示	0.085						0.365	0.118					0.143		
第 4 現 示		0.000							0.000				0.000		
第 5 現 示															
青時間比	37.5	5.0		25.8	16.7		59.2	37.5	5.0	25.8	16.7				
交通容量	724	562		457	687		973	728	636	486	730				
V/Cp	0.228	0.012		0.166	0.068		0.616	0.315	0.009	0.107	0.621				
滞留長 (m)	60.8	3.1		31.9	21.6		182.4	76.5	2.6	23.3	137.4				



サイクル長	1 φ	2 φ	3 φ	4 φ	5 φ
120秒					
	G 31秒 Y 3秒 AR	G 20秒 Y 3秒 AR 3秒	G 45秒 Y 3秒 AR	G 6秒 Y 3秒 AR 3秒	G Y AR

第7章 現況交通調査結果

- (1) 交通流量調査結果
- (2) 交差点現示および運用秒時調査結果
- (3) 交差点需要率結果

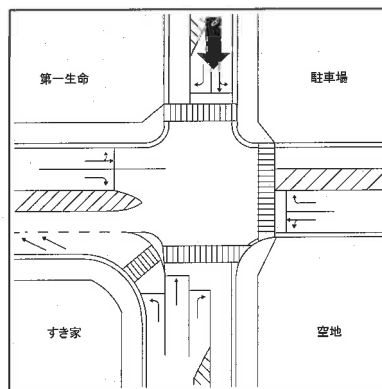
(1) 交通流量調査結果

交差点交通流動調査集計表

交差点No. 1

調査日 : 令和7年6月23日(月)

方向 : 幹線南進方面



	左折			直進			右折			自動車	全車種	自転車	歩行者
	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車	計	合計		
8:00 ~ 9:00	0	2	0	2	124	2	0	8	4	140	142	0	1
9:00 ~ 10:00	0	0	0	0	127	7	0	5	0	139	139	0	1
10:00 ~ 11:00	1	2	0	0	141	7	0	4	2	156	157	3	0
11:00 ~ 12:00	0	1	0	0	136	3	0	8	1	149	149	0	1
12:00 ~ 13:00	0	0	0	1	143	7	0	15	1	166	167	0	0
13:00 ~ 14:00	0	0	0	0	147	4	0	6	1	158	158	0	2
14:00 ~ 15:00	0	2	0	0	130	7	0	7	0	146	146	0	2
15:00 ~ 16:00	0	0	0	1	127	3	0	6	0	136	137	0	0
16:00 ~ 17:00	0	1	0	0	100	2	0	7	0	110	110	0	1
17:00 ~ 18:00	0	0	0	1	160	2	0	8	0	170	171	0	2
18:00 ~ 19:00	0	1	0	0	87	2	0	4	0	94	94	0	2
19:00 ~ 20:00	0	0	0	0	59	1	0	8	0	68	68	0	1
合 計	1	9	0	5	1481	47	0	86	9	1632	1638	3	13

【流動特性】

	流動分岐率(%)				大型車混入率(%)				二輪車混入率(%)			
	左折	直進	右折	計	左折	直進	右折	平均	左折	直進	右折	平均
8:00 ~ 9:00	1.4	90.1	8.5	100.0	0.0	1.6	33.3	4.2	0.0	1.6	0.0	1.4
9:00 ~ 10:00	0.0	96.4	3.6	100.0	0.0	5.2	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10:00 ~ 11:00	1.9	94.3	3.8	100.0	0.0	4.7	33.3	5.7	33.3	0.0	0.0	0.6
11:00 ~ 12:00	0.7	93.3	6.0	100.0	0.0	2.2	11.1	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0
12:00 ~ 13:00	0.0	90.4	9.6	100.0	0.0	4.6	6.3	4.8	0.0	0.7	0.0	0.6
13:00 ~ 14:00	0.0	95.6	4.4	100.0	0.0	2.6	14.3	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
14:00 ~ 15:00	1.4	93.8	4.8	100.0	0.0	5.1	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
15:00 ~ 16:00	0.0	95.6	4.4	100.0	0.0	2.3	0.0	2.2	0.0	0.8	0.0	0.7
16:00 ~ 17:00	0.9	92.7	6.4	100.0	0.0	2.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
17:00 ~ 18:00	0.0	95.3	4.7	100.0	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	0.6	0.0	0.6
18:00 ~ 19:00	1.1	94.7	4.3	100.0	0.0	2.2	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
19:00 ~ 20:00	0.0	88.2	11.8	100.0	0.0	1.7	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
平 均	0.6	93.6	5.8	100.0	0.0	3.1	9.5	3.4	10.0	0.3	0.0	0.4

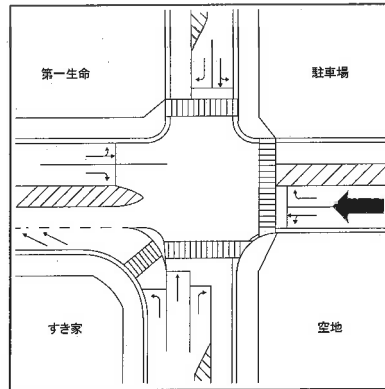
(1) 交通流量調査結果

交差点交通流動調査集計表

交差点No. 1

調査日 : 令和7年6月23日(月)

方向 : 交差西進方面



	左折			直進			右折			自動車計	全車種合計	自転車	歩行者
	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車				
8:00 ~ 9:00	0	5	1	0	46	0	0	49	4	105	105	0	0
9:00 ~ 10:00	0	5	0	0	53	1	0	69	2	130	130	0	0
10:00 ~ 11:00	1	1	1	0	35	2	1	49	5	93	95	0	0
11:00 ~ 12:00	0	4	0	0	32	0	0	53	3	92	92	0	1
12:00 ~ 13:00	0	2	0	0	28	0	1	34	2	66	67	0	3
13:00 ~ 14:00	0	9	0	0	22	0	0	27	2	60	60	0	0
14:00 ~ 15:00	0	4	0	0	39	1	0	52	1	97	97	0	0
15:00 ~ 16:00	0	2	0	0	32	0	0	53	2	89	89	0	0
16:00 ~ 17:00	0	1	0	0	37	1	0	45	3	87	87	0	0
17:00 ~ 18:00	0	1	0	0	41	1	0	46	2	91	91	0	1
18:00 ~ 19:00	0	2	0	0	15	0	0	27	3	47	47	0	2
19:00 ~ 20:00	0	0	0	0	16	1	0	12	0	29	29	0	4
合計	1	36	2	0	396	7	2	516	29	986	989	0	11

【流動特性】

	流動分岐率(%)				大型車混入率(%)				二輪車混入率(%)			
	左折	直進	右折	計	左折	直進	右折	平均	左折	直進	右折	平均
8:00 ~ 9:00	5.7	43.8	50.5	100.0	16.7	0.0	7.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
9:00 ~ 10:00	3.8	41.5	54.6	100.0	0.0	1.9	2.8	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
10:00 ~ 11:00	3.2	38.9	57.9	100.0	33.3	5.4	9.1	8.4	33.3	0.0	1.8	2.1
11:00 ~ 12:00	4.3	34.8	60.9	100.0	0.0	0.0	5.4	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
12:00 ~ 13:00	3.0	41.8	55.2	100.0	0.0	0.0	5.4	3.0	0.0	0.0	2.7	1.5
13:00 ~ 14:00	15.0	36.7	48.3	100.0	0.0	0.0	6.9	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
14:00 ~ 15:00	4.1	41.2	54.6	100.0	0.0	2.5	1.9	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
15:00 ~ 16:00	2.2	36.0	61.8	100.0	0.0	0.0	3.6	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
16:00 ~ 17:00	1.1	43.7	55.2	100.0	0.0	2.6	6.3	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0
17:00 ~ 18:00	1.1	46.2	52.7	100.0	0.0	2.4	4.2	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
18:00 ~ 19:00	4.3	31.9	63.8	100.0	0.0	0.0	10.0	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0
19:00 ~ 20:00	0.0	58.6	41.4	100.0	0.0	5.9	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
平均	3.9	40.7	55.3	100.0	5.1	1.7	5.3	3.8	2.6	0.0	0.4	0.3

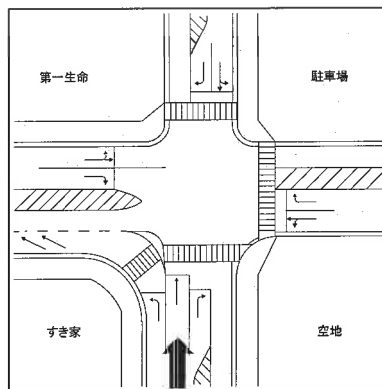
(1) 交通流量調査結果

交差点交通流動調査集計表

交差点No. 1

調査日 : 令和7年6月23日(月)

方向 : 幹線北進方面



	左折			直進			右折			自動車	全車種	自転車	歩行者
	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車	計	合計		
8:00 ~ 9:00	0	272	28	1	136	9	0	1	1	447	448	0	0
9:00 ~ 10:00	0	359	39	1	116	7	0	7	0	528	529	0	0
10:00 ~ 11:00	2	375	40	0	117	15	0	4	0	551	553	0	0
11:00 ~ 12:00	1	293	37	2	148	5	0	3	0	486	489	0	1
12:00 ~ 13:00	0	257	28	0	123	10	0	3	0	421	421	0	3
13:00 ~ 14:00	1	239	25	0	127	7	0	4	1	403	404	0	0
14:00 ~ 15:00	1	289	20	0	114	8	0	5	0	436	437	0	0
15:00 ~ 16:00	0	304	19	0	92	3	0	3	0	421	421	0	0
16:00 ~ 17:00	1	302	13	1	99	4	0	3	0	421	423	1	0
17:00 ~ 18:00	0	299	14	0	86	3	0	2	0	404	404	0	1
18:00 ~ 19:00	0	203	6	0	56	3	0	1	0	269	269	1	0
19:00 ~ 20:00	0	130	7	0	47	2	0	0	0	186	186	0	0
合計	6	3322	276	5	1261	76	0	36	2	4973	4984	2	5

【流動特性】

	流動分岐率(%)				大型車混入率(%)				二輪車混入率(%)			
	左折	直進	右折	計	左折	直進	右折	平均	左折	直進	右折	平均
8:00 ~ 9:00	67.0	32.6	0.4	100.0	9.3	6.2	50.0	8.5	0.0	0.7	0.0	0.2
9:00 ~ 10:00	75.2	23.4	1.3	100.0	9.8	5.6	0.0	8.7	0.0	0.8	0.0	0.2
10:00 ~ 11:00	75.4	23.9	0.7	100.0	9.6	11.4	0.0	9.9	0.5	0.0	0.0	0.4
11:00 ~ 12:00	67.7	31.7	0.6	100.0	11.2	3.2	0.0	8.6	0.3	1.3	0.0	0.6
12:00 ~ 13:00	67.7	31.6	0.7	100.0	9.8	7.5	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13:00 ~ 14:00	65.6	33.2	1.2	100.0	9.4	5.2	20.0	8.2	0.4	0.0	0.0	0.2
14:00 ~ 15:00	70.9	27.9	1.1	100.0	6.5	6.6	0.0	6.4	0.3	0.0	0.0	0.2
15:00 ~ 16:00	76.7	22.6	0.7	100.0	5.9	3.2	0.0	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0
16:00 ~ 17:00	74.7	24.6	0.7	100.0	4.1	3.8	0.0	4.0	0.3	1.0	0.0	0.5
17:00 ~ 18:00	77.5	22.0	0.5	100.0	4.5	3.4	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
18:00 ~ 19:00	77.7	21.9	0.4	100.0	2.9	5.1	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
19:00 ~ 20:00	73.7	26.3	0.0	100.0	5.1	4.1	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
平均	72.3	26.9	0.8	100.0	7.7	5.7	5.3	7.1	0.2	0.4	0.0	0.2

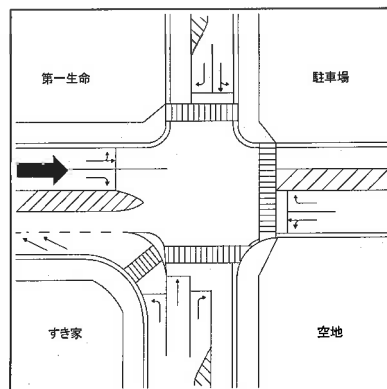
(1) 交通流量調査結果

交差点交通流動調査集計表

交差点No. 1

調査日：令和7年6月23日(月)

方向：交差東進方面



	左折			直進			右折			自動車計	全車種合計	自転車	歩行者
	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車				
8:00 ～ 9:00	0	7	1	0	22	0	0	288	26	344	344	0	1
9:00 ～ 10:00	0	4	0	0	29	0	0	272	22	327	327	0	0
10:00 ～ 11:00	0	7	3	0	20	0	1	311	18	359	360	0	0
11:00 ～ 12:00	0	10	0	0	19	0	1	293	24	346	347	0	0
12:00 ～ 13:00	0	10	1	0	21	0	0	244	14	290	290	0	0
13:00 ～ 14:00	0	8	1	1	32	1	0	251	17	310	311	0	0
14:00 ～ 15:00	0	2	0	0	18	1	0	277	20	318	318	0	0
15:00 ～ 16:00	0	9	0	0	19	1	0	305	22	356	356	0	0
16:00 ～ 17:00	0	6	0	0	32	0	0	319	13	370	370	0	0
17:00 ～ 18:00	0	6	0	0	45	0	0	323	9	383	383	0	0
18:00 ～ 19:00	0	11	0	0	37	1	0	263	2	314	314	0	0
19:00 ～ 20:00	0	6	0	0	20	0	0	183	0	209	209	0	0
合 計	0	86	6	1	314	4	2	3329	187	3926	3929	0	1

【流動特性】

	流動分岐率(%)				大型車混入率(%)				二輪車混入率(%)			
	左折	直進	右折	計	左折	直進	右折	平均	左折	直進	右折	平均
8:00 ～ 9:00	2.3	6.4	91.3	100.0	12.5	0.0	8.3	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0
9:00 ～ 10:00	1.2	8.9	89.9	100.0	0.0	0.0	7.5	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
10:00 ～ 11:00	2.8	5.6	91.7	100.0	30.0	0.0	5.5	5.8	0.0	0.0	0.3	0.3
11:00 ～ 12:00	2.9	5.5	91.6	100.0	0.0	0.0	7.5	6.9	0.0	0.0	0.3	0.3
12:00 ～ 13:00	3.8	7.2	89.0	100.0	9.1	0.0	5.4	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0
13:00 ～ 14:00	2.9	10.9	86.2	100.0	11.1	2.9	6.3	6.1	0.0	2.9	0.0	0.3
14:00 ～ 15:00	0.6	6.0	93.4	100.0	0.0	5.3	6.7	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0
15:00 ～ 16:00	2.5	5.6	91.9	100.0	0.0	5.0	6.7	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0
16:00 ～ 17:00	1.6	8.6	89.7	100.0	0.0	0.0	3.9	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0
17:00 ～ 18:00	1.6	11.7	86.7	100.0	0.0	0.0	2.7	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
18:00 ～ 19:00	3.5	12.1	84.4	100.0	0.0	2.6	0.8	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
19:00 ～ 20:00	2.9	9.6	87.6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平 均	2.3	8.1	89.5	100.0	6.5	1.3	5.3	5.0	0.0	0.3	0.1	0.1

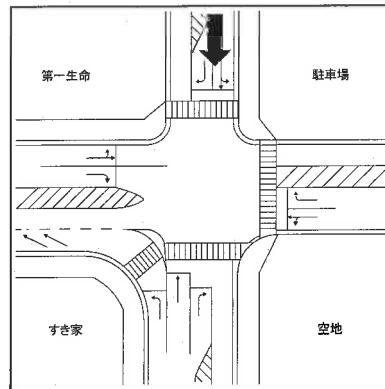
(1) 交通流量調査結果

交差点交通流動調査集計表

交差点No. 1

調査日 : 令和7年6月22日(日)

方向 : 幹線南進方面



	左折			直進			右折			自動車	全車種	自転車	歩行者
	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車	計	合計		
8:00 ~ 9:00	0	0	0	2	112	5	2	10	0	127	131	0	1
9:00 ~ 10:00	0	1	0	0	157	3	0	7	0	168	168	0	1
10:00 ~ 11:00	0	1	0	1	196	3	0	10	1	211	212	0	0
11:00 ~ 12:00	0	2	0	3	162	2	0	9	1	176	179	0	0
12:00 ~ 13:00	0	0	0	2	165	2	0	10	0	177	179	0	0
13:00 ~ 14:00	0	0	0	1	162	3	1	7	0	172	174	0	0
14:00 ~ 15:00	0	1	0	1	158	1	0	5	0	165	166	2	0
15:00 ~ 16:00	0	0	0	0	156	4	0	7	0	167	167	0	0
16:00 ~ 17:00	0	0	0	0	163	2	0	2	0	167	167	0	0
17:00 ~ 18:00	0	0	0	0	153	2	0	5	0	160	160	2	0
18:00 ~ 19:00	0	1	0	2	105	2	0	5	0	113	115	0	1
19:00 ~ 20:00	0	0	0	0	72	2	0	4	0	78	78	1	0
合 計	0	6	0	12	1761	31	3	81	2	1881	1896	5	3

【流動特性】

	流動分岐率(%)				大型車混入率(%)				二輪車混入率(%)			
	左折	直進	右折	計	左折	直進	右折	平均	左折	直進	右折	平均
8:00 ~ 9:00	0.0	90.8	9.2	100.0	0.0	4.2	0.0	3.8	0.0	1.7	16.7	3.1
9:00 ~ 10:00	0.6	95.2	4.2	100.0	0.0	1.9	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
10:00 ~ 11:00	0.5	94.3	5.2	100.0	0.0	1.5	9.1	1.9	0.0	0.5	0.0	0.5
11:00 ~ 12:00	1.1	93.3	5.6	100.0	0.0	1.2	10.0	1.7	0.0	1.8	0.0	1.7
12:00 ~ 13:00	0.0	94.4	5.6	100.0	0.0	1.2	0.0	1.1	0.0	1.2	0.0	1.1
13:00 ~ 14:00	0.0	95.4	4.6	100.0	0.0	1.8	0.0	1.7	0.0	0.6	12.5	1.1
14:00 ~ 15:00	0.6	96.4	3.0	100.0	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6
15:00 ~ 16:00	0.0	95.8	4.2	100.0	0.0	2.5	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
16:00 ~ 17:00	0.0	98.8	1.2	100.0	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
17:00 ~ 18:00	0.0	96.9	3.1	100.0	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
18:00 ~ 19:00	0.9	94.8	4.3	100.0	0.0	1.8	0.0	1.7	0.0	1.8	0.0	1.7
19:00 ~ 20:00	0.0	94.9	5.1	100.0	0.0	2.7	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
平 均	0.3	95.1	4.5	100.0	0.0	1.7	2.3	1.7	0.0	0.7	3.5	0.8

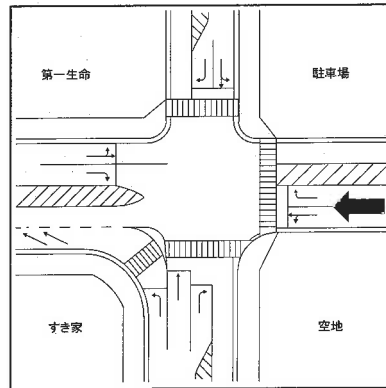
(1) 交通流量調査結果

交差点交通流動調査集計表

交差点No. 1

調査日 : 令和7年6月22日(日)

方向 : 交差西進方面



	左折			直進			右折			自動車計	全車種合計	自転車	歩行者
	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車				
8:00 ~ 9:00	0	3	0	0	37	1	0	42	1	84	84	0	5
9:00 ~ 10:00	0	8	0	0	46	0	2	52	2	108	110	1	1
10:00 ~ 11:00	0	2	0	0	54	0	1	54	1	111	112	0	1
11:00 ~ 12:00	0	2	0	0	29	0	0	39	1	71	71	0	0
12:00 ~ 13:00	0	2	0	0	29	1	0	44	2	78	78	0	0
13:00 ~ 14:00	0	6	0	0	29	0	0	40	2	77	77	1	0
14:00 ~ 15:00	0	4	1	1	37	0	2	56	0	98	101	0	0
15:00 ~ 16:00	0	2	0	0	43	0	1	39	2	86	87	0	1
16:00 ~ 17:00	0	3	0	0	47	0	0	44	1	95	95	0	0
17:00 ~ 18:00	0	3	0	0	31	1	0	33	0	68	68	2	0
18:00 ~ 19:00	0	3	0	0	14	1	0	14	3	35	35	0	0
19:00 ~ 20:00	0	0	0	0	9	0	0	11	0	20	20	1	0
合 計	0	38	1	1	405	4	6	468	15	931	938	5	8

【流動特性】

	流動分岐率(%)				大型車混入率(%)				二輪車混入率(%)			
	左折	直進	右折	計	左折	直進	右折	平均	左折	直進	右折	平均
8:00 ~ 9:00	3.6	45.2	51.2	100.0	0.0	2.6	2.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
9:00 ~ 10:00	7.3	41.8	50.9	100.0	0.0	0.0	3.6	1.8	0.0	0.0	3.6	1.8
10:00 ~ 11:00	1.8	48.2	50.0	100.0	0.0	0.0	1.8	0.9	0.0	0.0	1.8	0.9
11:00 ~ 12:00	2.8	40.8	56.3	100.0	0.0	0.0	2.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
12:00 ~ 13:00	2.6	38.5	59.0	100.0	0.0	3.3	4.3	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
13:00 ~ 14:00	7.8	37.7	54.5	100.0	0.0	0.0	4.8	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
14:00 ~ 15:00	5.0	37.6	57.4	100.0	20.0	0.0	0.0	1.0	0.0	2.6	3.4	3.0
15:00 ~ 16:00	2.3	49.4	48.3	100.0	0.0	0.0	4.8	2.3	0.0	0.0	2.4	1.1
16:00 ~ 17:00	3.2	49.5	47.4	100.0	0.0	0.0	2.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
17:00 ~ 18:00	4.4	47.1	48.5	100.0	0.0	3.1	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
18:00 ~ 19:00	8.6	42.9	48.6	100.0	0.0	6.7	17.6	11.4	0.0	0.0	0.0	0.0
19:00 ~ 20:00	0.0	45.0	55.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平 均	4.2	43.7	52.1	100.0	2.6	1.0	3.1	2.1	0.0	0.2	1.2	0.7

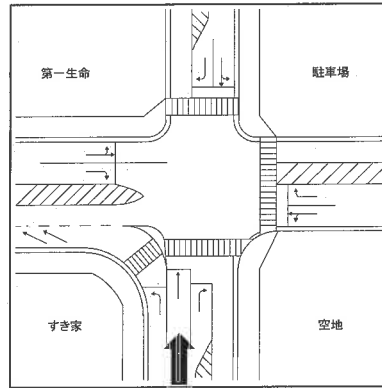
(1) 交通流量調査結果

交差点交通流動調査集計表

交差点No. 1

調査日 : 令和7年6月22日(日)

方向 : 幹線北進方面



	左折			直進			右折			自動車	全車種	自転車	歩行者
	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車	計	合計		
8:00 ~ 9:00	1	451	15	0	111	7	0	2	0	586	587	1	4
9:00 ~ 10:00	1	556	9	1	166	7	0	2	0	740	742	1	0
10:00 ~ 11:00	3	556	7	2	151	6	0	4	0	724	729	0	0
11:00 ~ 12:00	3	503	17	0	191	4	0	3	0	718	721	0	0
12:00 ~ 13:00	1	446	8	0	171	7	0	2	0	634	635	0	0
13:00 ~ 14:00	3	480	13	0	163	3	0	2	0	661	664	0	0
14:00 ~ 15:00	1	561	9	2	199	1	0	6	0	776	779	0	0
15:00 ~ 16:00	0	590	9	2	217	10	0	3	0	829	831	0	0
16:00 ~ 17:00	2	571	7	0	168	3	0	4	0	753	755	0	0
17:00 ~ 18:00	2	329	8	0	126	6	0	1	0	470	472	1	0
18:00 ~ 19:00	1	284	6	1	78	3	0	1	0	372	374	1	0
19:00 ~ 20:00	0	193	3	0	42	0	0	4	0	242	242	0	0
合 計	18	5520	111	8	1783	57	0	34	0	7505	7531	4	4

【流動特性】

	流動分岐率(%)				大型車混入率(%)				二輪車混入率(%)			
	左折	直進	右折	計	左折	直進	右折	平均	左折	直進	右折	平均
8:00 ~ 9:00	79.6	20.1	0.3	100.0	3.2	5.9	0.0	3.7	0.2	0.0	0.0	0.2
9:00 ~ 10:00	76.3	23.5	0.3	100.0	1.6	4.0	0.0	2.2	0.2	0.6	0.0	0.3
10:00 ~ 11:00	77.6	21.8	0.5	100.0	1.2	3.8	0.0	1.8	0.5	1.3	0.0	0.7
11:00 ~ 12:00	72.5	27.0	0.4	100.0	3.3	2.1	0.0	2.9	0.6	0.0	0.0	0.4
12:00 ~ 13:00	71.7	28.0	0.3	100.0	1.8	3.9	0.0	2.4	0.2	0.0	0.0	0.2
13:00 ~ 14:00	74.7	25.0	0.3	100.0	2.6	1.8	0.0	2.4	0.6	0.0	0.0	0.5
14:00 ~ 15:00	73.3	25.9	0.8	100.0	1.6	0.5	0.0	1.3	0.2	1.0	0.0	0.4
15:00 ~ 16:00	72.1	27.6	0.4	100.0	1.5	4.4	0.0	2.3	0.0	0.9	0.0	0.2
16:00 ~ 17:00	76.8	22.6	0.5	100.0	1.2	1.8	0.0	1.3	0.3	0.0	0.0	0.3
17:00 ~ 18:00	71.8	28.0	0.2	100.0	2.4	4.5	0.0	3.0	0.6	0.0	0.0	0.4
18:00 ~ 19:00	77.8	21.9	0.3	100.0	2.1	3.7	0.0	2.4	0.3	1.2	0.0	0.5
19:00 ~ 20:00	81.0	17.4	1.7	100.0	1.5	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
平 均	75.0	24.5	0.5	100.0	2.0	3.1	0.0	2.2	0.3	0.4	0.0	0.3

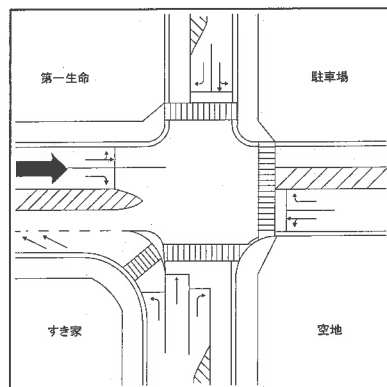
(1) 交通流量調査結果

交差点交通流動調査集計表

交差点No. 1

調査日 : 令和7年6月22日(日)

方向 : 交差東進方面



	左折			直進			右折			自動車計	全車種合計	自転車	歩行者
	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車	二輪車	普通車	大型車				
8:00 ~ 9:00	0	8	1	0	10	0	1	310	6	335	336	0	0
9:00 ~ 10:00	0	7	1	0	18	0	0	330	9	365	365	2	0
10:00 ~ 11:00	0	5	1	0	21	0	0	396	15	438	438	2	0
11:00 ~ 12:00	0	16	0	1	11	0	0	343	8	378	379	0	0
12:00 ~ 13:00	0	15	0	0	16	0	4	385	9	425	429	0	0
13:00 ~ 14:00	0	13	0	1	15	1	0	339	11	379	380	0	0
14:00 ~ 15:00	0	7	1	1	14	0	4	401	6	429	434	0	0
15:00 ~ 16:00	0	7	1	0	16	0	0	448	5	477	477	1	0
16:00 ~ 17:00	0	7	4	0	20	1	0	510	3	545	545	0	0
17:00 ~ 18:00	0	13	0	0	26	0	0	440	5	484	484	0	0
18:00 ~ 19:00	0	12	0	0	17	0	0	394	6	429	429	0	0
19:00 ~ 20:00	0	8	0	0	15	0	0	324	5	352	352	0	0
合計	0	118	9	3	199	2	9	4620	88	5036	5048	5	0

【流動特性】

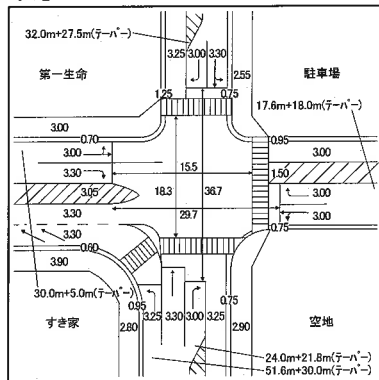
	流動分岐率(%)				大型車混入率(%)				二輪車混入率(%)			
	左折	直進	右折	計	左折	直進	右折	平均	左折	直進	右折	平均
8:00 ~ 9:00	2.7	3.0	94.3	100.0	11.1	0.0	1.9	2.1	0.0	0.0	0.3	0.3
9:00 ~ 10:00	2.2	4.9	92.9	100.0	12.5	0.0	2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0
10:00 ~ 11:00	1.4	4.8	93.8	100.0	16.7	0.0	3.6	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0
11:00 ~ 12:00	4.2	3.2	92.6	100.0	0.0	0.0	2.3	2.1	0.0	8.3	0.0	0.3
12:00 ~ 13:00	3.5	3.7	92.8	100.0	0.0	0.0	2.3	2.1	0.0	0.0	1.0	0.9
13:00 ~ 14:00	3.4	4.5	92.1	100.0	0.0	5.9	3.1	3.2	0.0	5.9	0.0	0.3
14:00 ~ 15:00	1.8	3.5	94.7	100.0	12.5	0.0	1.5	1.6	0.0	6.7	1.0	1.2
15:00 ~ 16:00	1.7	3.4	95.0	100.0	12.5	0.0	1.1	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
16:00 ~ 17:00	2.0	3.9	94.1	100.0	36.4	4.8	0.6	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
17:00 ~ 18:00	2.7	5.4	91.9	100.0	0.0	0.0	1.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18:00 ~ 19:00	2.8	4.0	93.2	100.0	0.0	0.0	1.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
19:00 ~ 20:00	2.3	4.3	93.5	100.0	0.0	0.0	1.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
平均	2.5	4.0	93.4	100.0	7.1	1.0	1.9	2.0	0.0	1.5	0.2	0.2

(2) 交差点現示および運用秒時調査結果

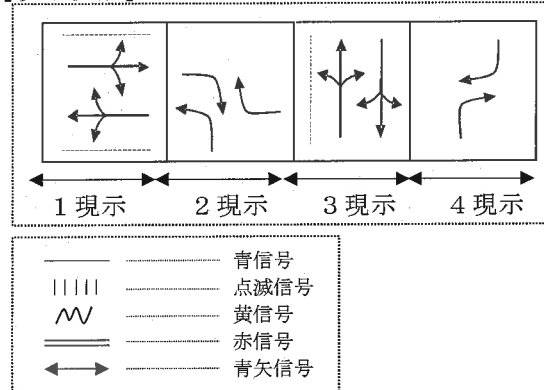
信号現示階梯及び運用秒時

交差点名： 交差点No.1

【形状】



【現示流動】



【現示階梯】

	1 PG	1 PW	1 G	1 Y	2 A	2 Y	2 R	3 PG	3 PW	3 G	3 Y	4 A	4 Y	4 R
交差 歩行 (1 P)														
交差 車両 (1 G)				W										
交差 右矢印 (2 A)					W									
幹線 左矢印 (2 A)					W									
幹線 歩行 (3 P)														
幹線 車両 (3 G)										W				
幹線 右矢印 (4 A)												W		
階梯秒時	V	4	3	3	V	3	3	V	4	4	3	V	3	3

【平日の運用秒時】

	1 現示	2 現示	3 現示	4 現示	サイクル長	スプリット値
8:00 ~ 9:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
9:00 ~ 10:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
10:00 ~ 11:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
11:00 ~ 12:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
12:00 ~ 13:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
13:00 ~ 14:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
14:00 ~ 15:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
15:00 ~ 16:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
16:00 ~ 17:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
17:00 ~ 18:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
18:00 ~ 19:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
19:00 ~ 20:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10

【休日の運用秒時】

	1 現示	2 現示	3 現示	4 現示	サイクル長	スプリット値
8:00 ~ 9:00	36	27	64	13	140	26 : 19 : 46 : 9
9:00 ~ 10:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
10:00 ~ 11:00	36	27	64	13	140	26 : 19 : 46 : 9
11:00 ~ 12:00	36	27	64	13	140	26 : 19 : 46 : 9
12:00 ~ 13:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
13:00 ~ 14:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
14:00 ~ 15:00	36	27	64	13	140	26 : 19 : 46 : 9
15:00 ~ 16:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
16:00 ~ 17:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
17:00 ~ 18:00	36	27	64	13	140	26 : 19 : 46 : 9
18:00 ~ 19:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10
19:00 ~ 20:00	34	26	48	12	120	28 : 22 : 40 : 10

(3) 交差点需要率結果

<現状の交差点需要率>

交差点No. 1

【平日】

時間帯	A		B		C			D		1 現示	2 現示	3 現示	4 現示	交差点
	左直	右	左直	右	左	直	右	左直	右	需要率	需要率	需要率	需要率	需要率
8:00～9:00	0.067	0.000	0.030	0.000	0.193	0.076	0.000	0.017	0.151	0.030	0.151	0.076	0.000	0.257
9:00～10:00	0.070	0.000	0.034	0.007	0.256	0.064	0.000	0.017	0.138	0.034	0.138	0.118	0.000	0.290
10:00～11:00	0.079	0.000	0.024	0.000	0.268	0.071	0.000	0.018	0.157	0.024	0.157	0.111	0.000	0.292
11:00～12:00	0.072	0.000	0.021	0.000	0.215	0.079	0.000	0.016	0.152	0.021	0.152	0.079	0.000	0.252
12:00～13:00	0.079	0.000	0.017	0.000	0.184	0.070	0.000	0.018	0.115	0.018	0.115	0.079	0.000	0.212
13:00～14:00	0.078	0.000	0.018	0.000	0.170	0.069	0.000	0.024	0.122	0.024	0.122	0.078	0.000	0.224
14:00～15:00	0.073	0.000	0.025	0.000	0.195	0.064	0.000	0.011	0.139	0.025	0.139	0.073	0.000	0.237
15:00～16:00	0.067	0.000	0.019	0.000	0.203	0.049	0.000	0.016	0.157	0.019	0.157	0.067	0.000	0.243
16:00～17:00	0.053	0.000	0.022	0.000	0.196	0.053	0.000	0.020	0.157	0.022	0.157	0.053	0.000	0.232
17:00～18:00	0.083	0.000	0.024	0.000	0.195	0.046	0.000	0.026	0.156	0.026	0.156	0.083	0.000	0.265
18:00～19:00	0.046	0.000	0.010	0.000	0.129	0.031	0.000	0.026	0.116	0.026	0.116	0.046	0.000	0.188
19:00～20:00	0.031	0.000	0.010	0.000	0.085	0.025	0.000	0.014	0.069	0.014	0.069	0.031	0.000	0.114
平 均	0.067	0.000	0.021	0.001	0.191	0.058	0.000	0.019	0.136	0.024	0.136	0.075	0.000	0.234

【休日】

時間帯	A		B		C			D		1 現示	2 現示	3 現示	4 現示	交差点
	左直	右	左直	右	左	直	右	左直	右	需要率	需要率	需要率	需要率	需要率
8:00～9:00	0.062	0.000	0.024	0.000	0.292	0.061	0.000	0.011	0.151	0.024	0.151	0.141	0.000	0.316
9:00～10:00	0.083	0.000	0.031	0.000	0.345	0.089	0.000	0.014	0.160	0.031	0.160	0.185	0.000	0.376
10:00～11:00	0.103	0.000	0.031	0.003	0.348	0.082	0.000	0.015	0.207	0.031	0.207	0.141	0.000	0.379
11:00～12:00	0.086	0.000	0.018	0.000	0.327	0.099	0.000	0.016	0.171	0.018	0.171	0.156	0.000	0.345
12:00～13:00	0.086	0.000	0.018	0.000	0.277	0.091	0.000	0.018	0.193	0.018	0.193	0.091	0.000	0.302
13:00～14:00	0.085	0.000	0.020	0.000	0.304	0.084	0.000	0.017	0.166	0.020	0.166	0.138	0.000	0.324
14:00～15:00	0.082	0.000	0.025	0.004	0.352	0.101	0.000	0.013	0.204	0.025	0.204	0.148	0.000	0.377
15:00～16:00	0.082	0.000	0.025	0.000	0.365	0.118	0.000	0.013	0.222	0.025	0.222	0.143	0.000	0.390
16:00～17:00	0.084	0.000	0.028	0.000	0.352	0.087	0.000	0.019	0.255	0.028	0.255	0.097	0.000	0.380
17:00～18:00	0.079	0.000	0.020	0.000	0.211	0.068	0.000	0.021	0.223	0.021	0.223	0.079	0.000	0.323
18:00～19:00	0.056	0.000	0.011	0.000	0.178	0.042	0.000	0.016	0.193	0.016	0.193	0.056	0.000	0.265
19:00～20:00	0.038	0.000	0.005	0.000	0.119	0.021	0.000	0.013	0.152	0.013	0.152	0.038	0.000	0.203
平 均	0.077	0.000	0.021	0.001	0.289	0.079	0.000	0.016	0.191	0.023	0.191	0.118	0.000	0.332

別添資料－2

ドラッグコスモス大矢野登立店
騒音予測評価報告書

— 目 次 —

第1章 目 的	1
第2章 調査概要	1
1. 既存類似店舗調査	1
2. 測定項目	1
3. 測定方法	2
第3章 調査結果	2
第4章 騒音予測	4
1. 出店計画店舗の概要	4
2. 店舗周辺の住居等の立地条件	4
3. 予測地点の選定	4
4. 騒音発生源の配置	6
5. 予測項目	11
6. 予測方法	11
第5章 予測結果	15
1. 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベル予測結果	15
2. 発生する騒音ごとの騒音レベル最大値予測結果	25

第1章 目 的

大規模小売店舗立地法は、大規模小売店舗の立地に関して、出店に伴う交通混雑、騒音などその周辺地域の生活環境を保持するために適正な配慮を確保するよう求めている。

特に、配慮すべき環境項目の一つとして、「騒音」に関して騒音の予測・評価及び防止対策の実効を期待している。

このようなことから、「ドラッグコスモス大矢野登立店」の出店計画における大規模小売店舗立地法第5条第1項届出書作成に伴う騒音評価業務は、「熊本県大規模小売店舗立地法届出の手引」に基づき、店舗から発生する騒音の「総合的な予測・評価」及び「発生する騒音ごとの予測・評価」を行うことで、周辺地域の生活環境への影響を把握し、騒音防止に関連する法令の遵守と悪化防止の措置を講じるための資料とすることを目的とした。

第2章 調査概要

1. 既存類似店舗調査

「ドラッグコスモス大矢野登立店」の出店計画により、店舗から営業活動に伴って発生する騒音の予測を行うためのデータベースとなるデータ収集を行うため、既存類似店舗から発生している騒音について調査を実施した。

また、室外機等の設備機器から発生する騒音レベルは、メーカー提供値及びカタログ値に示される「基準距離における騒音レベル」を引用した。

(1) 調査店舗

○ドラッグコスモス惣領店

所在地；上益城郡益城町大字惣領字西宅地 1089 番 3 外

店舗面積；1,685 m²

営業時間；10:00～21:00

(2) 調査日時

令和4年2月7日（月）10:00～17:00

2. 測定項目

既存類似店舗から発生する騒音について、騒音源の種類ごとに発生源を分類して、それぞれの測定項目を表2-1に示す。

表2-1 騒音源の種類と測定項目

種 類	発 生 源	測 定 項 目
定常騒音源	・ 室外機 ・ 冷凍冷蔵庫屋外機 ・ 排気口 ・ キュービクル	等価騒音レベル (LAeq)
変動騒音源	・ 後進警報ブザー音 ・ 廃棄物収集作業音 (圧縮・非圧縮) ・ 搬出入車両アイドリング音	騒音発生の継続時間 (s) 騒音発生回数
衝撃騒音源	・ 台車走行音 ・ 荷さばき作業に伴う荷下ろし音 ・ 搬出入車両荷台扉開閉音 ・ 搬出入車両座席扉開閉音 ・ 搬出入車両エンジン始動音	単発騒音暴露レベル (LAE) 最大値 (Lmax) 騒音発生回数

騒音等の分析方法は、表 2－2 に示すとおりである。
また、分析に使用した機器を表 2－3 に示す。

表 2－2 騒音等分析方法

分 析 項 目		分 析 方 法	仕 様
騒 音 レ ベ ル	等価騒音レベル	・騒音計で騒音の大きさごとの平均的な騒音レベル及び継続時間を求める。 ・騒音計に内蔵された周波数分析器を用いて周波数特性を把握する。	周波数特性：A 時間重み特性：Fast
	最大値	・騒音計の内部処理器により求める。	
	単発騒音暴露レベル	・騒音計の内部処理器により求める。	
騒音発生源と測定位置関係		・基準距離 1 m（発生源と騒音測定地点間の距離）	—

表 2－3 使用機器一覧表

機 器 名 称	機 器 型 式	製 造 会 社
騒音計（積分型普通騒音計）	NA－29	RION

3. 測定方法（JIS Z8731「環境騒音の表示・測定方法」に準拠）

- (1) 定常騒音源
室外機等の設備機器から発生する騒音は、メーカー提供値及びカタログ値に示される「基準距離における騒音レベル」を引用し、一部データが無いものについては、実測値を用いる（表 3－1 参照）。
- (2) 変動騒音源
敷地内における自動車走行に関する騒音は、「道路交通騒音の予測モデル“ASJ Model 2003”」文献値を用い、その他については、平成 20 年 10 月経済産業省商務情報政策局流通政策課「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き（第 2 版）」に示されている値を引用した（表 3－2 参照）。
- (3) 衝撃騒音源
荷さばき作業に伴い発生する騒音は、既存類似店舗において発生源から基準距離（1m）で測定した値を用いた。
なお、台車走行音については、平成 20 年 10 月経済産業省商務情報政策局流通政策課「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き（第 2 版）」に示されている値を引用した（表 3－3 参照）。

第 3 章 調査結果

既存類似店舗から発生されるそれぞれの騒音について調査した結果及びメーカー提供データ等のとりまとめた結果を表 3－1～表 3－3 に示す。
この結果は、騒音予測・評価に必要となる各種騒音源に関するデータとなるものである。

表3-1 定常騒音源に関するデータ

単位：(dB・A)

名 称	型 式	能 力	騒音レベル	周波数成分 (Hz)						
				63	125	250	500	1000	2000	4000
室外機	ROA-RP2243HS	圧縮機出力4.74kW	59.9	39.6	46.6	53.4	52.8	55.0	51.4	47.3
室外機	ROA-RP2803HS	圧縮機出力7.16kW	63.1	45.1	50.1	55.4	56.8	58.0	55.4	50.8
室外機	ROA-RP1601H	圧縮機出力4.06kW	58.0	32.6	41.1	47.4	51.8	54.0	50.9	45.8
室外機	ROA-RP1121H	圧縮機出力2.26kW	58.0	33.6	41.1	47.4	51.8	54.0	50.9	45.8
冷凍冷蔵庫屋外機	KX-R6AV1	圧縮機出力4.5kW	49.9	32.6	40.1	43.4	44.8	44.0	38.4	31.8
冷凍冷蔵庫屋外機	KX-RM20AM	圧縮機出力(7.4×2)kW	57.5	38.6	48.1	48.9	54.8	48.5	44.9	38.8
排気口	DVF-25FVD10	出力0.1kW	45.0							
キュービクル	キュービクルa	—	51.1 *1	35.9	40.4	45.0	45.7	44.7	40.7	34.9

*1 既存類似店舗実測データ

表3-2 変動騒音源に関するデータ

単位：(dB・A)

名 称	騒音発生時間及び 騒音発生回数	騒音レベル	周波数成分 (Hz)						
			63	125	250	500	1000	2000	4000
来客車両走行音	1～2回/台	74.0 *2							
搬出入車両走行音	1～2回/台	83.5 *2							
廃棄物収集車両走行音	1～2回/台	83.5 *2							
搬出入車両後進警報ブザー音	16、19秒/台	90.0 *3						*1	
廃棄物収集車両後進警報ブザー音	16秒/台	90.0 *3						*1	
廃棄物収集作業音(圧縮)	300秒/台	90.0 *3					*1		
廃棄物収集作業音(非圧縮)	90秒/台	85.0 *3					*1		
搬出入車両アイドリング音	1, 200秒/台	78.6 *3							

*1 卓越周波数を示す。

*2 ASJ Model 2003 計算根拠

①来客車両走行音

タイヤの半径やギヤ比など自動車に関する既存の研究結果から得られたもの(『自動車の走行パターンを考慮した道路交通騒音の予測-その1.自動車の走行パターンと発生騒音の推定(音響学会50)』より)を用い、自動車工学に基づくパワーレベル式(『ASJ Model 2003 付属資料-1 自動車走行音のパワーレベル』より)を用い算出すると、82dB(A特性音響パワーレベル)となる。

82dBを半自由空間補正(-8dB(『騒音予測の手引き p-11より))し、74dBとなる。

②搬出入車両走行音・廃棄物収集車両走行音

タイヤの半径やギヤ比など自動車に関する既存の研究結果から得られたもの(『自動車の走行パターンを考慮した道路交通騒音の予測-その1.自動車の走行パターンと発生騒音の推定(音響学会50)』より)を用い、自動車工学に基づくパワーレベル式(『ASJ Model 2003 付属資料-1 自動車走行音のパワーレベル』より)を用い算出すると、91.5dB(A特性音響パワーレベル)となる。

91.5dBを半自由空間補正(-8dB(『騒音予測の手引き p-11より))し、83.5dBとなる。

*3 騒音予測の手引き

表3-3 衝撃騒音源に関するデータ

単位：(dB・A)

名 称	騒音発生回数	*1 単発騒音 暴露レベル	周波数成分 (Hz)						
			63	125	250	500	1000	2000	4000
台車走行音	6秒×6回/台	71.0 *3						*2	
台車走行音	6秒×6回/台	77.0 *4						*2	
荷さばき作業に伴う荷下ろし音	10回/台	73.2	50.8	56.4	60.8	66.0	66.5	68.5	65.5
荷さばき作業に伴う荷下ろし音	10回/台	77.4 *4	51.5	57.9	66.6	70.4	70.7	72.5	69.6
搬出入車両荷台扉開音	1回/台	74.9	43.4	53.6	64.0	69.6	70.0	67.5	65.4
搬出入車両荷台扉開音	1回/台	77.8 *4	45.6	56.2	66.5	72.0	73.7	70.0	67.3
搬出入車両荷台扉閉音	1回/台	77.2	45.0	53.0	61.3	68.9	72.4	72.4	69.1
搬出入車両荷台扉閉音	1回/台	79.9 *4	47.5	55.7	64.2	71.6	75.1	75.0	71.8
搬出入車両座席扉開閉音	2回/台	77.8	53.6	61.5	68.7	71.8	73.0	70.7	66.8
搬出入車両座席扉開閉音	2回/台	80.4 *4	55.7	63.6	71.5	74.7	75.5	72.9	69.6
搬出入車両エンジン始動音	1回/台	79.4	54.7	58.6	62.7	69.0	74.5	74.5	73.0
搬出入車両エンジン始動音	1回/台	80.7 *4	56.4	60.1	64.5	70.8	75.6	75.7	74.3

*1 既存類似店舗実測データ

*2 卓越周波数を示す。

*3 騒音予測の手引き

*4 騒音レベル最大値を示す。

第4章 騒音予測

出店計画店舗から発生される騒音が店舗周辺の予測地点に与える影響を予測する方法は、「大規模小売店舗から発生する騒音の予測の手引き（第2版）」（平成20年10月経済産業省）及び「騒音予測に係るケーススタディ」（平成13年2月経済産業省商務情報政策局流通産業課）に基づいて行った。

1. 出店計画店舗の概要

計画店舗の規模・営業時間等は、次のとおりである。

ドラッグコスモス大矢野登立店

所在地；上天草市大矢野町登立字筒之浦新田 2903 番 3 外

用途地域；無指定地域

店舗面積；1,338 m²

営業時間；9:00～22:00

駐車場収容台数；55 台

駐車場利用可能時間帯；8:30～22:30

荷さばき可能時間帯；24 時間

廃棄物収集時間帯；8:00～18:00

設備機器の稼働時間帯；表4－3「騒音発生源一覧表」参照

2. 店舗周辺の住居等の立地条件

店舗周辺の住居等の配置状況を添付図面1「騒音予測地点位置図」に示す。店舗周辺の都市計画法上の用途地域は、無指定地域である。

店舗周辺の住居等の立地状況として、建物敷地北側には市道船江白涛線（道路幅員：8.4m）を挟み店舗が立地しており、東側には空地が面している。

また、建物敷地南側には市道芋の迫広崎線（道路幅員：4.6m）を挟み戸建住宅が立地しており、西側には戸建住宅が立地している。

3. 予測地点の選定

出店計画店舗から発生する騒音について、平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測地点は、店舗の周囲2方向からそれぞれ近接した最も騒音の影響を受けやすい地点に立地し、又は立地可能な住居等の屋外を選定した。

また、夜間に発生する騒音ごとの騒音レベル最大値の予測地点については、隣接する住居等への影響を考慮した高さにおける店舗の敷地境界上とした。（添付図面1「騒音予測地点位置図」参照）

騒音発生源の配置位置と現況の住居等の立地状況を考慮して、予測地点の高さを1.5m～6.2mに設定するとともに、選定根拠を表4－1、4－2（後出 p-6）に示す。

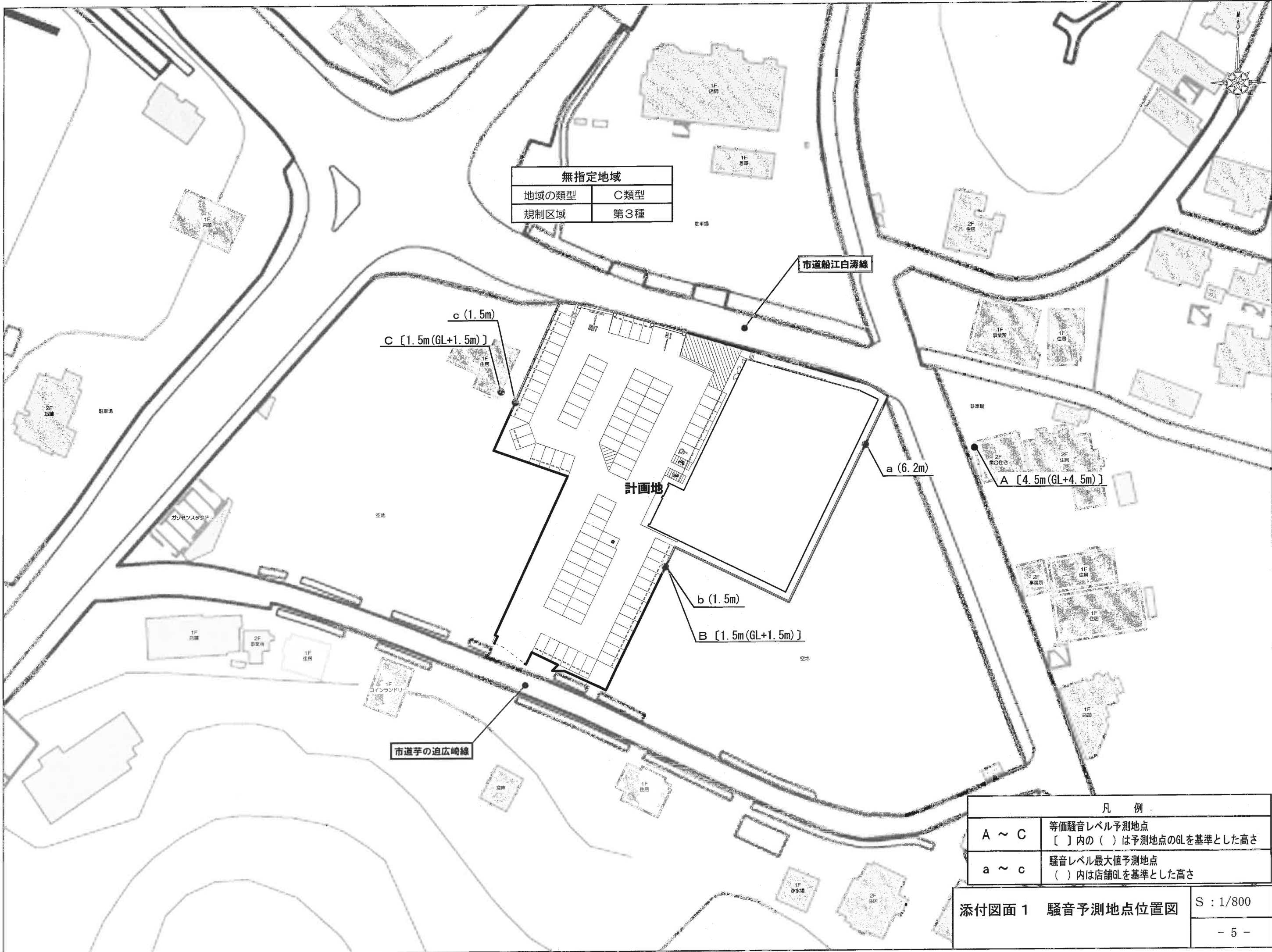


表4-1 等価騒音レベル予測地点

予測地点	位 置	用 途 地 域	予 測 位 置(m)		
			X	Y	Z
A地点	建物敷地東側住居敷地内	無指定地域	62.6	50.9	4.5
B地点	建物敷地東側空地	無指定地域	7.7	-7.0	1.5
C地点	建物敷地西側住居敷地内	無指定地域	-48.1	13.1	1.5
【選定根拠】 A地点:建物屋上に設置される設備機器の稼働音の影響を最も受けるとされる住居敷地内とした。 B地点:駐車場内を走行する来客車両走行音の影響を最も受けるとされる空地とした。 C地点:駐車場内を走行する来客車両走行音の影響を最も受けるとされる住居敷地内とした。 ※ 建物敷地北側及び南側には店舗等が立地しており、騒音の影響を受ける住居等の立地がないことから予測地点を選定していない。					

表4-2 騒音レベル最大値の予測地点

予測地点	位 置	用 途 地 域	予 測 位 置(m)		
			X	Y	Z
a地点	建物敷地東側境界上	無指定地域	38.4	40.2	6.2
b地点	建物敷地東側境界上	無指定地域	7.7	-7.0	1.5
c地点	建物敷地西側境界上	無指定地域	-42.3	13.1	1.5
【選定根拠】 a地点:建物屋上に設置され、夜間発生する設備機器の稼働音の影響を最も受けるとされる敷地境界線上とした。 b地点:駐車場内を走行する帰宅車両走行音の影響を最も受けるとされる敷地境界線上とした。 c地点:駐車場内を走行する帰宅車両走行音の影響を最も受けるとされる敷地境界線上とした。 ※ 建物敷地北側及び南側には店舗等が立地しており、騒音の影響を受ける住居等の立地がないことから予測地点を選定していない。					

4. 騒音発生源の配置

店舗に配置される設備機器及び荷さばき作業等の店舗運営に伴い発生する音源の位置並びに騒音発生条件を表4-3「騒音発生源一覧表」に、自動車走行音の発生位置及び発生回数を表4-4「自動車走行音発生源一覧表」に示す。

また、騒音源の平面的な位置関係を添付図面2「騒音発生源位置図」に示す。

表4-3 騒音発生源一覧表

番号	騒音発生源		騒音レベル 等 (dB)	騒音発生時間 及び 騒音発生回数	位 置※ 1			
	種 類	形 式			座 標 (m)			階
					X	Y	Z	
1	室外機1	ROA-RP2243HS	59.9	8:30～22:00	19.5	18.2	6.8	R階部
2	室外機2	ROA-RP2243HS	59.9	8:30～22:00	19.5	16.9	6.8	R階部
3	室外機3	ROA-RP2803HS	63.1	8:30～22:00	19.5	14.9	6.8	R階部
4	室外機4	ROA-RP2803HS	63.1	8:30～22:00	19.5	13.6	6.8	R階部
5	室外機5	ROA-RP2803HS	63.1	8:30～22:00	21.0	18.2	6.8	R階部
6	室外機6	ROA-RP1601H	58.0	8:30～22:00	21.0	16.9	6.5	R階部
7	室外機7	ROA-RP2803HS	63.1	8:30～22:00	21.0	14.9	6.8	R階部
8	室外機8	ROA-RP1121H	58.0	8:30～22:00	21.0	13.6	6.5	R階部
9	冷凍冷蔵庫屋外機1	KX-R6AV1	49.9	終 日	19.4	25.8	7.6	R階部
10	冷凍冷蔵庫屋外機2	KX-R6AV1	49.9	終 日	20.9	25.8	7.6	R階部
11	冷凍冷蔵庫屋外機3	KX-RM20AM	57.5	終 日	19.4	23.8	7.6	R階部
12	冷凍冷蔵庫屋外機4	KX-RM20AM	57.5	終 日	20.9	23.8	7.6	R階部
13	排気口1	DVF-25FVD10	45.0	8:30～22:00	36.7	37.3	4.0	1階部
14	排気口2	DVF-25FVD10	45.0	8:30～22:00	36.7	35.4	4.0	1階部
15	排気口3	DVF-25FVD10	45.0	8:30～22:00	36.7	33.3	4.0	1階部
16	排気口4	DVF-25FVD10	45.0	8:30～22:00	36.7	31.4	4.0	1階部
17	キュービクル	キュービクル a	51.1	終 日	20.2	32.1	7.5	R階部
18	搬出入車両後進警報ブザー音		90.0	昼1台×16秒	-5.5	30.8	0.6	1階部
19	搬出入車両後進警報ブザー音		90.0	昼1台×19秒	-15.0	37.8	0.6	1階部
20	廃棄物収集車両後進警報ブザー音		90.0	昼3台×16秒	-5.5	30.8	0.6	1階部
21	廃棄物収集作業音（圧縮）		90.0	昼3台×300秒	-5.5	39.4	0.6	1階部
22	廃棄物収集作業音（非圧縮）		85.0	昼3台×90秒	-5.5	39.4	0.6	1階部
23	搬出入車両アイドリング音		78.6	昼1台×1200秒	-5.5	39.4	0.6	1階部
24	台車走行音		71.0	昼2台×6秒×6回夜1台×6秒×6回	2.3	42.9	0.0	1階部
			77.0※2					1階部
25	荷下ろし音		73.2	昼2台×10回夜1台×10回	2.3	42.9	0.6	1階部
			77.4※2					1階部
26	搬出入車両荷台扉開音		74.9	昼2台×1回夜1台×1回	2.3	42.9	1.5	1階部
			77.8※2					1階部
27	搬出入車両荷台扉閉音		77.2	昼2台×1回夜1台×1回	2.3	42.9	1.5	1階部
			79.9※2					1階部
28	搬出入車両座席扉開閉音		77.8	昼1台×2回夜1台×2回	-5.5	39.4	1.5	1階部
			80.4※2					1階部
29	搬出入車両座席扉開閉音		77.8	昼1台×2回	-7.7	36.2	1.5	1階部
30	搬出入車両エンジン始動音		79.4	昼1台×1回夜1台×1回	-5.5	39.4	0.6	1階部
			80.7※2					1階部
31	搬出入車両エンジン始動音		79.4	昼1台×1回	-7.7	36.2	0.6	1階部
※3	来客車両走行音		74.0	昼567台×1～2回夜82台×1回	-	-	-	1階部
※3	搬出入車両走行音		83.5	昼2台×1～2回夜1台×1～2回	-	-	-	1階部
※3	廃棄物収集車両走行音		83.5	昼3台×1～2回	-	-	-	1階部

※1 騒音源の位置及び座標の原点を添付図面2「騒音発生源位置図」に示す。

※2 騒音レベル最大値を示す。

※3 自動車走行騒音の詳細を表4-4「自動車走行音発生源一覧表」に示す。

表4-4 自動車走行音発生源一覧表

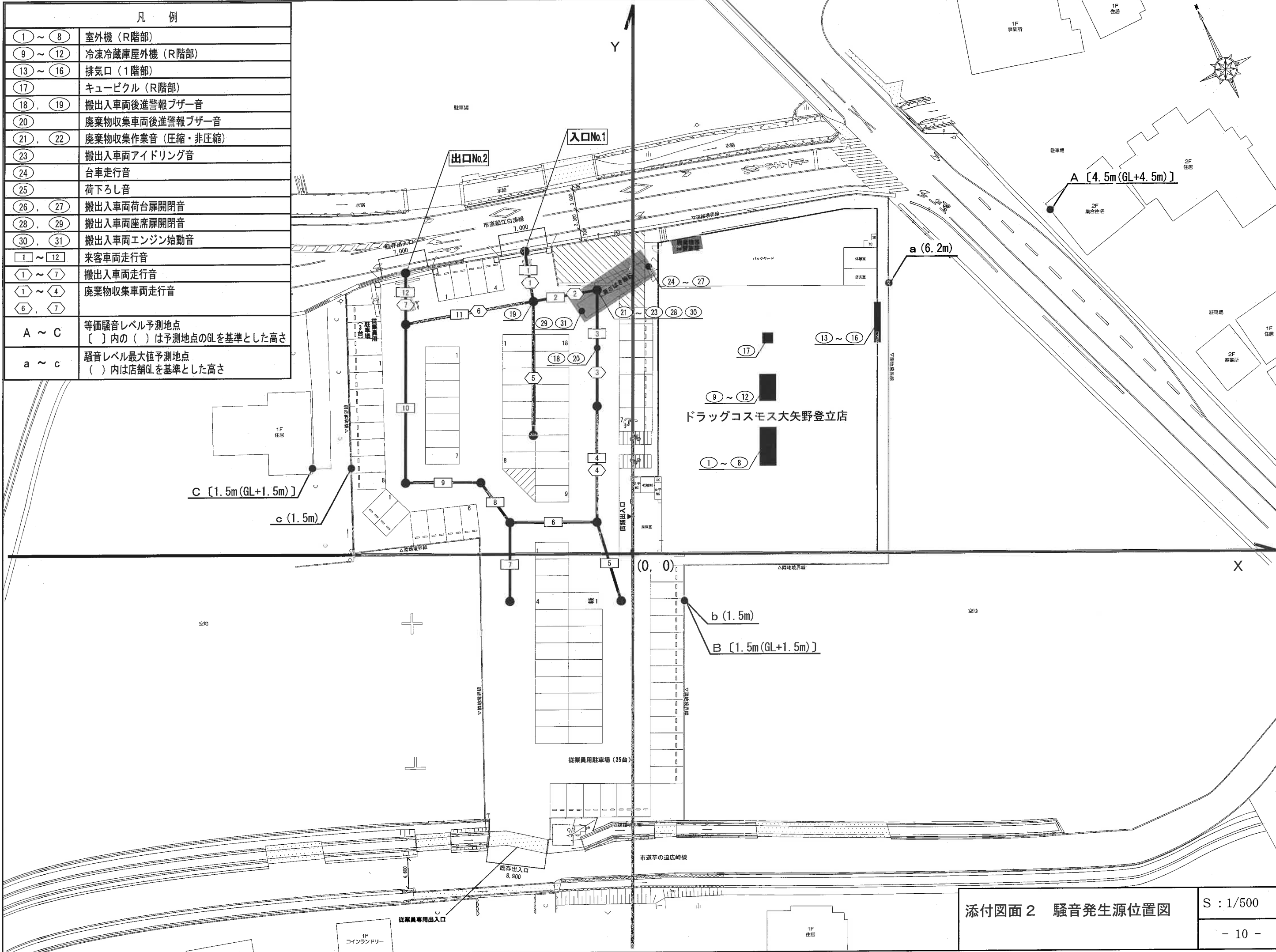
線分番号	種 類	騒音レベル等 (dB)	騒音発生回数		線分距離	位 置※1									階	
			昼間	夜間		始点座標(m)			終点座標(m)			離散音源点座標(m)				
						X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z		
1	来客車両走行音	74.0	567回	0回	7.5	-16.2	45.2	0.1	-15.0	37.8	0.3	-16.0	44.0	0.1	1 階部	
												-15.6	41.5	0.2		
												-15.2	39.0	0.3		
2	来客車両走行音	74.0	1134回	82回	9.7	-15.0	37.8	0.3	-5.4	39.4	0.6	-13.4	38.1	0.4	1 階部	
												-10.2	38.6	0.4		
												-7.0	39.1	0.5		
3	来客車両走行音	74.0	1134回	82回	17.3	-5.4	39.4	0.6	-5.4	22.1	0.6	-5.4	36.5	0.6	1 階部	
												-5.4	30.8	0.6		
												-5.4	25.0	0.6		
4	来客車両走行音	74.0	1134回	82回	17.3	-5.4	22.1	0.6	-5.4	4.8	0.6	-5.4	19.2	0.6	1 階部	
												-5.4	13.4	0.6		
												-5.4	7.7	0.6		
5	来客車両走行音	74.0	1134回	82回	12.3	-5.4	4.8	0.6	-1.8	-7.0	0.6	-4.8	2.8	0.6	1 階部	
												-3.6	-1.1	0.6		
												-2.4	-5.0	0.6		
6	来客車両走行音	74.0	1134回	82回	13.0	-5.4	4.8	0.6	-18.4	4.8	0.6	-7.6	4.8	0.6	1 階部	
												-11.9	4.8	0.6		
												-16.2	4.8	0.6		
7	来客車両走行音	74.0	1134回	82回	11.8	-18.4	4.8	0.6	-18.4	-7.0	0.6	-18.4	2.8	0.6	1 階部	
												-18.4	-1.1	0.6		
												-18.4	-5.0	0.6		
8	来客車両走行音	74.0	1134回	82回	7.4	-18.4	4.8	0.6	-22.8	10.8	0.6	-19.1	5.8	0.6	1 階部	
												-20.6	7.8	0.6		
												-22.1	9.8	0.6		
9	来客車両走行音	74.0	1134回	82回	11.4	-22.8	10.8	0.6	-34.2	10.8	0.6	-24.7	10.8	0.6	1 階部	
												-28.5	10.8	0.6		
												-32.3	10.8	0.6		
10	来客車両走行音	74.0	1134回	82回	23.7	-34.2	10.8	0.6	-34.2	34.5	0.4	-34.2	14.8	0.6	1 階部	
												-34.2	22.6	0.5		
												-34.2	30.6	0.4		
11	来客車両走行音	74.0	1134回	82回	19.5	-15.0	37.8	0.3	-34.2	34.5	0.4	-18.2	37.2	0.3	1 階部	
												-24.6	36.2	0.4		
												-31.0	35.0	0.4		
12	来客車両走行音	74.0	567回	82回	7.6	-34.2	34.5	0.4	-34.2	42.1	0.2	-34.2	35.8	0.4	1 階部	
												-34.2	38.3	0.3		
												-34.2	40.8	0.2		
1	搬出入車両走行音	83.5	2回	1回	7.5	-16.2	45.2	0.1	-15.0	37.8	0.3	-16.0	44.0	0.1	1 階部	
												-15.6	41.5	0.2		
												-15.2	39.0	0.3		
2	搬出入車両走行音	83.5	3回	2回	9.7	-15.0	37.8	0.3	-5.4	39.4	0.6	-13.4	38.1	0.4	1 階部	
												-10.2	38.6	0.4		
												-7.0	39.1	0.5		
3	搬出入車両走行音	83.5	1回	1回	17.3	-5.4	39.4	0.6	-5.4	22.1	0.6	-5.4	36.5	0.6	1 階部	
												-5.4	30.8	0.6		
												-5.4	25.0	0.6		
4	搬出入車両走行音	83.5	1回	1回	17.3	-5.4	22.1	0.6	-5.4	4.8	0.6	-5.4	19.2	0.6	1 階部	
												-5.4	13.4	0.6		
												-5.4	7.7	0.6		
5	搬出入車両走行音	83.5	1回	0回	20.0	-15.0	37.8	0.3	-15.0	17.8	0.6	-15.0	34.5	0.4	1 階部	
												-15.0	27.8	0.4		
												-15.0	21.1	0.5		

※1 自動車走行騒音源の位置及び座標の原点を添付図面2「騒音発生源位置図」に示す。

線分 番号	種 類	騒音レ ベル等 (dB)	騒音発生回数		線分 距離	位 置※1									階
			昼間	夜間		始点座標 (m)			終点座標 (m)			離散音源点座標 (m)			
						X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z	
6	搬出入車両 走行音	83.5	2回	1回	19.5	-15.0	37.8	0.3	-34.2	34.5	0.4	-18.2	37.2	0.3	1 階部
												-24.6	36.2	0.4	
												-31.0	35.0	0.4	
7	搬出入車両 走行音	83.5	2回	1回	7.6	-34.2	34.5	0.4	-34.2	42.1	0.2	-34.2	35.8	0.4	1 階部
												-34.2	38.3	0.3	
												-34.2	40.8	0.2	
1	廃棄物収集車両 走行音	83.5	3回	0回	7.5	-16.2	45.2	0.1	-15.0	37.8	0.3	-16.0	44.0	0.1	1 階部
												-15.6	41.5	0.2	
												-15.2	39.0	0.3	
2	廃棄物収集車両 走行音	83.5	6回	0回	9.7	-15.0	37.8	0.3	-5.4	39.4	0.6	-13.4	38.1	0.4	1 階部
												-10.2	38.6	0.4	
												-7.0	39.1	0.5	
3	廃棄物収集車両 走行音	83.5	3回	0回	17.3	-5.4	39.4	0.6	-5.4	22.1	0.6	-5.4	36.5	0.6	1 階部
												-5.4	30.8	0.6	
												-5.4	25.0	0.6	
4	廃棄物収集車両 走行音	83.5	3回	0回	17.3	-5.4	22.1	0.6	-5.4	4.8	0.6	-5.4	19.2	0.6	1 階部
												-5.4	13.4	0.6	
												-5.4	7.7	0.6	
6	廃棄物収集車両 走行音	83.5	3回	0回	19.5	-15.0	37.8	0.3	-34.2	34.5	0.4	-18.2	37.2	0.3	1 階部
												-24.6	36.2	0.4	
												-31.0	35.0	0.4	
7	廃棄物収集車両 走行音	83.5	3回	0回	7.6	-34.2	34.5	0.4	-34.2	42.1	0.2	-34.2	35.8	0.4	1 階部
												-34.2	38.3	0.3	
												-34.2	40.8	0.2	

※1 自動車走行騒音源の位置及び座標の原点を添付図面2「騒音発生源位置図」に示す。

凡 例	
① ~ ⑧	室外機 (R階部)
⑨ ~ ⑫	冷凍冷蔵庫屋外機 (R階部)
⑬ ~ ⑯	排気口 (1階部)
⑰	キュービクル (R階部)
⑱, ⑲	搬出入車両後進警報ブザー音
⑳	廃棄物収集車両後進警報ブザー音
㉑, ㉒	廃棄物収集作業音 (圧縮・非圧縮)
㉓	搬出入車両アイドリング音
㉔	台車走行音
㉕	荷下ろし音
㉖, ㉗	搬出入車両荷台扉開閉音
㉘, ㉙	搬出入車両座席扉開閉音
㉚, ㉛	搬出入車両エンジン始動音
① ~ ⑫	来客車両走行音
① ~ ⑦	搬出入車両走行音
① ~ ④	廃棄物収集車両走行音
⑥, ⑦	
A ~ C	等価騒音レベル予測地点 〔 〕内の () は予測地点のGLを基準とした高さ
a ~ c	騒音レベル最大値予測地点 () 内は店舗GLを基準とした高さ



添付図面 2 騒音発生源位置図

S : 1/500

5. 予測項目

- ①「昼間」の等価騒音レベル
- ②「夜間」の等価騒音レベル
- ③発生する騒音ごとの騒音レベル最大値

6. 予測方法

定常騒音、変動騒音及び衝撃騒音の算出方法は、「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き（第2版）」（平成20年10月経済産業省）4-1-2に基づいて行う。

(1) 等価騒音レベルの予測算出式

①自動車走行音の騒音レベルの算出式

$$L_{pA,i} = L_{pA} + \Delta L_{r,i} + \Delta L_{d,i}$$

$L_{pA,i}$: i 番目の区間を通過する自動車による予測地点における騒音レベル (dB)

L_{pA} : 自動車走行音の基準距離における騒音レベル (dB)

$\Delta L_{r,i}$: i 番目の区間を通過する自動車に対する距離減衰に関する補正量 (dB)

$\Delta L_{d,i}$: i 番目の区間を通過する自動車に対する回折効果に関する補正量 (dB)

②自動車走行音の単発騒音暴露レベルの算出式

$$L_{AE} = 10 \log_{10} (1/T_0 \times \sum 10^{L_{pA,i}/10} \times \Delta t_i)$$

L_{AE} : 単発騒音暴露レベル (dB)

T_0 : 基準時間 (1 s)

$L_{pA,i}$: i 番目の区間を通過する自動車による予測地点における騒音レベル (dB)

Δt_i : 自動車が i 番目の区間を通過する時間 (s)

③自動車走行音の等価騒音レベルの算出式

$$L_{Aeq,T,vehicle} = L_{AE} + 10 \log_{10} (N_T/T)$$

$L_{Aeq,T,vehicle}$: 自動車走行音の等価騒音レベル (dB)

L_{AE} : 単発騒音暴露レベル (ユニットパターンのエネルギー積分値) (dB)

T : 対象とする基準時間帯の時間 (s) (昼間は 57,600s、夜間 28,800s)

N_T : 時間範囲 T (s) の間の交通量 (台)

当該店舗における来客車両走行音の設定は、「大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に関する指針（以下、指針という。）」にある必要駐車台数算定式から求められた日来店台数 567 台を全て「昼間」の発生回数とし、「夜間」についてはピーク時来店台数に相当する台数とした（表 4-5 参照）。

これら来店台数の全てが駐車場の外周部分を走行するものと仮定した。

荷さばき作業及び廃棄物回収時に発生する業務用車両については、搬出入計画台数及び収集予定台数を発生回数とした。

表 4-5 日来店台数

事 項 等	各事項算出のための計算式等
地 区 の 区 分	その他地区 ← (理由：無指定地域)
S : 店舗面積	1.338 千 m^2
A : 日来店客数原単位	1,059.86 人/千 m^2 ← 人口 40 万人未満・1,100-30S (S<5)
C : 自動車分担率	80% ← 人口 10 万人未満
D : 平均乗車人員	2.0 人/台 ← 店舗面積 10 千 m^2 未満
日来店台数	567台 ← $S \times A \times C \div D$
夜間出庫台数	82台 ← $S \times A \times C \div D \times 14.4\%$

④定常騒音の騒音レベルの算出式

$$L_{pA,i} = L_{pA,i}(r_0) + \Delta L_{r,i} + \Delta L_{d,i}$$

$L_{pA,i}$: i 番目の騒音源による予測地点における騒音レベル(dB)

$L_{pA,i}(r_0)$: i 番目の騒音源による基準距離における騒音レベル(dB)

$\Delta L_{r,i}$: i 番目の騒音源に対する距離減衰に関する補正量(dB)

$\Delta L_{d,i}$: i 番目の騒音源に対する回折効果に関する補正量(dB)

⑤定常騒音の等価騒音レベルの算出式

$$L_{Aeq,T,a} = 10 \log_{10} (1/T \times \sum 10^{L_{pA,i}/10} \times T_i)$$

$L_{Aeq,T,a}$: 定常騒音の等価騒音レベル(dB)

$L_{pA,i}$: i 番目の定常騒音源による予測地点における騒音レベル(dB)

T : 対象とする基準時間帯の時間(s) (昼間は 57,600s、夜間 28,800s)

T_i : 対象とする時間区分における i 番目の定常騒音の継続時間(s)

⑥変動騒音（自動車走行音除く）の騒音レベルの算出式

$$\overline{L_{pA,i}} = \overline{L_{pA,i}}(r_0) + \Delta L_{r,i} + \Delta L_{d,i}$$

$\overline{L_{pA,i}}$: i 番目の騒音源による予測地点における騒音のエネルギー的な時間平均値(dB)

$\overline{L_{pA,i}}(r_0)$: i 番目の騒音源による基準距離における騒音のエネルギー的な時間平均値(dB)

$\Delta L_{r,i}$: i 番目の騒音源に対する距離減衰に関する補正量(dB)

$\Delta L_{d,i}$: i 番目の騒音源に対する回折効果に関する補正量(dB)

⑦変動騒音（自動車走行音除く）の等価騒音レベルの算出式

$$L_{Aeq,T,b} = 10 \log_{10} (1/T \times \sum 10^{\overline{L_{pA,i}}/10} \times T_i)$$

$L_{Aeq,T,b}$: 変動騒音の等価騒音レベル(dB)

$\overline{L_{pA,i}}$: i 番目の変動騒音源による予測地点における騒音のエネルギー的な時間平均値(dB)

T : 対象とする基準時間帯の時間(s) (昼間は 57,600s、夜間 28,800s)

T_i : 対象とする時間区分における i 番目の変動騒音の継続時間(s)

⑧衝撃騒音の単発騒音暴露レベルの算出式

$$L_{AE,i} = L_{AE,i}(r_0) + \Delta L_{r,i} + \Delta L_{d,i}$$

$L_{AE,i}$: i 番目の騒音源による予測地点における単発騒音暴露レベル(dB)

$L_{AE,i}(r_0)$: i 番目の騒音源による基準距離における単発騒音暴露レベル(dB)

$\Delta L_{r,i}$: i 番目の騒音源に対する距離減衰に関する補正量(dB)

$\Delta L_{d,i}$: i 番目の騒音源に対する回折効果に関する補正量(dB)

⑨衝撃騒音の等価騒音レベルの算出式

$$L_{Aeq,T,c} = 10 \log_{10} (T_0/T \times \sum 10^{L_{AE,i}/10} \times N_i)$$

$L_{Aeq,T,c}$: 衝撃騒音の等価騒音レベル(dB)

$L_{AE,i}$: i 番目の衝撃騒音源からの騒音の単発騒音暴露レベル(dB)

T : 対象とする基準時間帯の時間(s) (昼間は 57,600s、夜間 28,800s)

T_0 : 基準時間(1s)

N_i : 対象とする基準時間帯において発生する i 番目の衝撃騒音の発生回数(回)

⑩予測地点における等価騒音レベルの算出式

$$L_{Aeq,T} = 10 \log_{10} (10^{L_{Aeq,T,a}/10} + 10^{L_{Aeq,T,b}/10} + 10^{L_{Aeq,T,c}/10} + 10^{L_{Aeq,T,vehicle}/10})$$

$L_{Aeq,T,a}$: 定常騒音の等価騒音レベル(dB)

$L_{Aeq,T,b}$: 変動騒音の等価騒音レベル(dB)

$L_{Aeq,T,c}$: 衝撃騒音の等価騒音レベル(dB)

$L_{Aeq,T,vehicle}$: 自動車走行音の等価騒音レベル(dB)

(2) 騒音レベル最大値の予測算出式

①定常騒音の騒音レベルの算出式

$$L_{pA,i} = L_{pA,i}(r_0) + \Delta L_{r,i} + \Delta L_{d,i}$$

$L_{pA,i}$: i 番目の騒音源による予測地点における騒音レベル (dB)

$L_{pA,i}(r_0)$: i 番目の騒音源による基準距離における騒音レベル (dB)

$\Delta L_{r,i}$: i 番目の騒音源に対する距離減衰に関する補正量 (dB)

$\Delta L_{d,i}$: i 番目の騒音源に対する回折効果に関する補正量 (dB)

②衝撃騒音及び自動車走行音の騒音レベル最大値の算出式

$$L_{Amax,i} = L_{Amax,i}(r_0) + \Delta L_{r,i} + \Delta L_{d,i}$$

$L_{Amax,i}$: i 番目の騒音源による予測地点における騒音レベル最大値 (dB)

$L_{Amax,i}(r_0)$: i 番目の騒音源による基準距離における騒音レベル最大値 (dB)

$\Delta L_{r,i}$: i 番目の騒音源に対する距離減衰に関する補正量 (dB)

$\Delta L_{d,i}$: i 番目の騒音源に対する回折効果に関する補正量 (dB)

③予測地点における騒音レベル最大値の算出式

$$L_{Amax} = 10 \log_{10} (\sum 10^{L_{pA,i}/10} + \sum 10^{L_{Amax,i}/10})$$

L_{Amax} : 予測地点における騒音レベル最大値 (dB)

$L_{pA,i}$: i 番目の騒音源による予測地点における騒音レベル (dB)

$L_{Amax,i}$: i 番目の騒音源による予測地点における騒音レベル最大値 (dB)

(3) 距離減衰に関する補正量の算出式

$$\Delta L_r = -20 \log_{10} (r / r_0)$$

ΔL_r : 距離減衰に関する補正量 (dB)

r_0 : 基準距離 (1 m)

r : 予測地点までの距離 (m)

(4) 回折効果に関する補正量の算出式

①回折効果 (無限長障壁) に関する補正量の算出式 (自動車走行音を除く)

$$\delta = A + B - d$$

A : 音源から壁の頂点までの距離 (m)

B : 壁の頂点から予測地点までの距離 (m)

d : 音源から予測地点までの直線距離 (m)

δ : 行路差 (m)

$$N = \delta f / 170$$

N : フレネル数

δ : 行路差 (m)

f : 周波数 (Hz)

$$\Delta L_d = \begin{cases} -10 \log_{10} N - 13 & 1 \leq N \\ -5 + 9.1 \sinh^{-1} (|N|^{0.485}) & -0.322 \leq N < 1 \\ -5 - 9.1 \sinh^{-1} (|N|^{0.485}) & 0 \leq N < 1 \\ 0 & N < -0.322 \end{cases}$$

ΔL_d : 回折効果に関する補正量 (dB)

※ 壁で得られる回折減衰量は 25dB を限度とする (公害防止の技術と法規 騒音編 p. 95)

②自動車走行音の回折効果（無限長障壁）に関する補正量の算出式

$$\delta = A + B - d$$

A：音源から壁の頂点までの距離（m）

B：壁の頂点から予測地点までの距離（m）

d：音源から予測地点までの直線距離（m）

δ ：行路差（m）

$$\Delta L_d = \begin{cases} -10 \log_{10} \delta - 20 & 1 \leq \delta \\ -5 + 17 \sinh^{-1} (|\delta|^{0.414}) & -0.053 \leq \delta < 1 \\ -5 - 17 \sinh^{-1} (|\delta|^{0.414}) & 0 \leq \delta < 1 \\ 0 & \delta < -0.053 \end{cases}$$

ΔL_d ：回折効果に関する補正量（dB）

※ 壁で得られる回折減衰量は 25dB を限度とする（公害防止の技術と法規 騒音編 p. 95）

第5章 予測結果

1. 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベル予測結果

選定した予測地点は、都市計画法用途地域の無指定地域であり、騒音の評価基準である「騒音に係る環境基準（平成10年9月30日環境庁告示第64号）」における地域の類型はC類型、環境基準値は「昼間」60dB及び「夜間」50dBと定められている。

予測の結果、「昼間」及び「夜間」の等価騒音レベルは下表に示すとおり全ての地点で基準値を満足するものであり、出店計画に伴い店舗から発生する騒音が周辺地域へ与える影響は少ないものと推察された（表5-1参照）。

予測結果の内訳を表5-2～表5-4. 3（p-16～p-24）に示す。

表5-1 等価騒音レベル予測結果

時間区分		予測地点	高さ	用途地域	地域の類型	予測値 (dB)	基準値 (dB)
昼間	6:00	A	4.5m	無指定地域	C	40.0	60
	～	B	1.5m	無指定地域	C	46.2	
	22:00	C	1.5m	無指定地域	C	44.5	
夜間	22:00	A	4.5m	無指定地域	C	29.5	50
	～	B	1.5m	無指定地域	C	36.0	
	翌6:00	C	1.5m	無指定地域	C	34.8	

表5-2 A地点における等価騒音レベルの予測結果

騒音発生源				基準距離における騒音レベル(dB)	予測地点までの距離(m)	距離減衰量(dB)	回折減衰量(dB)	予測地点における騒音レベル(dB)	騒音継続時間及び騒音発生回数	等価騒音レベル(dB)	
	番号	機器名称	高さ							昼間	夜間
定常騒音	1	室外機1	6.8	59.9	54.1	34.7	-	25.2	8:30~22:00	24.5	-
	2	室外機2	6.8	59.9	54.9	34.8	-	25.1	8:30~22:00	24.4	-
	3	室外機3	6.8	63.1	56.2	35.0	-	28.1	8:30~22:00	27.4	-
	4	室外機4	6.8	63.1	57.0	35.1	-	28.0	8:30~22:00	27.3	-
	5	室外機5	6.8	63.1	53.0	34.5	-	28.6	8:30~22:00	27.9	-
	6	室外機6	6.5	58.0	53.8	34.6	-	23.4	8:30~22:00	22.7	-
	7	室外機7	6.8	63.1	55.1	34.8	-	28.3	8:30~22:00	27.6	-
	8	室外機8	6.5	58.0	55.9	34.9	-	23.1	8:30~22:00	22.4	-
	9	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.6	49.9	50.1	34.0	-	15.9	終日	15.9	15.9
	10	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.6	49.9	48.8	33.8	-	16.1	終日	16.1	16.1
	11	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.6	57.5	51.1	34.2	-	23.3	終日	23.3	23.3
	12	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.6	57.5	49.8	33.9	-	23.6	終日	23.6	23.6
	13	排気口1	4.0	45.0	29.3	29.3	-	15.7	8:30~22:00	15.0	-
	14	排気口2	4.0	45.0	30.2	29.6	-	15.4	8:30~22:00	14.7	-
	15	排気口3	4.0	45.0	31.3	29.9	-	15.1	8:30~22:00	14.4	-
	16	排気口4	4.0	45.0	32.4	30.2	-	14.8	8:30~22:00	14.1	-
	17	キュービクル	7.5	51.1	46.5	33.3	-	17.8	終日	17.8	17.8
		定常騒音の等価騒音レベル								35.9	27.7
変動騒音	18	搬出入車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	71.1	37.0	-	53.0	昼1台×16秒	17.4	-
	19	搬出入車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	78.8	37.9	-	52.1	昼1台×19秒	17.3	-
	20	廃棄物収集車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	71.1	37.0	-	53.0	昼3台×16秒	22.2	-
	21	廃棄物収集作業音(圧縮)	0.6	90.0	69.2	36.8	-	53.2	昼3台×300秒	35.1	-
	22	廃棄物収集作業音(非圧縮)	0.6	85.0	69.2	36.8	-	48.2	昼3台×90秒	24.9	-
	23	搬出入車両アイドリング音	0.6	78.6	69.2	36.8	-	41.8	昼1台×1200秒	25.0	-
		変動騒音の等価騒音レベル								36.2	-
衝撃騒音	24	台車走行音	0.0	71.0	61.0	35.7	-	35.3	昼2台×6秒×6回夜1台×6秒×6回	6.3	6.3
	25	荷下ろし音	0.6	73.2	61.0	35.7	-	37.5	昼2台×10回夜1台×10回	2.9	2.9
	26	搬出入車両荷台扉開音	1.5	74.9	60.9	35.7	-	39.2	昼2台×1回夜1台×1回	-5.4	-5.4
	27	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	77.2	60.9	35.7	-	41.5	昼2台×1回夜1台×1回	-3.1	-3.1
	28	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	77.8	69.1	36.8	-	41.0	昼1台×2回夜1台×2回	-3.6	-0.6
	29	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	77.8	71.9	37.1	-	40.7	昼1台×2回	-3.9	-
	30	搬出入車両エンジン始動音	0.6	79.4	69.2	36.8	-	42.6	昼1台×1回夜1台×1回	-5.0	-2.0
	31	搬出入車両エンジン始動音	0.6	79.4	71.9	37.1	-	42.3	昼1台×1回	-5.3	-
		衝撃騒音の等価騒音レベル								9.3	9.3
	※	来客車両走行音	-	74.0	-	-	-	-	昼567台×1~2回夜82台×1回	32.6	24.1
	※	搬出入車両走行音	-	83.5	-	-	-	-	昼2台×1~2回夜1台×1~2回	15.2	16.0
	※	廃棄物収集車両走行音	-	83.5	-	-	-	-	昼3台×1~2回	17.8	-
		自動車走行騒音の等価騒音レベル								32.8	24.7
		等価騒音レベル								40.0	29.5
		基準値								60	50

※ 自動車走行音(来客車両、搬出入車両、廃棄物収集車両)の計算の詳細を表5-2. 1~表5-2. 3に示す。

表5-2. 1 A地点における来客車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	Δt(s)	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
									昼間	夜間	昼間	夜間
1	1	74.0	79.0	38.0	—	36.0	0.45	37.4	567	0	17.3	—
	2	74.0	78.9	37.9	—	36.1	0.45					
	3	74.0	78.8	37.9	—	36.1	0.45					
2	1	74.0	77.2	37.8	—	36.2	0.58	39.0	1134	82	21.9	13.5
	2	74.0	73.9	37.4	—	36.6	0.58					
	3	74.0	70.7	37.0	—	37.0	0.58					
3	1	74.0	69.6	36.9	—	37.1	1.04	41.9	1134	82	24.8	16.4
	2	74.0	71.0	37.0	—	37.0	1.04					
	3	74.0	72.9	37.3	—	36.7	1.04					
4	1	74.0	75.1	37.5	—	36.5	1.04	41.1	1134	82	24.0	15.6
	2	74.0	77.8	37.8	—	36.2	1.04					
	3	74.0	80.7	38.1	—	35.9	1.04					
5	1	74.0	82.9	38.4	—	35.6	0.74	38.9	1134	82	21.8	13.4
	2	74.0	84.3	38.5	—	35.5	0.74					
	3	74.0	85.8	38.7	—	35.3	0.74					
6	1	74.0	84.1	38.5	—	35.5	0.78	38.8	1134	82	21.7	13.3
	2	74.0	87.7	38.9	—	35.1	0.78					
	3	74.0	91.4	39.2	—	34.8	0.78					
7	1	74.0	94.3	39.5	—	34.5	0.71	37.6	1134	82	20.5	12.1
	2	74.0	96.3	39.7	—	34.3	0.71					
	3	74.0	98.5	39.9	—	34.1	0.71					
8	1	74.0	93.4	39.4	—	34.6	0.44	35.8	1134	82	18.7	10.3
	2	74.0	93.8	39.4	—	34.6	0.44					
	3	74.0	94.2	39.5	—	34.5	0.44					
9	1	74.0	96.1	39.7	—	34.3	0.68	37.1	1134	82	20.0	11.6
	2	74.0	99.6	40.0	—	34.0	0.68					
	3	74.0	103.1	40.3	—	33.7	0.68					
10	1	74.0	103.4	40.3	—	33.7	1.42	40.2	1134	82	23.1	14.7
	2	74.0	100.9	40.1	—	33.9	1.42					
	3	74.0	99.0	39.9	—	34.1	1.42					
11	1	74.0	82.1	38.3	—	35.7	1.17	40.6	1134	82	23.5	15.1
	2	74.0	88.5	38.9	—	35.1	1.17					
	3	74.0	95.0	39.6	—	34.4	1.17					
12	1	74.0	98.1	39.8	—	34.2	0.46	35.6	567	82	15.5	10.1
	2	74.0	97.7	39.8	—	34.2	0.46					
	3	74.0	97.4	39.8	—	34.2	0.46					
来客車両走行音の等価騒音レベル											32.6	24.1

表5-2. 2 A地点における搬出入車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	Δt(s)	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
									昼間	夜間	昼間	夜間
1	1	83.5	79.0	38.0	—	45.5	0.90	49.9	2	1	5.3	5.3
	2	83.5	78.9	37.9	—	45.6	0.90					
	3	83.5	78.8	37.9	—	45.6	0.90					
2	1	83.5	77.2	37.8	—	45.7	1.16	51.5	3	2	8.7	9.9
	2	83.5	73.9	37.4	—	46.1	1.16					
	3	83.5	70.7	37.0	—	46.5	1.16					
3	1	83.5	69.6	36.9	—	46.6	2.08	54.4	1	1	6.8	9.8
	2	83.5	71.0	37.0	—	46.5	2.08					
	3	83.5	72.9	37.3	—	46.2	2.08					
4	1	83.5	75.1	37.5	—	46.0	2.08	53.7	1	1	6.1	9.1
	2	83.5	77.8	37.8	—	45.7	2.08					
	3	83.5	80.7	38.1	—	45.4	2.08					
5	1	83.5	79.4	38.0	—	45.5	2.40	53.9	1	0	6.3	—
	2	83.5	81.1	38.2	—	45.3	2.40					
	3	83.5	83.2	38.4	—	45.1	2.40					
6	1	83.5	82.1	38.3	—	45.2	2.34	53.1	2	1	8.5	8.5
	2	83.5	88.5	38.9	—	44.6	2.34					
	3	83.5	95.0	39.6	—	43.9	2.34					
7	1	83.5	98.1	39.8	—	43.7	0.91	48.1	2	1	3.5	3.5
	2	83.5	97.7	39.8	—	43.7	0.91					
	3	83.5	97.4	39.8	—	43.7	0.91					
搬出入車両走行音の等価騒音レベル											15.2	16.0

表5-2. 3 A地点における廃棄物収集車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	$\Delta t(s)$	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
									昼間	夜間	昼間	夜間
1	1	83.5	79.0	38.0	—	45.5	0.90	49.9	3	0	7.1	—
	2	83.5	78.9	37.9	—	45.6	0.90					
	3	83.5	78.8	37.9	—	45.6	0.90					
2	1	83.5	77.2	37.8	—	45.7	1.16	51.5	6	0	11.7	—
	2	83.5	73.9	37.4	—	46.1	1.16					
	3	83.5	70.7	37.0	—	46.5	1.16					
3	1	83.5	69.6	36.9	—	46.6	2.08	54.4	3	0	11.6	—
	2	83.5	71.0	37.0	—	46.5	2.08					
	3	83.5	72.9	37.3	—	46.2	2.08					
4	1	83.5	75.1	37.5	—	46.0	2.08	53.7	3	0	10.9	—
	2	83.5	77.8	37.8	—	45.7	2.08					
	3	83.5	80.7	38.1	—	45.4	2.08					
6	1	83.5	82.1	38.3	—	45.2	2.34	53.1	3	0	10.3	—
	2	83.5	88.5	38.9	—	44.6	2.34					
	3	83.5	95.0	39.6	—	43.9	2.34					
7	1	83.5	98.1	39.8	—	43.7	0.91	48.1	3	0	5.3	—
	2	83.5	97.7	39.8	—	43.7	0.91					
	3	83.5	97.4	39.8	—	43.7	0.91					
廃棄物収集車両走行音の等価騒音レベル											17.8	—

※ 敷地内走行速度は来客車両20km/h、搬出入車両・廃棄物収集車両10km/hとする。

※ $\Delta t(s)$ は、自動車線分を通過するまでにかかる時間を示す。

表5-3 B地点における等価騒音レベルの予測結果

騒音発生源				基準距離における騒音レベル(dB)	予測地点までの距離(m)	距離減衰量(dB)	回折減衰量(dB)	予測地点における騒音レベル(dB)	騒音継続時間及び騒音発生回数	等価騒音レベル(dB)	
	番号	機器名称	高さ							昼間	夜間
定常騒音	1	室外機1	6.8	59.9	28.3	29.0	-	30.9	8:30~22:00	30.2	-
	2	室外機2	6.8	59.9	27.2	28.7	-	31.2	8:30~22:00	30.5	-
	3	室外機3	6.8	63.1	25.4	28.1	-	35.0	8:30~22:00	34.3	-
	4	室外機4	6.8	63.1	24.3	27.7	-	35.4	8:30~22:00	34.7	-
	5	室外機5	6.8	63.1	29.0	29.2	-	33.9	8:30~22:00	33.2	-
	6	室外機6	6.5	58.0	27.8	28.9	-	29.1	8:30~22:00	28.4	-
	7	室外機7	6.8	63.1	26.2	28.4	-	34.7	8:30~22:00	34.0	-
	8	室外機8	6.5	58.0	25.0	28.0	-	30.0	8:30~22:00	29.3	-
	9	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.6	49.9	35.4	31.0	-	18.9	終日	18.9	18.9
	10	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.6	49.9	35.9	31.1	-	18.8	終日	18.8	18.8
	11	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.6	57.5	33.5	30.5	-	27.0	終日	27.0	27.0
	12	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.6	57.5	34.1	30.7	-	26.8	終日	26.8	26.8
	13	排気口1	4.0	45.0	53.0	34.5	-	10.5	8:30~22:00	9.8	-
	14	排気口2	4.0	45.0	51.4	34.2	-	10.8	8:30~22:00	10.1	-
	15	排気口3	4.0	45.0	49.7	33.9	-	11.1	8:30~22:00	10.4	-
	16	排気口4	4.0	45.0	48.2	33.7	-	11.3	8:30~22:00	10.6	-
	17	キュービクル	7.5	51.1	41.5	32.4	-	18.7	終日	18.7	18.7
		定常騒音の等価騒音レベル								41.8	30.8
変動騒音	18	搬出入車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	40.0	32.0	-	58.0	昼1台×16秒	22.4	-
	19	搬出入車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	50.2	34.0	-	56.0	昼1台×19秒	21.2	-
	20	廃棄物収集車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	40.0	32.0	-	58.0	昼3台×16秒	27.2	-
	21	廃棄物収集作業音(圧縮)	0.6	90.0	48.2	33.7	-	56.3	昼3台×300秒	38.2	-
	22	廃棄物収集作業音(非圧縮)	0.6	85.0	48.2	33.7	-	51.3	昼3台×90秒	28.0	-
	23	搬出入車両アイドリング音	0.6	78.6	48.2	33.7	-	44.9	昼1台×1200秒	28.1	-
		変動騒音の等価騒音レベル								39.4	-
衝撃騒音	24	台車走行音	0.0	71.0	50.2	34.0	-	37.0	昼2台×6秒×6回夜1台×6秒×6回	8.0	8.0
	25	荷下ろし音	0.6	73.2	50.2	34.0	-	39.2	昼2台×10回夜1台×10回	4.6	4.6
	26	搬出入車両荷台扉開音	1.5	74.9	50.2	34.0	-	40.9	昼2台×1回夜1台×1回	-3.7	-3.7
	27	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	77.2	50.2	34.0	-	43.2	昼2台×1回夜1台×1回	-1.4	-1.4
	28	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	77.8	48.2	33.7	-	44.1	昼1台×2回夜1台×2回	-0.5	2.5
	29	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	77.8	45.9	33.2	-	44.6	昼1台×2回	0.0	-
	30	搬出入車両エンジン始動音	0.6	79.4	48.2	33.7	-	45.7	昼1台×1回夜1台×1回	-1.9	1.1
	31	搬出入車両エンジン始動音	0.6	79.4	45.9	33.2	-	46.2	昼1台×1回	-1.4	-
		衝撃騒音の等価騒音レベル								11.3	11.3
	※	来客車両走行音	-	74.0	-	-	-	-	昼567台×1~2回夜82台×1回	42.5	34.1
	※	搬出入車両走行音	-	83.5	-	-	-	-	昼2台×1~2回夜1台×1~2回	21.0	22.4
	※	廃棄物収集車両走行音	-	83.5	-	-	-	-	昼3台×1~2回	24.2	-
		自動車走行騒音の等価騒音レベル								42.6	34.4
		等価騒音レベル								46.2	36.0
		基準値								60	50

※ 自動車走行音(来客車両、搬出入車両、廃棄物収集車両)の計算の詳細を表5-3. 1~表5-3. 3に示す。

表5-3. 1 B地点における来客車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	Δt(s)	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
									昼間	夜間	昼間	夜間
1	1	74.0	56.3	35.0	—	39.0	0.45	40.7	567	0	20.6	—
	2	74.0	53.8	34.6	—	39.4	0.45					
	3	74.0	51.4	34.2	—	39.8	0.45					
2	1	74.0	49.8	33.9	—	40.1	0.58	42.6	1134	82	25.5	17.1
	2	74.0	49.0	33.8	—	40.2	0.58					
	3	74.0	48.4	33.7	—	40.3	0.58					
3	1	74.0	45.4	33.1	—	40.9	1.04	47.1	1134	82	30.0	21.6
	2	74.0	40.0	32.0	—	42.0	1.04					
	3	74.0	34.6	30.8	—	43.2	1.04					
4	1	74.0	29.3	29.3	—	44.7	1.04	51.5	1134	82	34.4	26.0
	2	74.0	24.3	27.7	—	46.3	1.04					
	3	74.0	19.7	25.9	—	48.1	1.04					
5	1	74.0	15.9	24.0	—	50.0	0.74	55.6	1134	82	38.5	30.1
	2	74.0	12.8	22.1	—	51.9	0.74					
	3	74.0	10.3	20.3	—	53.7	0.74					
6	1	74.0	19.3	25.7	—	48.3	0.78	50.7	1134	82	33.6	25.2
	2	74.0	22.9	27.2	—	46.8	0.78					
	3	74.0	26.7	28.5	—	45.5	0.78					
7	1	74.0	27.9	28.9	—	45.1	0.71	48.7	1134	82	31.6	23.2
	2	74.0	26.8	28.6	—	45.4	0.71					
	3	74.0	26.2	28.4	—	45.6	0.71					
8	1	74.0	29.7	29.5	—	44.5	0.44	45.1	1134	82	28.0	19.6
	2	74.0	31.9	30.1	—	43.9	0.44					
	3	74.0	34.2	30.7	—	43.3	0.44					
9	1	74.0	37.0	31.4	—	42.6	0.68	45.0	1134	82	27.9	19.5
	2	74.0	40.3	32.1	—	41.9	0.68					
	3	74.0	43.8	32.8	—	41.2	0.68					
10	1	74.0	47.2	33.5	—	40.5	1.42	46.1	1134	82	29.0	20.6
	2	74.0	51.3	34.2	—	39.8	1.42					
	3	74.0	56.3	35.0	—	39.0	1.42					
11	1	74.0	51.2	34.2	—	39.8	1.17	44.8	1134	82	27.7	19.3
	2	74.0	54.0	34.6	—	39.4	1.17					
	3	74.0	57.1	35.1	—	38.9	1.17					
12	1	74.0	59.9	35.5	—	38.5	0.46	39.6	567	82	19.5	14.1
	2	74.0	61.7	35.8	—	38.2	0.46					
	3	74.0	63.6	36.1	—	37.9	0.46					
来客車両走行音の等価騒音レベル											42.5	34.1

表5-3. 2 B地点における搬出入車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	Δt(s)	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
									昼間	夜間	昼間	夜間
1	1	83.5	56.3	35.0	—	48.5	0.90	53.2	2	1	8.6	8.6
	2	83.5	53.8	34.6	—	48.9	0.90					
	3	83.5	51.4	34.2	—	49.3	0.90					
2	1	83.5	49.8	33.9	—	49.6	1.16	55.1	3	2	12.3	13.5
	2	83.5	49.0	33.8	—	49.7	1.16					
	3	83.5	48.4	33.7	—	49.8	1.16					
3	1	83.5	45.4	33.1	—	50.4	2.08	59.6	1	1	12.0	15.0
	2	83.5	40.0	32.0	—	51.5	2.08					
	3	83.5	34.6	30.8	—	52.7	2.08					
4	1	83.5	29.3	29.3	—	54.2	2.08	64.0	1	1	16.4	19.4
	2	83.5	24.3	27.7	—	55.8	2.08					
	3	83.5	19.7	25.9	—	57.6	2.08					
5	1	83.5	47.3	33.5	—	50.0	2.40	59.8	1	0	12.2	—
	2	83.5	41.6	32.4	—	51.1	2.40					
	3	83.5	36.1	31.2	—	52.3	2.40					
6	1	83.5	51.2	34.2	—	49.3	2.34	57.3	2	1	12.7	12.7
	2	83.5	54.0	34.6	—	48.9	2.34					
	3	83.5	57.1	35.1	—	48.4	2.34					
7	1	83.5	59.9	35.5	—	48.0	0.91	52.1	2	1	7.5	7.5
	2	83.5	61.7	35.8	—	47.7	0.91					
	3	83.5	63.6	36.1	—	47.4	0.91					
搬出入車両走行音の等価騒音レベル											21.0	22.4

表5-3. 3 B地点における廃棄物収集車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	$\Delta t(s)$	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
									昼間	夜間	昼間	夜間
1	1	83.5	56.3	35.0	—	48.5	0.90	53.2	3	0	10.4	—
	2	83.5	53.8	34.6	—	48.9	0.90					
	3	83.5	51.4	34.2	—	49.3	0.90					
2	1	83.5	49.8	33.9	—	49.6	1.16	55.1	6	0	15.3	—
	2	83.5	49.0	33.8	—	49.7	1.16					
	3	83.5	48.4	33.7	—	49.8	1.16					
3	1	83.5	45.4	33.1	—	50.4	2.08	59.6	3	0	16.8	—
	2	83.5	40.0	32.0	—	51.5	2.08					
	3	83.5	34.6	30.8	—	52.7	2.08					
4	1	83.5	29.3	29.3	—	54.2	2.08	64.0	3	0	21.2	—
	2	83.5	24.3	27.7	—	55.8	2.08					
	3	83.5	19.7	25.9	—	57.6	2.08					
6	1	83.5	51.2	34.2	—	49.3	2.34	57.3	3	0	14.5	—
	2	83.5	54.0	34.6	—	48.9	2.34					
	3	83.5	57.1	35.1	—	48.4	2.34					
7	1	83.5	59.9	35.5	—	48.0	0.91	52.1	3	0	9.3	—
	2	83.5	61.7	35.8	—	47.7	0.91					
	3	83.5	63.6	36.1	—	47.4	0.91					
廃棄物収集車両走行音の等価騒音レベル											24.2	—

※ 敷地内走行速度は来客車両20km/h、搬出入車両・廃棄物収集車両10km/hとする。

※ $\Delta t(s)$ は、自動車が線分を通過するまでにかかる時間を示す。

表5-4 C地点における等価騒音レベルの予測結果

騒音発生源				基準距離における騒音レベル(dB)	予測地点までの距離(m)	距離減衰量(dB)	回折減衰量(dB)	予測地点における騒音レベル(dB)	騒音継続時間及び騒音発生回数	等価騒音レベル(dB)	
番号	機器名称	高さ								昼間	夜間
定常騒音	1 室外機1	6.8	59.9	68.0	36.7	-	-	23.2	8:30~22:00	22.5	-
	2 室外機2	6.8	59.9	67.9	36.6	-	-	23.3	8:30~22:00	22.6	-
	3 室外機3	6.8	63.1	67.8	36.6	-	-	26.5	8:30~22:00	25.8	-
	4 室外機4	6.8	63.1	67.8	36.6	-	-	26.5	8:30~22:00	25.8	-
	5 室外機5	6.8	63.1	69.5	36.8	-	-	26.3	8:30~22:00	25.6	-
	6 室外機6	6.5	58.0	69.4	36.8	-	-	21.2	8:30~22:00	20.5	-
	7 室外機7	6.8	63.1	69.3	36.8	-	-	26.3	8:30~22:00	25.6	-
	8 室外機8	6.5	58.0	69.3	36.8	-	-	21.2	8:30~22:00	20.5	-
	9 冷凍冷蔵庫屋外機1	7.6	49.9	69.0	36.8	-	-	13.1	終日	13.1	13.1
	10 冷凍冷蔵庫屋外機2	7.6	49.9	70.4	37.0	-	-	12.9	終日	12.9	12.9
	11 冷凍冷蔵庫屋外機3	7.6	57.5	68.6	36.7	-	-	20.8	終日	20.8	20.8
	12 冷凍冷蔵庫屋外機4	7.6	57.5	70.1	36.9	-	-	20.6	終日	20.6	20.6
	13 排気口1	4.0	45.0	88.2	38.9	-	-	6.1	8:30~22:00	5.4	-
	14 排気口2	4.0	45.0	87.7	38.9	-	-	6.1	8:30~22:00	5.4	-
	15 排気口3	4.0	45.0	87.2	38.8	-	-	6.2	8:30~22:00	5.5	-
	16 排気口4	4.0	45.0	86.8	38.8	-	-	6.2	8:30~22:00	5.5	-
	17 キュービクル	7.5	51.1	71.1	37.0	-	-	14.1	終日	14.1	14.1
	定常騒音の等価騒音レベル									33.8	24.8
変動騒音	18 搬出入車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	46.1	33.3	-	-	56.7	昼1台×16秒	21.1	-
	19 搬出入車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	41.3	32.3	-	-	57.7	昼1台×19秒	22.9	-
	20 廃棄物収集車両後進警報ブザー音	0.6	90.0	46.1	33.3	-	-	56.7	昼3台×16秒	25.9	-
	21 廃棄物収集作業音(圧縮)	0.6	90.0	50.1	34.0	-	-	56.0	昼3台×300秒	37.9	-
	22 廃棄物収集作業音(非圧縮)	0.6	85.0	50.1	34.0	-	-	51.0	昼3台×90秒	27.7	-
	23 搬出入車両アイドリング音	0.6	78.6	50.1	34.0	-	-	44.6	昼1台×1200秒	27.8	-
	変動騒音の等価騒音レベル									39.1	-
衝撃騒音	24 台車走行音	0.0	71.0	58.6	35.4	-	-	35.6	昼2台×6秒×6回夜1台×6秒×6回	6.6	6.6
	25 荷下ろし音	0.6	73.2	58.6	35.4	-	-	37.8	昼2台×10回夜1台×10回	3.2	3.2
	26 搬出入車両荷台扉開音	1.5	74.9	58.6	35.4	-	-	39.5	昼2台×1回夜1台×1回	-5.1	-5.1
	27 搬出入車両荷台扉閉音	1.5	77.2	58.6	35.4	-	-	41.8	昼2台×1回夜1台×1回	-2.8	-2.8
	28 搬出入車両座席扉開閉音	1.5	77.8	50.1	34.0	-	-	43.8	昼1台×2回夜1台×2回	-0.8	2.2
	29 搬出入車両座席扉開閉音	1.5	77.8	46.5	33.3	-	-	44.5	昼1台×2回	-0.1	-
	30 搬出入車両エンジン始動音	0.6	79.4	50.1	34.0	-	-	45.4	昼1台×1回夜1台×1回	-2.2	0.8
	31 搬出入車両エンジン始動音	0.6	79.4	46.5	33.3	-	-	46.1	昼1台×1回	-1.5	-
	衝撃騒音の等価騒音レベル									10.3	10.2
	※ 来客車両走行音	-	74.0	-	-	-	-	-	昼567台×1~2回夜82台×1回	42.4	34.1
	※ 搬出入車両走行音	-	83.5	-	-	-	-	-	昼2台×1~2回夜1台×1~2回	21.9	22.2
	※ 廃棄物収集車両走行音	-	83.5	-	-	-	-	-	昼3台×1~2回	24.0	-
	自動車走行騒音の等価騒音レベル									42.5	34.4
	等価騒音レベル									44.5	34.8
	基準値									60	50

※ 自動車走行音(来客車両、搬出入車両、廃棄物収集車両)の計算の詳細を表5-4. 1~表5-4. 3に示す。

表5-4. 1 C地点における来客車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	Δt(s)	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
									昼間	夜間	昼間	夜間
1	1	74.0	44.6	33.0	—	41.0	0.45	42.6	567	0	22.5	—
	2	74.0	43.2	32.7	—	41.3	0.45					
	3	74.0	41.9	32.4	—	41.6	0.45					
2	1	74.0	42.8	32.6	—	41.4	0.58	43.3	1134	82	26.2	17.8
	2	74.0	45.7	33.2	—	40.8	0.58					
	3	74.0	48.6	33.7	—	40.3	0.58					
3	1	74.0	48.7	33.8	—	40.2	1.04	45.6	1134	82	28.5	20.1
	2	74.0	46.2	33.3	—	40.7	1.04					
	3	74.0	44.3	32.9	—	41.1	1.04					
4	1	74.0	43.1	32.7	—	41.3	1.04	46.3	1134	82	29.2	20.8
	2	74.0	42.7	32.6	—	41.4	1.04					
	3	74.0	43.0	32.7	—	41.3	1.04					
5	1	74.0	44.5	33.0	—	41.0	0.74	44.1	1134	82	27.0	18.6
	2	74.0	46.7	33.4	—	40.6	0.74					
	3	74.0	49.2	33.8	—	40.2	0.74					
6	1	74.0	41.4	32.3	—	41.7	0.78	46.4	1134	82	29.3	20.9
	2	74.0	37.2	31.4	—	42.6	0.78					
	3	74.0	33.0	30.4	—	43.6	0.78					
7	1	74.0	31.4	29.9	—	44.1	0.71	47.0	1134	82	29.9	21.5
	2	74.0	32.9	30.3	—	43.7	0.71					
	3	74.0	34.8	30.8	—	43.2	0.71					
8	1	74.0	29.9	29.5	—	44.5	0.44	46.3	1134	82	29.2	20.8
	2	74.0	28.0	28.9	—	45.1	0.44					
	3	74.0	26.2	28.4	—	45.6	0.44					
9	1	74.0	23.5	27.4	—	46.6	0.68	51.5	1134	82	34.4	26.0
	2	74.0	19.8	25.9	—	48.1	0.68					
	3	74.0	16.0	24.1	—	49.9	0.68					
10	1	74.0	14.0	22.9	—	51.1	1.42	55.8	1134	82	38.7	30.3
	2	74.0	16.9	24.6	—	49.4	1.42					
	3	74.0	22.4	27.0	—	47.0	1.42					
11	1	74.0	38.4	31.7	—	42.3	1.17	49.3	1134	82	32.2	23.8
	2	74.0	33.0	30.4	—	43.6	1.17					
	3	74.0	27.8	28.9	—	45.1	1.17					
12	1	74.0	26.6	28.5	—	45.5	0.46	46.3	567	82	26.2	20.8
	2	74.0	28.8	29.2	—	44.8	0.46					
	3	74.0	31.0	29.8	—	44.2	0.46					
来客車両走行音の等価騒音レベル											42.4	34.1

表5-4.2 C地点における搬出入車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	Δt(s)	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
									昼間	夜間	昼間	夜間
1	1	83.5	44.6	33.0	—	50.5	0.90	55.1	2	1	10.5	10.5
	2	83.5	43.2	32.7	—	50.8	0.90					
	3	83.5	41.9	32.4	—	51.1	0.90					
2	1	83.5	42.8	32.6	—	50.9	1.16	55.8	3	2	13.0	14.2
	2	83.5	45.7	33.2	—	50.3	1.16					
	3	83.5	48.6	33.7	—	49.8	1.16					
3	1	83.5	48.7	33.8	—	49.7	2.08	58.1	1	1	10.5	13.5
	2	83.5	46.2	33.3	—	50.2	2.08					
	3	83.5	44.3	32.9	—	50.6	2.08					
4	1	83.5	43.1	32.7	—	50.8	2.08	58.8	1	1	11.2	14.2
	2	83.5	42.7	32.6	—	50.9	2.08					
	3	83.5	43.0	32.7	—	50.8	2.08					
5	1	83.5	39.4	31.9	—	51.6	2.40	60.8	1	0	13.2	—
	2	83.5	36.2	31.2	—	52.3	2.40					
	3	83.5	34.1	30.7	—	52.8	2.40					
6	1	83.5	38.4	31.7	—	51.8	2.34	61.8	2	1	17.2	17.2
	2	83.5	33.0	30.4	—	53.1	2.34					
	3	83.5	27.8	28.9	—	54.6	2.34					
7	1	83.5	26.6	28.5	—	55.0	0.91	58.7	2	1	14.1	14.1
	2	83.5	28.8	29.2	—	54.3	0.91					
	3	83.5	31.0	29.8	—	53.7	0.91					
搬出入車両走行音の等価騒音レベル											21.9	22.2

表5-4.3 C地点における廃棄物収集車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	Δt(s)	予測地点に おける単発 騒音暴露レ ベル(dB)	騒音発生回数 (回)		等価騒音レベル (dB)	
									昼間	夜間	昼間	夜間
1	1	83.5	44.6	33.0	—	50.5	0.90	55.1	3	0	12.3	—
	2	83.5	43.2	32.7	—	50.8	0.90					
	3	83.5	41.9	32.4	—	51.1	0.90					
2	1	83.5	42.8	32.6	—	50.9	1.16	55.8	6	0	16.0	—
	2	83.5	45.7	33.2	—	50.3	1.16					
	3	83.5	48.6	33.7	—	49.8	1.16					
3	1	83.5	48.7	33.8	—	49.7	2.08	58.1	3	0	15.3	—
	2	83.5	46.2	33.3	—	50.2	2.08					
	3	83.5	44.3	32.9	—	50.6	2.08					
4	1	83.5	43.1	32.7	—	50.8	2.08	58.8	3	0	16.0	—
	2	83.5	42.7	32.6	—	50.9	2.08					
	3	83.5	43.0	32.7	—	50.8	2.08					
6	1	83.5	38.4	31.7	—	51.8	2.34	61.8	3	0	19.0	—
	2	83.5	33.0	30.4	—	53.1	2.34					
	3	83.5	27.8	28.9	—	54.6	2.34					
7	1	83.5	26.6	28.5	—	55.0	0.91	58.7	3	0	15.9	—
	2	83.5	28.8	29.2	—	54.3	0.91					
	3	83.5	31.0	29.8	—	53.7	0.91					
廃棄物収集車両走行音の等価騒音レベル											24.0	—

※ 敷地内走行速度は来客車両20km/h、搬出入車両・廃棄物収集車両10km/hとする。

※ $\Delta t(s)$ は、自動車が線分を通過するまでにかかる時間を示す。

2. 発生する騒音ごとの騒音レベル最大値予測結果

(1) 大規模小売店舗の敷地境界上

計画地の都市計画法用途地域は無指定地域であり、騒音の評価基準である騒音規制法における区域区分は第3種区域に指定され、規制基準値は50dBと定められている。

夜間に稼働する設備機器からの騒音及び店舗の運営に伴い発生するそれぞれの騒音について、騒音レベル最大値を予測した結果、b及びc地点において自動車走行音騒音の影響により基準値を上回ることが予測された。

予測結果の内訳を表5-5～表5-7. 2 (p-26～p-31) に示す。

基準値を超過する車両走行音は、特定工場等において発生する騒音の規制に関する基準に基づき「騒音計の指示値が不規則かつ大幅に変動する場合」に該当することから、騒音規制法における騒音評価量90%レンジ上端値で見ると、夜間の時間帯(480分)に対して、b地点では約2分間(発生時間率0.5%)、c地点では約6分間(発生時間率1.3%)が基準値を上回ることになるが、規制基準は満足するため、周辺住居等に与える騒音の影響は比較的小さいものと推察される。

開店後、店舗から発生する騒音によって、苦情等が発生した際には、発生源対策を含め誠意を持って対応いたします。

表5-5 a地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)
	番号	機器名称	高さ					
定常騒音	9	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.6	49.9	23.9	27.6	—	22.3
	10	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.6	49.9	22.7	27.1	—	22.8
	11	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.6	57.5	25.1	28.0	—	29.5
	12	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.6	57.5	24.0	27.6	—	29.9
	17	キュービクル	7.5	51.1	20.0	26.0	—	25.1
変動	※	来客車両走行音（線分番号10-3）	0.4	74.0	73.5	37.3	14.1	22.6
	※	搬出入車両走行音（線分番号6-3）	0.4	83.5	69.8	36.9	14.7	31.9
衝撃騒音	24	台車走行音	0.0	77.0	36.7	31.3	25.0	20.7
	25	荷下ろし音	0.6	77.4	36.6	31.3	25.0	21.1
	26	搬出入車両荷台扉開音	1.5	77.8	36.5	31.2	24.6	22.0
	27	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	79.9	36.5	31.2	25.0	23.7
	28	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	80.4	44.2	32.9	18.5	29.0
	30	搬出入車両エンジン始動音	0.6	80.7	44.3	32.9	22.3	25.5
		騒音レベル最大値						36.3
		基準値						50

変動：変動騒音を示す。

※ 夜間に発生する騒音レベル最大値を評価する上で、荷さばき作業に伴い発生する騒音は同時に発生することがないため、予測地点において、最も騒音レベルが高い値を用いて評価を行う。

※ 自動車走行音（搬出入車両）の計算の詳細を表5-5.1、表5-5.2に示す

表5-5.1 a地点における来客車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離における 騒音レベル(dB)	予測地点までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点における 騒音レベル(dB)
2	1	74.0	52.2	34.4	18.4	21.2
	2	74.0	49.0	33.8	19.6	20.6
	3	74.0	45.8	33.2	20.8	20.0
3	1	74.0	44.3	32.9	21.4	19.7
	2	74.0	45.1	33.1	21.3	19.6
	3	74.0	46.7	33.4	21.2	19.4
4	1	74.0	48.9	33.8	21.0	19.2
	2	74.0	51.7	34.3	20.8	18.9
	3	74.0	54.8	34.8	20.6	18.6
5	1	74.0	57.4	35.2	20.7	18.1
	2	74.0	59.2	35.4	21.1	17.5
	3	74.0	61.1	35.7	21.6	16.7
6	1	74.0	58.3	35.3	19.5	19.2
	2	74.0	61.8	35.8	17.8	20.4
	3	74.0	65.3	36.3	16.7	21.0
7	1	74.0	68.2	36.7	16.1	21.2
	2	74.0	70.5	37.0	16.0	21.0
	3	74.0	72.8	37.2	15.8	21.0
8	1	74.0	67.2	36.5	16.0	21.5
	2	74.0	67.5	36.6	15.8	21.6
	3	74.0	67.9	36.6	15.5	21.9
9	1	74.0	69.8	36.9	15.0	22.1
	2	74.0	73.3	37.3	14.4	22.3
	3	74.0	76.8	37.7	14.0	22.3
10	1	74.0	77.1	37.7	13.8	22.5
	2	74.0	74.9	37.5	14.0	22.5
	3	74.0	73.5	37.3	14.1	22.6
11	1	74.0	57.0	35.1	17.2	21.7
	2	74.0	63.4	36.0	15.7	22.3
	3	74.0	69.8	36.9	14.7	22.4
12	1	74.0	73.0	37.3	14.3	22.4
	2	74.0	72.9	37.3	14.4	22.3
	3	74.0	72.8	37.2	14.4	22.4

表5-5.2 a地点における搬出入車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離における 騒音レベル(dB)	予測地点までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点における 騒音レベル(dB)
1	1	83.5	54.9	34.8	18.1	30.6
	2	83.5	54.3	34.7	18.0	30.8
	3	83.5	53.9	34.6	18.0	30.9
2	1	83.5	52.2	34.4	18.4	30.7
	2	83.5	49.0	33.8	19.6	30.1
	3	83.5	45.8	33.2	20.8	29.5
3	1	83.5	44.3	32.9	21.4	29.2
	2	83.5	45.1	33.1	21.3	29.1
	3	83.5	46.7	33.4	21.2	28.9
4	1	83.5	48.9	33.8	21.0	28.7
	2	83.5	51.7	34.3	20.8	28.4
	3	83.5	54.8	34.8	20.6	28.1
6	1	83.5	57.0	35.1	17.2	31.2
	2	83.5	63.4	36.0	15.7	31.8
	3	83.5	69.8	36.9	14.7	31.9
7	1	83.5	73.0	37.3	14.3	31.9
	2	83.5	72.9	37.3	14.4	31.8
	3	83.5	72.8	37.2	14.4	31.9

表5-6 b地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)
	番号	機器名称	高さ					
定常騒音	9	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.6	49.9	35.4	31.0	-	18.9
	10	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.6	49.9	35.9	31.1	-	18.8
	11	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.6	57.5	33.5	30.5	-	27.0
	12	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.6	57.5	34.1	30.7	-	26.8
	17	キュービクル	7.5	51.1	41.5	32.4	-	18.7
変動	※	来客車両走行音(線分番号5-3)	0.6	74.0	10.3	20.3	-	53.7
	※	搬出入車両走行音(線分番号4-3)	0.6	83.5	19.7	25.9	-	57.3
衝撃騒音	24	台車走行音	0.0	77.0	50.2	34.0	-	43.0
	25	荷下ろし音	0.6	77.4	50.2	34.0	-	43.4
	26	搬出入車両荷台扉開音	1.5	77.8	50.2	34.0	-	43.8
	27	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	79.9	50.2	34.0	-	45.9
	28	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	80.4	48.2	33.7	-	46.7
	30	搬出入車両エンジン始動音	0.6	80.7	48.2	33.7	-	47.0
		騒音レベル最大値						59.1
		基準値						50

変動：変動騒音を示す。

※ 夜間に発生する騒音レベル最大値を評価する上で、荷さばき作業に伴い発生する騒音は同時に発生することがないため、予測地点において、最も騒音レベルが高い値を用いて評価を行う。

※ 自動車走行音(来客車両、搬出入車両)の計算の詳細を表5-6.1、表5-6.2に示す

来客車両走行音(線分番号5-2、5-3)

$$\begin{aligned}
 \text{超過時間} &= \Delta t \times \text{騒音発生回数} \\
 &= (0.74 \times 2) \times 82 \\
 &= 121.36 \text{秒}
 \end{aligned}$$

搬出入車両走行音(線分番号3-1、3-2、3-3、4-1、4-2、4-3)

$$\begin{aligned}
 \text{超過時間} &= \Delta t \times \text{騒音発生回数} \\
 &= (2.08 \times 3 + 2.08 \times 3) \times 1 \\
 &= 12.48 \text{秒}
 \end{aligned}$$

超過時間＝来客車両走行音＋搬出入車両走行音

$$\begin{aligned}
 &= 121.36 \text{秒} + 12.48 \text{秒} \\
 &= 133.84 \text{秒} \approx 2 \text{分間} \quad (\text{発生時間率} 0.5\%)
 \end{aligned}$$

表5-6.1 b地点における来客車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離における 騒音レベル(dB)	予測地点までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点における 騒音レベル(dB)
2	1	74.0	49.8	33.9	—	40.1
	2	74.0	49.0	33.8	—	40.2
	3	74.0	48.4	33.7	—	40.3
3	1	74.0	45.4	33.1	—	40.9
	2	74.0	40.0	32.0	—	42.0
	3	74.0	34.6	30.8	—	43.2
4	1	74.0	29.3	29.3	—	44.7
	2	74.0	24.3	27.7	—	46.3
	3	74.0	19.7	25.9	—	48.1
5	1	74.0	15.9	24.0	—	50.0
	2	74.0	12.8	22.1	—	51.9
	3	74.0	10.3	20.3	—	53.7
6	1	74.0	19.3	25.7	—	48.3
	2	74.0	22.9	27.2	—	46.8
	3	74.0	26.7	28.5	—	45.5
7	1	74.0	27.9	28.9	—	45.1
	2	74.0	26.8	28.6	—	45.4
	3	74.0	26.2	28.4	—	45.6
8	1	74.0	29.7	29.5	—	44.5
	2	74.0	31.9	30.1	—	43.9
	3	74.0	34.2	30.7	—	43.3
9	1	74.0	37.0	31.4	—	42.6
	2	74.0	40.3	32.1	—	41.9
	3	74.0	43.8	32.8	—	41.2
10	1	74.0	47.2	33.5	—	40.5
	2	74.0	51.3	34.2	—	39.8
	3	74.0	56.3	35.0	—	39.0
11	1	74.0	51.2	34.2	—	39.8
	2	74.0	54.0	34.6	—	39.4
	3	74.0	57.1	35.1	—	38.9
12	1	74.0	59.9	35.5	—	38.5
	2	74.0	61.7	35.8	—	38.2
	3	74.0	63.6	36.1	—	37.9

表5-6.2 b地点における搬出入車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離における 騒音レベル(dB)	予測地点までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点における 騒音レベル(dB)
1	1	83.5	56.3	35.0	—	48.5
	2	83.5	53.8	34.6	—	48.9
	3	83.5	51.4	34.2	—	49.3
2	1	83.5	49.8	33.9	—	49.6
	2	83.5	49.0	33.8	—	49.7
	3	83.5	48.4	33.7	—	49.8
3	1	83.5	45.4	33.1	—	50.4
	2	83.5	40.0	32.0	—	51.5
	3	83.5	34.6	30.8	—	52.7
4	1	83.5	29.3	29.3	—	54.2
	2	83.5	24.3	27.7	—	55.8
	3	83.5	19.7	25.9	—	57.6
6	1	83.5	51.2	34.2	—	49.3
	2	83.5	54.0	34.6	—	48.9
	3	83.5	57.1	35.1	—	48.4
7	1	83.5	59.9	35.5	—	48.0
	2	83.5	61.7	35.8	—	47.7
	3	83.5	63.6	36.1	—	47.4

表5-7 c地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)
	番号	機器名称	高さ					
定常騒音	9	冷凍冷蔵庫屋外機1	7.6	49.9	63.3	36.0	-	13.9
	10	冷凍冷蔵庫屋外機2	7.6	49.9	64.8	36.2	-	13.7
	11	冷凍冷蔵庫屋外機3	7.6	57.5	62.9	36.0	-	21.5
	12	冷凍冷蔵庫屋外機4	7.6	57.5	64.4	36.2	-	21.3
	17	キュービクル	7.5	51.1	65.6	36.3	-	14.8
変動	※	来客車両走行音（線分番号10-1）	0.6	74.0	8.3	18.4	-	55.6
	※	搬出入車両走行音（線分番号7-1）	0.4	83.5	24.1	27.6	-	55.9
衝撃騒音	24	台車走行音	0.0	77.0	53.7	34.6	-	42.4
	25	荷下ろし音	0.6	77.4	53.6	34.6	-	42.8
	26	搬出入車両荷台扉開音	1.5	77.8	53.6	34.6	-	43.2
	27	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	79.9	53.6	34.6	-	45.3
	28	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	80.4	45.2	33.1	-	47.3
	30	搬出入車両エンジン始動音	0.6	80.7	45.2	33.1	-	47.6
		騒音レベル最大値						58.8
		基準値						50

変動：変動騒音を示す。

※ 夜間に発生する騒音レベル最大値を評価する上で、荷さばき作業に伴い発生する騒音は同時に発生することがないため、予測地点において、最も騒音レベルが高い値を用いて評価を行う。

※ 自動車走行音（来客車両、搬出入車両）の計算の詳細を表5-7. 1、表5-7. 2に示す

自動車走行音が基準値を上回る時間の算出は、線分の Δt と発生回数より求める。

来客車両走行音（線分番号9-2、9-3、10-1、10-2）

$$\begin{aligned}
 \text{超過時間} &= \Delta t \times \text{騒音発生回数} \\
 &= (0.68 \times 2 + 1.42 \times 2) \times 82 \\
 &= 344.4 \text{秒}
 \end{aligned}$$

搬出入車両走行音（線分番号1-1、1-2、1-3、2-1、2-2、2-3、3-1、3-2、3-3、4-1、4-2、4-3、
6-1、6-2、6-3、7-1、7-2、7-3）

$$\begin{aligned}
 \text{超過時間} &= \Delta t \times \text{騒音発生回数} \\
 &= (0.90 \times 3) \times 1 + (1.16 \times 3) \times 2 + (2.08 \times 3 + 2.08 \times 3 + 2.34 \times 3 + 0.91 \times 3) \times 1 \\
 &= 31.89 \text{秒}
 \end{aligned}$$

超過時間＝来客車両走行音＋搬出入車両走行音

$$\begin{aligned}
 &= 344.4 \text{秒} + 31.89 \text{秒} \\
 &= 376.29 \text{秒} \approx 6 \text{分間（発生時間率1.3%）}
 \end{aligned}$$

表5-7.1 c地点における来客車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離における騒音レベル(dB)	予測地点までの距離(m)	距離減衰量(dB)	回折減衰量(dB)	予測地点における騒音レベル(dB)
2	1	74.0	38.2	31.6	—	42.4
	2	74.0	41.0	32.3	—	41.7
	3	74.0	43.9	32.8	—	41.2
3	1	74.0	43.7	32.8	—	41.2
	2	74.0	40.9	32.2	—	41.8
	3	74.0	38.8	31.8	—	42.2
4	1	74.0	37.4	31.5	—	42.5
	2	74.0	36.9	31.3	—	42.7
	3	74.0	37.3	31.4	—	42.6
5	1	74.0	38.9	31.8	—	42.2
	2	74.0	41.2	32.3	—	41.7
	3	74.0	43.8	32.8	—	41.2
6	1	74.0	35.7	31.1	—	42.9
	2	74.0	31.5	30.0	—	44.0
	3	74.0	27.4	28.8	—	45.2
7	1	74.0	26.0	28.3	—	45.7
	2	74.0	27.8	28.9	—	45.1
	3	74.0	30.0	29.5	—	44.5
8	1	74.0	24.3	27.7	—	46.3
	2	74.0	22.4	27.0	—	47.0
	3	74.0	20.5	26.2	—	47.8
9	1	74.0	17.8	25.0	—	49.0
	2	74.0	14.0	22.9	—	51.1
	3	74.0	10.3	20.3	—	53.7
10	1	74.0	8.3	18.4	—	55.6
	2	74.0	12.5	21.9	—	52.1
	3	74.0	19.3	25.7	—	48.3
11	1	74.0	34.1	30.7	—	43.3
	2	74.0	29.1	29.3	—	44.7
	3	74.0	24.7	27.9	—	46.1
12	1	74.0	24.1	27.6	—	46.4
	2	74.0	26.5	28.5	—	45.5
	3	74.0	28.9	29.2	—	44.8

表5-7.2 c地点における搬出入車両走行音の予測結果

線分番号		基準距離における騒音レベル(dB)	予測地点までの距離(m)	距離減衰量(dB)	回折減衰量(dB)	予測地点における騒音レベル(dB)
1	1	83.5	40.6	32.2	—	51.3
	2	83.5	39.0	31.8	—	51.7
	3	83.5	37.5	31.5	—	52.0
2	1	83.5	38.2	31.6	—	51.9
	2	83.5	41.0	32.3	—	51.2
	3	83.5	43.9	32.8	—	50.7
3	1	83.5	43.7	32.8	—	50.7
	2	83.5	40.9	32.2	—	51.3
	3	83.5	38.8	31.8	—	51.7
4	1	83.5	37.4	31.5	—	52.0
	2	83.5	36.9	31.3	—	52.2
	3	83.5	37.3	31.4	—	52.1
6	1	83.5	34.1	30.7	—	52.8
	2	83.5	29.1	29.3	—	54.2
	3	83.5	24.7	27.9	—	55.6
7	1	83.5	24.1	27.6	—	55.9
	2	83.5	26.5	28.5	—	55.0
	3	83.5	28.9	29.2	—	54.3

